

令和 6 年度

岩手県立博物館

年 報

岩手県立博物館 令和6年度年報



企画展「捕食者の献立」
令和6年9月28日（土）～12月1日（日）

目で見る岩手県立博物館この1年



テーマ展 ラグビーといわて
令和6年3月23日（土）～5月19日（日）



いわて自然史展示室 常設展 大規模展示替え
令和6年4月2日（火）



総合展示室 トピック展 五月人形
令和6年4月2日（火）～5月12日（日）



テーマ展 ラグビーといわて 展示解説会
令和6年4月13日（土）・5月4日（土）



植物園案内
令和6年4月28日（日）・29日（月・祝）



ゴールデンウィークスペシャルイベント
よみがえった古代のボードゲーム
かりうちで遊ぼう
令和6年5月4日（土・祝）～5月6日（月）



県博バックヤードツアー
令和6年5月18日（土）



テーマ展 ふしぎな縄文
令和6年6月8日（土）～8月25日（日）



テーマ展 ふしぎな縄文 縄文美術館写真展
令和6年6月8日（土）～8月25日（日）



テーマ展 ふしぎな縄文 展示解説会
令和6年6月15日（土）・7月13日（土）



職場体験（下橋中学校・松園中学校）
令和6年7月3日（水）



第87回自然観察会 大窪山の虫たちをさがそう
大船渡市大窪山森林公園
令和6年7月21日（日）



教員のための博物館の日
令和6年8月9日（金）・10日（土）



ナイトミュージアム
令和6年8月9日（金）・10日（土）



館園実習
令和6年8月22日（木）～8月29日（木）



博物館で学ぶ岩手の歴史講座
令和6年9月21日（土）



企画展 捕食者の献立 エントランス
令和6年9月28日（土）～12月1日（日）



企画展 捕食者の献立
令和6年9月28日（土）～12月1日（日）



第13回 博物館まつり
松ぼっくりのフクロウづくり
令和6年10月12日（土）・13日（日）



第13回 博物館まつり かせきのレプリカづくり
令和6年10月12日（土）・13日（日）



第13回 博物館まつり スライムどけいづくり
令和6年10月12日（土）・13日（日）



第13回 博物館まつり たのしい！むかしあそび
令和6年10月12日（土）・13日（日）



第13回 博物館まつり
企画展 捕食者の献立 展示解説会
令和6年10月12日（土）・13日（日）



第13回 博物館まつり
岩手県立大学ダブルダッチサークル ROPE A DOPE
令和6年10月13日（日）



第13回 博物館まつり たんけん!がんせきえん
令和6年10月12日(土)・13日(日)



第13回 博物館まつり たんけん!しょくぶつえん
令和6年10月12日(土)・13日(日)



研究受託調査 長興寺 I 遺跡発掘調査
令和6年10月16日(水)～24日(木)
11月18日(月)～20日(水)



第88回自然観察会 捕食者を観察しよう
盛岡市動物公園 ZOOMO
令和6年10月20日(日)



第88回地質観察会 一関市東山町の古生界と化石
一関市東山町
令和6年10月26日(土)



一関市立博物館企画展 出張ミニ展示
捕食者の世界
書肆みず盛り
令和6年10月30日(水)～11月24日(日)



文化講演会（企画展関連事業）
カワネズミの食べもの・カワウの食べもの
令和6年11月3日（日）



民俗講座「たいけん！むかしのくらし」
令和6年11月3日（日）



文化財取扱講習会（後期）
令和6年11月21日（木）・22日（金）



県博日曜講座（企画展関連事業）
海鳥と旅する食物連鎖の世界
令和6年11月24日（日）



ミュージアムドラマ「サンタ、くろうす」
令和6年12月15日（日）



テーマ展 辿る～岩手の囲碁・将棋～
令和7年1月7日（火）～3月9日（日）



冬のワクワク！ワークショップ
令和7年1月11日（土）



テーマ展 辿る～岩手の囲碁・将棋～ 展示解説会
令和7年1月18日（土）・2月2日（日）



テーマ展 辿る～岩手の囲碁・将棋～ 関連事業
囲碁体験教室
令和7年2月8日（土）



テーマ展 辿る～岩手の囲碁・将棋～ 関連事業
将棋トーク「岩手で将棋指しを育てる」
令和7年2月22日（土）



県博日曜講座（高橋廣至館長 最終講座）
令和7年3月23日（日）



テーマ展 驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～
令和7年3月29日（土）～5月18日（日）

目 次

目で見る岩手県立博物館この1年	前付
1 沿革	3
2 施設の概要	
(1) 建築の概要	6
(2) 施設配置図・展示室等平面図	6
(3) 各室面積表	7
3 博物館協議会	8
4 予算	9
5 事業の概要	
(1) 展示活動	10
(2) 教育普及活動	24
(3) 調査研究活動	50
(4) 資料収集保管活動	61
(5) 総務企画調整	70

6 被災文化財等再生活動

- (1) はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 78 -
- (2) これまでと現在・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 78 -
- (3) 今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 79 -

7 三陸希望遺産デジタル・アーカイブ構築プロジェクトについて

- (1) はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 81 -
- (2) 事業別成果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 81 -
- (3) 今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 84 -

8 能登半島地震文化財レスキューについて・・・・・・・・・・ - 85 -

9 岩手県立博物館友の会

- (1) 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 87 -
- (2) 会員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 87 -
- (3) 主催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 87 -

10 博物館利用者入館状況・・・・・・・・・・ - 89 -

11 令和6年度公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織・・・・・・・・・・ - 92 -

12 岩手県立博物館使命書・・・・・・・・・・ - 93 -

13 関係条例・規則等・・・・・・・・・・ - 94 -

1 沿革



- 昭和 48 年 4 月 県教育委員会事務局社会教育課に博物館準備係（3 名）を設置
- 昭和 48 年 5 月 県庁内に副知事を委員長とし関係部長等を委員とする博物館調査委員会を設置
- 昭和 48 年 6 月 博物館資料調査委員（委員 22 名）を委嘱
- 昭和 48 年 7 月 民意集約機構として博物館建設調査協議会（委員 25 名）を設置
- 昭和 48 年 8 月 展示内容等の専門的指導助言を得るため、博物館専門委員会（委員 20 名）を設置
- 昭和 49 年 4 月 県教育委員会事務局に博物館開設準備室（庶務係、学芸班 10 名）を設置
- 昭和 50 年 5 月 博物館建設調査事務終了に伴い、引続き県立博物館建設委員会（委員 6 名）を設置
- 昭和 51 年 1 月 県立博物館の建設地を、盛岡市上田字松屋敷四十四田公園地内に決定
- 昭和 51 年 10 月 建設基本設計の委託を株式会社佐藤武夫設計事務所（東京都）に決定
- 昭和 52 年 4 月 博物館開設準備室を廃し、博物館建設事務所（総務課、学芸課、工務課、17 名）を設置
- 昭和 53 年 6 月 起工式
- 昭和 53 年 10 月 展示工事着手、民家の移築復元工事を財団法人文化財建造物保存技術協会に委託
- 昭和 54 年 11 月 定礎式
- 昭和 55 年 7 月 博物館条例公布、館の名称を岩手県立博物館 と決定
- 昭和 55 年 7 月 コンパニオン（非常勤専門職員 15 名）任用
- 昭和 55 年 10 月 岩手県立博物館設置
- 昭和 55 年 10 月 落成記念式典及びマイヨール作「三人の妖精」除幕式（4 日）
- 昭和 55 年 10 月 岩手県立博物館開館（5 日）
- 昭和 55 年 10 月 日本博物館協会、全国科学博物館協議会加盟
- 昭和 56 年 3 月 第 1 回岩手県立博物館協議会開催
- 昭和 59 年 10 月 皇太子同妃両殿下ご来館（14 日）
- 昭和 60 年 4 月 財団法人岩手県文化振興事業団発足、岩手県立博物館管理運営を委託
- 昭和 62 年 5 月 入館者 100 万人を突破（1 日）

平成 元年 3 月 地質総合展示室改修完了
 平成 2 年 5 月 岩手県立博物館友の会設立（1 日）
 平成 2 年 7 月 歴史古代展示室改修完了
 平成 2 年 10 月 開館 10 周年記念特別企画展「北の鉄文化」開催
 平成 3 年 2 月 入館者、県民人口を超える（14 日）
 平成 3 年 11 月 入館者、150 万人を達成（1 日）
 平成 3 年 12 月 歴史中世展示室改修完了
 平成 4 年 1 月 コンパニオンを「解説員」に改称
 平成 5 年 2 月 秋篠宮同妃両殿下ご来館（5 日）
 平成 5 年 3 月 現勢展示室イヌワシの山改修完了
 平成 5 年 10 月 国民文化祭いわて'93 記念展「じょうもん発信」開催
 平成 5 年 10 月 皇太子殿下ご夫妻ご来館（10 日）
 平成 6 年 1 月 「中尊寺黄金秘宝展」開催
 平成 6 年 12 月 屋上改修工事完了
 平成 8 年 4 月 重要文化財勸告出品館となる
 平成 9 年 12 月 文化振興事業団 10 周年記念「柳之御所遺跡発掘調査展」開催
 平成 9 年 2 月 重要文化財公開承認施設となる
 平成 9 年 7 月 入館者、200 万人を達成（16 日）
 平成 10 年 1 月 ハイビジョン室設置
 平成 12 年 3 月 収蔵庫等改修工事完了
 平成 12 年 3 月 企画展第 50 回目を迎える（「岩手の経塚」）
 平成 12 年 10 月 開館 20 周年記念特別企画展「北の馬文化」開催
 平成 13 年 5 月 近代美術展示閉鎖（美術館へ移管）
 平成 14 年 3 月 マメンキサウルス（モシリユウ）全身骨格複製標本展示
 平成 18 年 4 月 施設等の管理部門に「指定管理者制度」導入。（財）岩手県文化振興事業団が指定管理者となる
 平成 21 年 1 月 入館者、250 万人を達成（10 日）
 平成 21 年 4 月 （財）岩手県文化振興事業団が 2 期目の指定管理者となる
 平成 22 年 1 月 外部階段改修工事完了
 平成 22 年 10 月 開館 30 周年記念特別企画展「いわての漆」開催
 平成 23 年 3 月 美化事業完了
 平成 24 年 4 月 （公財）岩手県文化振興事業団が 3 期目の指定管理者となる
 平成 24 年 12 月 秋篠宮同妃両殿下ご来館（20 日）
 平成 25 年 1 月 岩手県議会商工文教委員会現地調査（22 日）
 平成 26 年 3 月 文部科学大臣から科学研究費補助金規程に規定する研究機関に指定される（20 日）
 平成 26 年 3 月 仮設陸前高田市被災文化財等保存修復施設設置（建築面積 115.22 m²、延床面積 230.44 m²）
 平成 26 年 5 月 仮設陸前高田市被災文化財等保存修復施設開所（可視化により一般公開）
 平成 27 年 1 月 岩手県議会商工文教委員会現地調査（14 日）
 平成 27 年 4 月 （公財）岩手県文化振興事業団が 4 期目の指定管理者となる
 平成 28 年 1 月 文化庁巡回展「発掘された日本列島 2015」、特別展「海に生きた歴史」開催
 平成 29 年 3 月 中央監視システム更新工事完了
 平成 29 年 3 月 旧佐々木家・旧藤野家住宅保存修理（屋根）工事完了
 平成 29 年 3 月 正面入口案内看板設置

平成 29 年	8 月	ボイラー更新工事完了
平成 30 年	2 月	岩手山眺望確保のための樹木剪定
平成 30 年	3 月	昇降機改修工事完了
平成 30 年	4 月	(公財)岩手県文化振興事業団が 5 期目の指定管理者となる
平成 30 年	12 月	マメンキサウルス補修工事完了
平成 31 年	1 月	不活性ガス消火設備更新工事完了
令和 元年	12 月	非常用発電機更新工事完了
令和 2 年	3 月	冷却塔更新工事完了
令和 2 年	10 月	開館 40 周年を迎える(新型コロナウイルス感染拡大により記念特別展延期)
令和 3 年	6 月	県立博物館 開館 40 周年記念特別展「みる！しる！わかる！三陸再発見」開催 (6 月 12 日～8 月 15 日)
令和 3 年	11 月	入館者、300 万人を達成(13 日)
令和 4 年	2 月	直流電源装置更新工事完了
令和 4 年	4 月	重要文化財旧藤野家住宅及び旧佐々木家住宅耐震補強工事完了(15 日)
令和 4 年	12 月	三陸ジオパーク推進協議会との連携協力に関する協定の締結(15 日)
令和 4 年	12 月	岩手県立博物館屋上防水改修工事完了(23 日)
令和 4 年	12 月	岩手県立博物館外構タイル改修工事完了(26 日)
令和 5 年	4 月	(公財)岩手県文化振興事業団が 6 期目の指定管理者となる
令和 5 年	10 月	岩手県立博物館トラックヤードシャッター更新工事完了(16 日)
令和 5 年	12 月	特別展「ポケモン化石博物館」開催(19 日～令和 6 年 3 月 3 日)
令和 7 年	2 月	岩手山眺望確保及び博物館環境整備のため樹木伐採
令和 7 年	3 月	岩手県立博物館非常放送設備更新工事完了

(1) 建築の概要

〈建築概要〉 ●敷地面積 53,112.78 m² ●建築面積 5,192 m² ●延床面積 12,051.56 m²



(3) 各室面積表

	部屋名	面積 (㎡)
地階	空調機械室	766.09
	発電機室	50.26
	蓄電機室	9.71
	ボイラー室	64.36
	中央監視室	64.67
	電話交換機室	8.89
	電気室	142.54
	ハロンポンプ室	37.86
	消火栓ポンプ室	17.14
	エレベーター機械室	20.52
	第4収蔵庫	464.48
	第5収蔵庫(液浸)	39.72
	エレベーターシャフト	18.24
	車庫	38.33
	器具庫	25.24
	消毒室	37.86
	工作室	35.90
	暗室	11.91
	作業室	4.06
	写真室	52.94
	荷受場	79.63
	荷解場	113.75
	用務員室	26.39
	守衛室	18.00
	宿直室	21.17
	湯沸室	3.81
	浴室	5.71
	便所	6.75
	タラップ室	6.75
	フォークリフト置場	12.75
	廊下・階段・その他	280.32
	小計	2,485.75
中地階	いす保管庫	98.61
	外部用倉庫	20.38
	教室	81.07
	準備室	22.83
	実技室	115.66
	便所	29.02
	講堂	164.09
	効果室	14.50
	ホワイエ	68.29
	タラップ室	5.14
	廊下・その他	232.78
	小計	852.37

	部屋名	面積 (㎡)
1階	いわて自然史展示室	729.27
	パネル倉庫	35.56
	風除室	3.21
	受付	18.65
	印刷室	8.50
	事務室	116.01
	館長室	43.33
	応接室	41.40
	会議室	64.23
	倉庫	14.25
	身障者便所	6.47
	No.3便所	43.85
	No.2便所	39.67
	音響調整室	20.84
	同上前室	10.28
	予備室	32.07
	ロッカー室	10.45
	女子更衣室	20.55
	学芸調査室	236.04
	歴史整理室	59.21
	書庫	113.36
	民俗整理室	35.84
	考古整理室	35.84
	生物整理室	25.10
	地質整理室	25.20
	歴史整理室	35.43
	第1資料登録室	21.90
	化学分析室	41.66
	物理分析室	53.94
	デジタルサイネージ編集室	20.72
	第1収蔵庫	365.15
	第2収蔵庫	188.25
	第3収蔵庫	608.38
	倉庫	9.18
	第2書庫	42.69
	ジオラマ下部	119.13
	グランドホール	133.19
	ロビー1	101.79
	ロビー2	35.84
	階段・廊下・その他	888.10
	小計	4,454.53

	部屋名	面積 (㎡)
2階	総合展示室	1,553.85
	県土の誕生	102.35
	いわての夜明け	187.60
	いわてのあゆみ	743.20
	庶民のくらし	210.00
	いわての今	310.70
	いわて文化史展示室	489.07
	ミニプラザ(1)	210.42
	ミニプラザ(2)	129.50
	特別展示室	292.20
	映像室	124.00
	No.4便所	30.11
	体験学習室	217.17
	厨房	54.93
	休憩室	160.08
	休憩室便所	10.98
	厨房事務室	10.24
	厨房便所	4.16
	食品庫	6.90
	グランドホール	213.66
	階段・廊下・その他	618.20
塔屋	小計	4,125.47
	塔屋	133.44
	合計	12,051.56

- 展示面積 3,404.31 ㎡
- 収蔵庫面積 1665.98 ㎡
- 学芸調査室 236.04 ㎡
- 研究室 274.91 ㎡

3 博物館協議会

岩手県立博物館協議会は、館長の諮問に応じ、博物館の運営に関し調査審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置されている。令和6年度の開催期日・協議事項は次のとおりである。

- 期日：令和7年1月31日（金）
- 場所：岩手県立博物館会議室
- 報告・協議事項
 - ・ 令和5年度 岩手県立博物館協議会の意見等への対応状況について
 - ・ 令和6年度 岩手県立博物館 事業実施状況について
 - ・ 令和7年度 岩手県立博物館 事業計画(案)について

岩手県立博物館協議会委員名簿

委員任期 令和5年 6月23日 ～令和7年 6月22日

公募委員 令和5年12月23日 ～令和7年12月22日

氏 名	職 名	分 野
小田島 晃司	盛岡市立東松園小学校長	学校教育 県小学校長会
照 井 英 輝	盛岡市立厨川中学校長	学校教育 県中学校長会
川 崎 広 幸	岩手県立盛岡第四高等学校長	学校教育 県高等学校長協会
桂 川いずみ	岩手県青年団体協議会会員	社会教育
佐 藤 洋 子	特定非営利法人 岩手県地域婦人団体協議会副会長	社会教育
福 田 育 英	一般社団法人岩手県PTA連合会副会長	学識経験者 県博物館等連絡協議会
福 島 茜	もりおか歴史文化館学芸員	学識経験者 県市町村教育委員会協議会
太 田 厚 子	滝沢市教育委員会教育長	学識経験者 県立博物館友の会
細越 千絵子	岩手県立博物館友の会会員	学識経験者
細 田 清	(株)岩手日報社論説委員会副委員長	学識経験者
松 政 正 俊	岩手医科大学教授	学識経験者
齊 藤 邦 雄	前公益財団法人岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター所長	学識経験者
山 本 玲 子	啄木研究家（元石川啄木記念館学芸員）	学識経験者
石 川 京 子	盛岡ふるさとガイドの会副会長兼事務局長	学識経験者
松 本 勝 徳	田老和心会特別養護老人ホーム ふれあい荘施設長	公募委員

（令和7年3月31日現在）

4 予算

(単位:千円)

項 目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
管 理 運 営 費	170,462							
総務企画調整費	5,243	3,759	4,172	3,945	3,782	5,317	4,471	3,984
展 示 活 動 費	11,673	10,074	7,090	10,826	8,115	3,949	7,443	6,619
資料収集保管活動費	40,319	29,894	27,599	21,846	21,983	22,817	20,911	21,109
調査研究活動費	7,273	7,326	7,585	7,276	7,304	7,556	6,921	6,703
教育普及活動費	1,987	1,633	1,683	1,798	1,558	1,616	1,664	1,770
業 務 管 理 費		37,699	34,282	34,155	33,251	32,439	32,122	32,529
指定管理者事業費		127,861	130,034	129,269	132,832	131,395	132,600	130,502
計	236,957	218,246	212,445	209,115	208,825	205,089	206,132	203,216

項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総務企画調整費	3,807	3,442	3,882	3,401	3,380	3,328	3,152	4,082
展 示 活 動 費	6,811	7,589	9,686	11,321	8,262	6,198	10,095	16,253
資料収集保管活動費	21,446	19,911	20,086	18,304	18,951	18,342	31,125	37,095
調査研究活動費	6,611	5,956	4,986	3,438	3,428	3,460	3,339	3,936
教育普及活動費	1,515	1,295	1,275	444	454	507	493	471
業 務 管 理 費	33,880	35,950	36,277	34,449	34,735	32,085	41,130	43,448
指定管理者事業費	130,401	133,050	132,345	134,334	134,146	136,914	138,015	139,213
計	204,471	207,193	208,537	205,691	203,356	200,834	227,349	244,498

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総務企画調整費	4,099	4,671	4,204	4,096
展 示 活 動 費	7,416	5,633	41,691	5,770
資料収集保管活動費	34,494	33,989	33,602	29,523
調査研究活動費	3,450	3,685	3,131	3,551
教育普及活動費	460	440	445	382
業 務 管 理 費	43,730	47,916	50,787	52,763
指定管理者事業費	137,271	139,290	141,891	141,769
計	213,351	235,624	275,751	237,854

- ※ 1 職員の人件費を除く。
- 2 予算は、いずれも各年度の当初予算であるが、平成27年度は特別展「近代へのとびら」展、平成28年度は特別展「スポーツ博覧会いわて」展開催に係る特別予算を加算した。
- 3 総務企画調整は平成17年度から項目を起こした。
- 4 平成18年度から、指定管理者制度が導入されたことにより業務管理費・指定管理者事業費の項目を起こした。
- 5 令和2年度・3年度予算のうち展示活動費には、40周年特別展の開催経費全体が含まれる。(当該事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年度から3年度に延期となった。)
- 6 令和5年度は特別展「ポケモン化石博物館」展開催に係る特別予算を加算した。

5 事業の概要

（１）展示活動

開館以来、県民の皆様からの寄贈資料や学芸員が自ら収集した資料をはじめ、入手困難なものについては購入等による資料収集活動を行い、令和6年度（2025年3月31日）までに収蔵された博物館資料の総点数は384,792点に達している。その中で常設展示されるものは約2,000点で、他の資料は5つの収蔵庫に保管されている。これらについては、企画展やテーマ展の他、季節や年中行事に合わせた展示替え、トピック展示やコラム展示の際に活用し、多くの県民の目に触れることが出来るよう心がけている。

総合展示室では地質・考古・歴史・民俗・生物の各部門、いわて文化史展示室では民俗・歴史・考古に関する人文系資料、いわて自然史展示室では地質・生物など自然史に関する資料を展示している。この他に、2階のグランドホールやミニプラザでトピック展示を行うなど、展示の機会を増やすよう努めている。

夏・冬・春の県内小学校の長期休み期間には、触察可能な資料を展示して興味を持ってもらい、幼児・児童向けに解説を行っている。同じく展示に関するワークイズのシート3種類も配布している。

「けんぱくものしりシート」は、展示品について当館解説員が分かりやすく簡潔にA4判裏表で説明した解説書で（毎月発行）、バックナンバーも含めて需要が多い。「チャレンジ！はくぶつかん」は、展示に関するクイズ（当館学芸員が毎月作成するワークシート）を館内を巡って答えるもので、皆勤者（開催した全ての月に来館して参加）も多く、今年度は18名だった。

令和6年度の特別展示は、秋期に生物部門の企画展「捕食者の献立」を開催し、予算規模の小さいテーマ展として、前年度から継続して春期に歴史部門「ラグビーといわて」、夏期に考古部門「ふしぎな縄文」、冬期に歴史部門「辿る～岩手の囲碁将棋～」、年度をまたいだ全部門共通「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」を開催した。「ラグビーといわて」展と「辿る～岩手の囲碁将棋～」展では、普段はあまり博物館を訪れない方々に足を運んでいただけたのではないかと考える。リピーターになっていただければと願う。

企画展「捕食者の献立」は、当館所蔵の哺乳類・鳥類の剥製が高い品質を誇ることから、それを広く公開することを目的の一つとして開催したものである。IBC 岩手放送のテレビ番組「わが町バンザイ」で紹介されたこともあり、多くの来館者があった。また、市内の書店兼ギャラリーで出張ミニ展示を開催して来館を誘ったのは新しい試みであった。また、会期中の自然観察会「捕食者を観察しよう」では、盛岡市動物公園 ZOOMO を会場に開催し、動物公園副園長に解説していただいた。

「ふしぎな縄文」展会期中の県博日曜講座で開催した「対談 縄文のふしぎ」（7月14日）は、近年『土偶を読むを読む』（文学通信）で注目を浴びた縄文 ZINE 編集長の望月昭秀氏と盛岡大学の吉田泰幸氏との対談で、今年度の日曜講座で最多132名の受講者を集め、遠方からの参加者も多かった。また、「ふしぎな縄文」展では「こどもジョウモン教室」、「辿る～岩手の囲碁将棋～」展では囲碁・将棋体験教室などの集客イベントを開催した。「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」でも様々なイベントを企画しているが、3月29日開幕のため詳細は次年度に譲る。

昨年度開催した特別展「ポケモン化石博物館」でいわて自然史展示室を撤収して展示会場としたことを契機に、今年度は展示室全体の構成および内容を一新した。

トピック展（僅かな展示ケースの小規模な展覧会）では、一昨年寄贈を受けた一関市花泉遺跡出土の

旧石器時代の動物化石、特にハナイズミモリウシ頭骨化石とオオツノジカ角化石を夏季に速報展示した。旧石器時代の動物化石は珍しく、中でもハナイズミモリウシは日本国内では数少ない後期更新世のバイソン化石として知られ、また保存状態も良好で、関係機関から借用展示の引き合いが多い。当館での展示機会が今後なかなか望めないことが予想されたため、来年度にレプリカの製作を予定している。同じく当館が誇り照会も多い中国古印の太田孝太郎コレクションは夏季にお披露目した。

変わったところで、旧玉山村の岩洞湖の渇水期に採取された土器や石器等を中心としたトピック展は岩手日報に掲載され、周辺あるいはかつての住民の見学者が多かった。

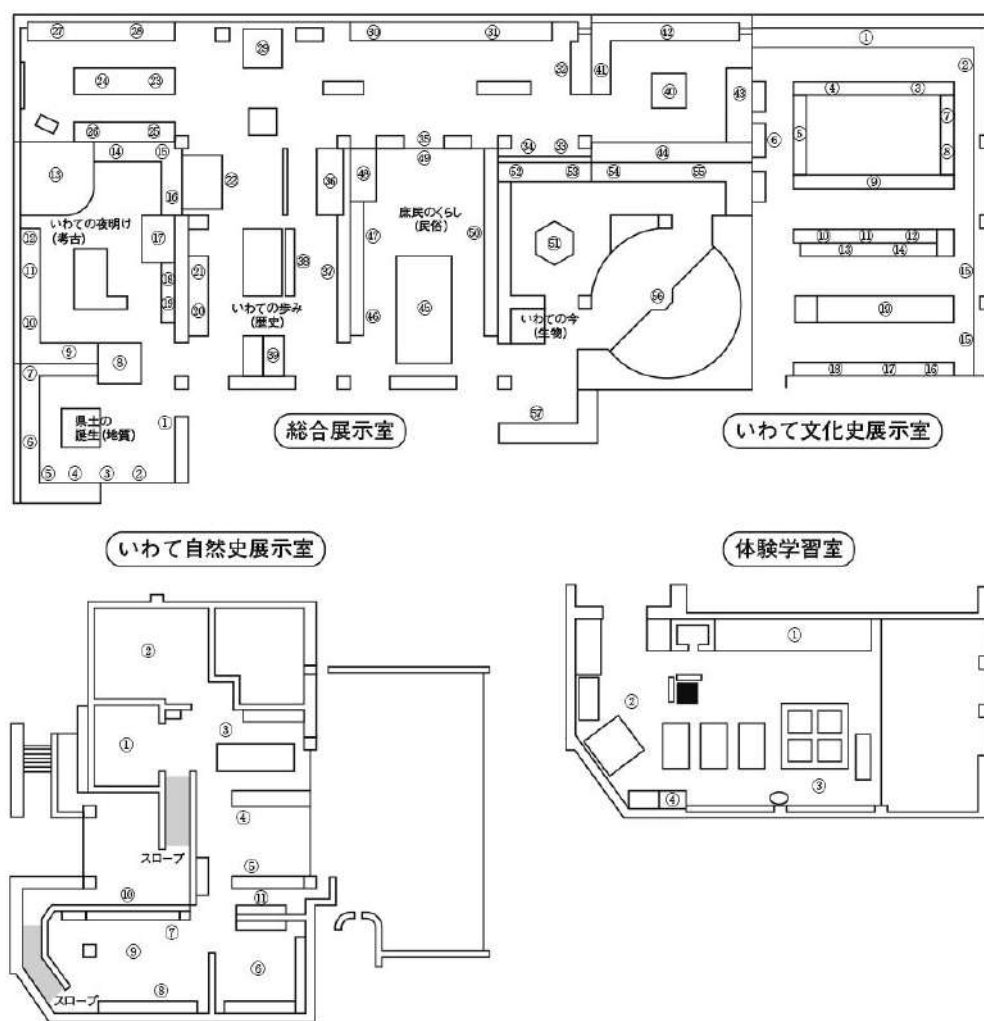


図5. (1)-1 展示室配置図

ア. 展示構成

エントランスホール

- ・兜跋毘沙門天立像
- ・モシリユウとマメンキサウルス
- ・岩手山の眺望

総合展示室

- 県土の誕生(地質)
 - 1 県土のおいたち
 - (1) 東北地方の地下断面
 - (2) 気仙隕石
 - (3) 岩手県の地質と岩石
 - 2 いわての古生物相の変遷
 - (4) 生命史以前
 - (5) 古生代の生きもの
 - (6) 中生代の生きもの
 - (7) 古第三紀～中生代の生きもの
 - (8) 鮮新世～第四紀の生きもの
- いわての夜明け(考古)
 - 3 旧石器時代
 - (9) 氷河期の人びと
 - 4 土器の時代
 - (10) 岩手の縄文土器
 - (11) 貝塚の形成
 - (12) 埋葬と装飾品
 - (13) 縄文人の暮らし
 - (14) 大洞文化
 - 5 稲作を始めた時代
 - (15) 弥生文化と岩手
 - 6 古墳を築いた時代
 - (16) 拓かれる北上平野
 - (17) 群集墳
 - (18) 集落と住居
 - (19) 生産技術の変革
- いわての歩み(歴史)
 - 7 蝦夷から奥州藤原氏へ(古代)
 - (20) 古代の城柵
 - (21) 安倍氏の台頭
 - (22) 奥州平泉とその文化
 - 8 戦乱の時代とその文化(中世)
 - (23) 文治五年奥州合戦
 - (24) 豪族たちの動きと庶民
 - (25) 新しい仏教文化
 - (26) 九戸政実の乱
 - 9 藩政時代の人々(近世)
 - (27) 藩政の確立
 - (28) 凶作と一揆
 - (29) 盛岡城と町づくり
 - (30) 産金と製鉄
 - (31) 南部と馬
 - (32) 街道と舟運
 - (33) 藩学と寺子屋
 - (34) 先駆者たち
 - (35) 維新前夜
- 10 進む近代化(近代)
 - (36) 生活の洋風化
 - (37) 岩手県の誕生
 - (38) 明治時代から大正時代へ
 - (39) 太平洋戦争
- 11 古美術
 - (40) 鐔
 - (41) 絵画・工芸
 - (42) 刀剣
 - (43) 絵画・工芸
 - (44) 絵画
- 庶民のくらし(民俗)
 - 12 家のくらし
 - (45) いろいろ
 - (46) 正月の行事
 - (47) 庶民の信仰
 - 13 働く人びと
 - (48) 農村の人びと
 - (49) 漁村の人びと
 - (50) 山村の人びと
 - 14 まつりと芸能
 - (51) 岩手県の地勢
 - (52) 岩手の四季
 - (53) 県の鳥・木・花
 - (54) 岩手の風土
- 16 岩手の生き物
 - (55) 山や川の生き物
 - (56) イヌワシの山
 - (57) 三陸の海

いわて自然史展示室

- (1) 大地の中の小さな輝き
ー鉱物コレクションー
- (2) 地球史の中の岩手
- (3) 早池峰山の自然
- (4) 東日本大震災と
被災文化財等救援活動
- (5) 山と森の生きもの
- (6) 里と川の生きもの
- (7) 浜と海の生きもの

- (12) トピック展コーナー
- (13) 東日本大震災と
被災文化財等救援活動

いわて文化史展示室

考古

- (1) 岩手の土器
- (2) 北上山系の洞穴遺跡
- (3) 岩手の石器と鉄器
- (4) 三陸の貝塚
- (5) 豊岡遺跡
- (6) 柳之御所遺跡

歴史

- (7) 近代
- (8) 災害の歴史
- (9) 信仰
- (10) 近世
- (11) 引札・書画
- (12) 中国古印

民俗

- (13) 森口多里コレクション
- (14) オシラサマ
絹と麻・いわての養蚕
- (15) いわてのくらし
- (16) いわての民芸
- (17) 郷土料理
- (18) 南部絵暦
- (19) むかしの暮らし大図鑑

体験学習室

- (1) 身につける
鎧、ドレス、野良着等
- (2) ためす
虫の鳴き声ボックス、機織等
- (3) あそぶ
かるた、板がえし等
- (4) よむ

屋外展示

民家

- ・直屋 旧藤野家住宅(重文)
奥州市江刺区伊手御堂
 - ・曲屋 旧佐々木家住宅(重文)
下閉伊郡岩泉町指畑
- #### 散策広場
- ・植物園
県内の植物等 345 種
 - ・岩石園
火山岩、変成岩、堆積岩 49 種

イ. 常設展示の展示替え及び展示コーナー

長期間の展示による資料の劣化や退色の防止、および季節や年中行事などに合わせた展示とするため、常設展示では不定期に展示替えを行っている。さらに、企画展やテーマ展に間接的に関わる資料や、夏休み・冬休みに合わせた子供向けの資料をトピック展示した。令和6年度は、いわて自然史展示室を一新した。

表 5. (1)-1 令和6年度の主な展示替え・トピック展

No.	担当	展示場所	種別	テーマ	展示資料	期日
1	地質・生物	いわて自然史展示室	展示替え	(展示室全体)	展示室の構成及び内容を一新した	令和6年4月2日～
2	川向	総合展示室（庶民の暮らし）	トピック展	五月人形	武者人形2組4点、花巻人形13点 計17点	令和6年4月2日～5月12日
3	米田	いわて文化史展示室	展示替え	岩手の旧石器石材～黒曜石と頁岩～	県内採取黒曜石・頁岩	令和6年4月6日～7月23日
4	川向	いわて文化史展示室	展示替え	森口多里コレクション	スクラップブック2点	令和6年5月21日～常設
5	川向	いわて文化史展示室	展示替え	むかしの暮らし大図鑑	置き時計1点	令和6年5月21日～常設
6	目時	総合展示室（歴史）	展示替え	中世南部氏	向鶴紋刀装具、金箔土器、犬型土製品（いずれも複製）	令和6年5月25日～
7	近藤・戸根	いわて文化史展示室	展示替え	むかしの暮らし大図鑑	夏にまつわる資料	令和6年5月25日～10月15日
8	望月・佐藤・米田	総合展示室（地質）	展示替え	ハナイズミモリウシ	ハナイズミモリウシ頭骨化石、オオツノジカ角化石	令和6年6月8日～8月31日
9	金子	総合展示室（考古）	トピック展	ここに注目！（縄文土器の深鉢口縁部）	展示解説1枚のみ	令和6年7月2日～
10	工藤	いわて文化史展示室（歴史）	展示替え	太田孝太郎コレクション	太田コレクション 中国古印、山蔭家中国古印など	令和6年7月2日～
11	米田	体験学習室	展示替え	七夕飾り	笹、短冊、七夕の歴史揭示	令和6年7月2日～8月10日
12	渡辺	いわて自然史展示室	トピック展	岩手と世界のカブトムシ・クワガタムシ	カブトムシ・クワガタムシの県産全種と多数の外国産	令和6年7月2日～8月31日
13	金子	いわて文化史展示室	展示替え	縄文時代のアクセサリー	白浜貝塚出土貝輪、貝島貝塚出土貝輪レプリカ、中沢浜貝塚出土イノシシ牙製品、同 貝輪、豊岡遺跡出土土製品、同 耳飾り、塩ヶ森遺跡出土球状耳飾り、根井貝塚出土耳飾り、高倉貝塚出土耳飾り、青森県上郷遺跡出土耳飾り、遺跡不明出土耳飾り 計16点	令和6年7月24日～11月20日
14	高橋	総合展示室（現勢・生物）	展示替え	夏休みこどもツアー（触察資料展示）	ヒグマ頭骨1、ツキノワグマ頭骨2	令和6年7月19日～8月9日

15	高橋	いわて自然史展示室	展示替え	浜と海の生きもの	ゴマフアザラシ本剥製1体(アゴヒゲアザラシ本剥製1体と入替)	令和6年7月30日～12月6日
16	川向	いわて文化史展示室	展示替え	こけし	パネルを最新情報に更新	令和6年8月6日～常設
17	高橋	総合展示室(現勢・生物)	展示替え	三陸の海鳥	エトピリカ本剥製10体	令和6年8月17日～
18	高橋	いわて自然史展示室	展示替え	早池峰山の自然(哺乳類・鳥類)	ウソ本剥製2体(オコジョ本剥製2体と入替)	令和6年8月17日～
19	望月	総合展示室(地質)	展示替え	古第三紀の深海魚化石	雫石町産魚類化石4点	令和6年8月23日～
20	村田	総合展示室(歴史・古美術)	展示替え	記録絵巻としての屏風	前九年合戦屏風	令和6年8月29日～
21	大銚地	いわて文化史展示室	展示替え	仙台藩の村役人と文書	黒石村肝入文書ほか	令和6年9月21日～
22	望月	いわて自然史展示室	展示替え		花崗斑岩ほか 計2点	令和6年9月26日～
23	望月	総合展示室(地質)	展示替え		プロテキサニテス、サメの歯ほか 計4点	令和6年10月5日～
24	近藤・戸根	いわて文化史展示室	展示替え	むかしのくらし大図鑑	むかしのあかり	令和6年10月16日～令和7年1月26日
25	高橋	いわて自然史展示室	展示替え	山と森の鳥たち	冬鳥本剥製8種9体(夏鳥本剥製8種8体と入替)	令和6年11月13日～
26	高木	いわて文化史展示室	トピック展	岩洞湖畔の遺跡群	岩洞湖遺跡群表採資料 計22点	令和6年11月22日～
27	川向	いわて文化史展示室	展示替え	むかしのくらし大図鑑	冬にまつわる資料(行火や懐炉など) 計16点	令和6年12月3日～
28	目時	いわて文化史展示室	トピック展	患者史を読む	スペイン・インフルエンザ関連資料	令和6年12月4日～令和7年2月2日
29	高橋	いわて自然史展示室	展示替え	浜と海の生きもの	アゴヒゲアザラシ本剥製1体(ゴマフアザラシ本剥製1体と入替)	令和6年12月6日～
30	高橋	いわて自然史展示室	展示替え	岩手の両生類	爬虫類を追加(ヘビ類レプリカ5体・トカゲ類写真2枚)	令和6年12月6日～
31	渡辺	いわて自然史展示室	展示替え	昆虫標本収納展示	解説パネル設置	令和6年12月15日～
32	近藤	ミニプラザ	トピック展	冬休みこどもツアー(触察資料展示)	電話機	令和6年12月24日～令和7年1月10日
33	高橋	いわて自然史展示室	展示替え	浜と海の生きもの	アオウミガメ1体とタイマイ1体を追加	令和6年12月21日～
34	川向	総合展示室(庶民のくらし)	展示替え		パネルを最新情報に更新(スネカ、山神像、漁具)	令和7年1月17日～
35	川向	総合展示室(庶民のくらし)	展示替え	(染物・絵画の入れ替え)	大漁着、仕事着、まいるのほとけ 計4点	令和7年1月28日～

36	川向	いわて文化史展示室	展示替え	いわの暮らし	海辺の暮らしにまつわる写真資料計16点	令和7年2月4日～
37	望月	いわて自然史展示室	展示替え	地球史の中の岩手	映像コンテンツ設置	令和7年2月6日～
38	望月	いわて自然史展示室	展示替え	地球史の中の岩手	ネミアナ、モササウルスの歯 計2点	令和7年2月27日～
39	川向	総合展示室（庶民の暮らし）	トピック展	ひな人形	土人形19点、くくり雛20点、内裏雛5組10点、市松人形1組2点、南部手毬10点、小道具6点、菓子盆4点、和菓子レプリカ2種8点 計79点	令和7年2月11日～3月30日
40	川向・工藤	総合展示室（古美術）	トピック展	ひな人形	享保雛7点、天児・這子1組2点 計9点	令和7年2月18日～
41	米田	体験学習室	展示替え	ボードゲーム	将棋、オセロ	令和7年2月12日～
42	米田	いわて文化史展示室	展示替え	岩手の古代刀「蕨手刀」	蕨手刀3点	令和7年2月15日～
43	望月	グランドホール	展示替え	恐竜展示	エドモンドサウルスの大腿骨・脛骨 計2点	令和7年3月13日～
44	望月	階段ホール	展示替え	恐竜展示	解説パネル追加	令和7年3月14日～
45	近藤	ミニプラザ	トピック展	冬休みこどもツアー（触察資料展示）	電話機	令和7年3月18日～3月30日
46	歴史部門	総合展示室（古美術）	展示替え	驚異の部屋 ANNEX	刀剣4点（助真、舞草友長ほか）	令和7年3月26日～
47	川向	いわて文化史展示室	トピック展	驚異の部屋 ANNEX	鉄造異形神像懸仏	令和7年3月28日～

※平成24年度から各部門4回以上のトピック展・展示替えの実施を努力目標としている。令和6年度は10回のトピック展、37回の展示替えを行った。

ウ. 特別展示の概要

予定どおり、下記の企画展とテーマ展を実施することができた。

表 5. (1) -2 令和6年度の特別展示

種別	名称	会期	年度会期中の来場者数
テーマ展	ラグビーといわて	令和6年3月23日(土)～5月19日(日)	3,677
テーマ展	ふしぎな縄文	令和6年6月8日(土)～8月25日(日)	9,301
企画展	捕食者の献立	令和6年9月28日(土)～12月1日(日)	10,272
テーマ展	辿る ～岩手の囲碁・将棋～	令和7年1月7日(火)～3月9日(日)	4,284
テーマ展	驚異の部屋 ～博物館の珍品・お宝大集合～	令和7年3月29日(土)～5月18日(日)	357

展覧会実施日数：225日／開館日302日

展覧会の年度会期中の来場者数：27,891名

(ア) テーマ展「ラグビーといわて」

ラグビーフットボール競技（以下ラグビーと略）が岩手県でプレーされるようになったのは昭和2年（1927年）のことで、100年近くの歴史がある。ラグビーの成り立ちから岩手のラグビー最盛期を経て、震災とW杯開催、そして現在にいたるまでの岩手のラグビーの歩みを、選手が実際に使用した資料とともに紹介する。

[会期] 令和6年3月23日（土）～5月19日（日）

開催日数 50日（令和6年度は42日）

[会場] 特別展示室・いわて文化史展示室

[会期中の来館者数] 4,519名（令和6年度は3,677名）



[展示内容] 展示資料 120点 写真・図 81点

序章 ラグビーの誕生と日本への伝播

慶應義塾蹴球部最古のジャージ

1章 岩手のラグビーのはじまり

岩手中学校卒業アルバム（昭和13年度）、盛岡市鳥瞰図（吉田初三郎）

2章 栄光の記録

新日鐵釜石ラグビー部関連資料、盛岡工業高等学校ラグビー部

関連資料、岩手大学ラグビー部関連資料

釜石シーウェイブス GM 桜庭吉彦氏の紹介

桜庭吉彦氏着用日本代表ジャージ、キャップ

3章 震災・復興とラグビー

2019W杯ボール、ジャージ

ラグビーを支える裏方たちの紹介

4章 岩手のラグビーのいま

釜石シーウェイブスほか県内チーム、岩手県出身選手の紹介

ラグビー豆知識の紹介

いわて文化史展示室展示

桜庭吉彦氏関連資料、千田美智仁氏関連資料、震災津波支援関連資料、2019W杯関連資料

[関連事業]

1. 展示解説会 いずれも 14:00～15:00

4月13日（土） 参加者5名

5月4日（土） 参加者6名

2. 県博日曜講座（関連講座）会場：講堂

4月14日 13:30～14:30 参加者56名

「釜石ラグビーのこれまでとこれから」桜庭吉彦氏（日本製鉄釜石シーウェイブス）

4月28日 13:30～15:00 参加者28名

「世界の中の岩手—近代スポーツと学校—」工藤健（当館）

[印刷物]

ポスター B2 判カラー 600 部

チラシ A4 判両面カラー 10,000 部

[主担当] 工藤 健（専門学芸調査員）

（イ）テーマ展「ふしぎな縄文」

縄文時代の「ふしぎでちょっと変わった」資料の紹介を中心として、実際に用途や機能の特定に至らない資料についての諸説を紹介しつつ、来場者が自由な発想をもって縄文文化に親しみを持てる機会となるよう企画した。また、展示資料は基本的に岩手県内出土品とし、岩手の豊かで奥深い縄文文化への関心を高めるねらいを持たせた。

[会期] 令和6年6月8日（土）～8月25日（日）開催日数 71 日間

[会場] オザワ工業ぎやらりー（特別展示室）

[会期中の来館者数] 9,301 名



[展示内容] 展示資料 300 点

（0）プロローグ

ふしぎな縄文の世界へのお誘い 重要文化財 鼻曲がり土面（一戸町蒔前遺跡）ほか

（1）ちょっとカワイイ土器

小ぶりでカワイイ土器の数々 県指定文化財 壺形土器（軽米町長倉Ⅰ遺跡）ほか

（2）気合いの土器

精巧で見事な仕上げの土器たち 注口土器（北上市大橋遺跡）ほか

（3）ふしぎな土器

全体の形が一筋縄ではいかない複雑怪奇な土器 双口土器（盛岡市湯沢遺跡）ほか

（4）縄文人の絵ごころ

「何か」を表した可能性とデザインの妙 深鉢形土器（二戸市上里遺跡）ほか

（5）土でできたふしぎ道具

作られた目的は謎のまま正体不明の土製品 スタンプ形土製品（盛岡市川目A遺跡）ほか

（6）石でできたふしぎ道具

作られた目的は謎のまま正体不明の石製品 石冠（西和賀町本内Ⅱ遺跡）ほか

（7）ゆる～いデザイン

くずれたテキトーな文様と脱力したスタイル 注口土器（久慈市大芦Ⅰ遺跡）ほか

（8）いろんな石器スタイル

時には突拍子もない石器に焦点を当ててみる 異形石器（大船渡市上鷹生遺跡）ほか

（9）いろんな土偶スタイル

土偶にも姿勢や大きさの様々なバリエーション 首なし土偶（盛岡市上米内遺跡）ほか

（10）人？をデザイン

人体・人面表現がなぜこんなところに？ 人面付土器（平泉町泉屋遺跡）ほか

(11) いきものデザイン

かたどられた多様な動植物 動物形土製品（一関市相ノ沢遺跡）ほか

(12) アクセサリーあれこれ

単なる装飾か、超自然的なチカラをまとったのか

ヒスイ製大珠（山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡）ほか

(13) “ぼう” にこだわる

長くしつらえた棒状石製品群の意味とは？ 石棒（陸前高田市堂の前貝塚）ほか

(14) 性といのり

新しい生命を生み出す大事な性のいとなみ 土偶（奥州市久田遺跡）ほか

[縄文美術館写真展] 会場：ミニプラザ

テーマ展「ふしぎな縄文」の導入展示として、写真家小川忠博氏撮影の縄文時代資料写真により縄文時代工芸の魅力や奥深さを紹介した。写真は平凡社発行『縄文美術館』に掲載された小川氏撮影写真から選択した13点で、北海道・関東・中部地方の代表的な資料から選抜した。

[関連事業]

1. 展示解説会 会場：特別展示室 参加者合計 29 名

6月15日（土）13時30分～14時30分 参加者 15 名

7月13日（土）13時30分～14時30分 参加者 14 名

2. 県博日曜講座（関連講座）各回 13 時 30 分～15 時 会場：講堂 参加者合計 323 名

6月23日 参加者 62 名

「可愛い・やばい・神対応の縄文土偶」金子昭彦（当館）

7月14日 参加者 132 名

「対談 縄文のふしぎ」吉田泰幸氏（盛岡大学文学部 准教授）×望月昭秀氏（縄文 ZINE 編集長）

8月11日 参加者 62 名

「山と縄文人」高木晃（当館）

8月25日 参加者 67 名

「旧石器時代の変なモノ～旧石器人は何を描いたか～」米田寛（当館）

3. こどもジョウモン教室（小学生向け 当日受付 各回 13 時 30 分～14 時 30 分 会場：実技室）

7月27日（土）「土器のもようをかいてみよう」 2組 4名（子ども2名）

7月29日（月）「縄文の“なわ”を作ってみよう」 8組 28名（子ども14名）

8月 5日（月）「土器のもようをかいてみよう」 2組 6名（子ども3名）

8月10日（土）「縄文の“なわ”を作ってみよう」 5組 13名（子ども7名）

[印刷物]

ポスター B2 判カラー 700 部

チラシ A4 判表面カラー・裏面モノクロ 10,000 部

[主担当] 高木 晃（学芸第一課長兼学芸第二課長）

(ウ) 第72回企画展「捕食者の献立」

哺乳類・鳥類・爬虫類・軟骨魚類に属する主に大型の捕食者 88 種と、彼らが食べる多様な餌メニューを、当館が所蔵する豊富な実物標本やレプリカを用いて示し、野生生物の基本的な関係性である食物連鎖（食う-食われる）や資源分割（食い分け）を分かりやすく紹介する展覧会とした。



[会期] 令和6年9月28日（土）～

12月1日（日） 実開催日数 56 日

[会場] オザワ工業ギャラリー（特別展示室）

[会期中の来場者数] 10,272 名

[展示内容]

1 章 肉食獣の世界

肉食獣 13 種について食事内容を紹介した。

＜主な資料＞ホッキョクグマ・ヒグマ・ツキノワグマ・オオカミ・アカギツネ・オコジョイイズナ・カナダカワウソ・カワネズミほか。

2 章 猛禽類の世界

猛禽類 17 種について食事内容を紹介し、飛翔型本剥製 8 種で観察機会の多い猛禽類の飛翔する姿を、仮剥製 13 種で猛禽類の大きさ比べを示した。

＜主な資料＞ミサゴ・オオワシ・オジロワシ・イヌワシ・クマタカ・トビ・ノスリ
チュウヒ・サシバ・ハチクマ・オオタカ・ハイタカ・ツミ・ハヤブサ・チゴハヤブサ
チョウゲンボウ・コチョウゲンボウ・飛翔型本剥製 8 種・仮剥製 13 種ほか

3 章 フクロウ類の世界

フクロウ類 8 種について食事内容を紹介した。

＜主な資料＞フクロウ・トラフズク・コミミズク・アオバズク・オオコノハズク・
コノハズク・メンフクロウ・フクロウ類レプリカ（シマフクロウ）ほか

4 章 ヘビ類の世界

岩手県に生息するヘビ類全 9 種について食事内容を紹介した。

＜主な資料＞ヘビ類レプリカ（アオダイショウ・シマヘビ・ヤマカガシ・ニホンマムシ・
シロマダラ）ほか

5 章 海鳥の世界

三陸沖で主に見られる海鳥 31 種について食事内容を紹介した。

＜主な資料＞オオハム・ハジロカイツブリ・ヒメウ・コオリガモ・ツノメドリ・ウミスズメ・
オオセグロカモメ・ウミネコ・コアホウドリ・オオミズナギドリ・クロコシジロウミツバメ・
アカエリヒレアシシギほか

6章 鯨類・鮫類の世界

クジラ類5種とサメ類5種について食事内容を紹介した。

＜主な資料＞マッコウクジラの頭骨と歯、クジラ類の頭骨レプリカ（シャチ・オキゴンドウ・ハンドウイルカ・ネズミイルカ）、サメ類の歯（メジロザメ・ヨシキリザメ・イタチザメ・アオザメ・カグラザメ）ほか

終章 学芸員の献立

当館学芸員15名の食事内容を示すことで、私たち人間の食事内容を紹介した。

＜主な資料＞写真パネル31枚

〔関連事業〕

1. 展示解説会（計4回）

- ① 令和6年9月28日（土）13:30～14:30 参加者8名
- ② 令和6年9月29日（日）13:30～14:30 参加者18名
- ③ 令和6年10月12日（土）15:00～16:00 参加者24名
- ④ 令和6年10月13日（日）15:00～16:00 参加者22名

2. 県博日曜講座

- ① 令和6年10月27日（日）13:30～15:00 講堂 参加者65名
演題：「担当学芸員の企画展解説 捕食者の献立」
講師：高橋雅雄（当館）
- ② 令和6年11月10日（日）13:30～15:00 講堂 参加者30名
演題：「虫と人のアゴはどう違う？アゴの進化と多様性」
講師：渡辺修二（当館）
- ③ 令和6年11月24日（日）13:30～15:00 講堂 参加者55名
演題：「海鳥と旅する食物連鎖の世界」
講師：平田和彦氏（千葉県立中央博物館）

3. 文化講演会

- ① 令和6年11月3日（日）13:30～15:30 講堂 参加者75名
演題：「カワネズミの食べもの・カワウの食べもの」
講師：塩塚菜生氏（建設環境研究所中部支社）
本多里奈氏（埼玉県立自然の博物館）

4. 展示会付帯イベント

- ① 第88回自然観察会（盛岡市動物公園 ZOOMO：令和6年10月20日）
盛岡市動物公園 ZOOMO で飼育されている捕食者（特にツキノワグマ・アカギツネ・タヌキ・アナグマ・イヌワシ・ハヤブサ等）を見学しながら、企画展主担当（高橋）が野外での生態を、動物公園副園長（村山淳氏）が飼育下での行動等を解説した。参加者24名
- ② 出張展示「～岩手県立博物館企画展 出張ミニ展示～ 捕食者の世界」
場所：書肆みず盛り

日程：令和6年10月30日(水)～11月24日(日)

内容：① 県博貸出用剥製（アカギツネ・タヌキ・ニホンテン）

② 猛禽類の生態写真12枚

③ 【同時展開フェア】「自然の本」フェア

④ 【同時開催トークイベント】「書肆みず盛りの知りたい世界」

日程：令和6年11月9日(土) 17:00～20:00

[印刷物]

ポスター B2判カラー 2種×1,000部

チラシ A3判二つ折両面カラー 28,000部

図録 A4判カラー 68P 600部

[主担当] 高橋 雅雄（専門学芸調査員）

(エ) テーマ展「辿る～岩手の囲碁・将棋～」



岩手の囲碁と将棋の歴史と文化への興味関心を喚起することを目的とした。岩手県に伝わった囲碁と将棋が現代岩手に根付くまでの歩み、それぞれの時代を生きた先人たちが囲碁や将棋に親しむ姿の紹介に焦点をあて、平安期から現代に至るまでの岩手の囲碁将棋に関連する考古資料や文献資料、民俗資料、囲碁による地域おこしやコロナ禍における県内の将棋大会風景といった昨今のトピックスを展示した。

[会期] 令和7年1月7日(火)～3月9日(日) 開催日数54日間

[会場] オザワ工業ぎやらりー（特別展示室）

[会期中の来館者数] 4,284名

[展示内容] 展示資料 93点

1章 囲碁と将棋の起こりと日本への伝来

囲碁と将棋の起源と日本への伝来時期諸説、将棋の伝来ルート諸説の紹介

チャトランガや中国将棋、朝鮮将棋、タイ将棋（解説パネル・写真パネル）ほか

2章 発掘された岩手の囲碁と将棋

地鎮具としての用途が想定される碁石、遊戯具としての用途が想定される碁石や将棋駒

岩手県内より出土した碁石、将棋駒、平安大將棋（実物・写真パネル）ほか

3章 盛岡藩の囲碁と将棋

盛岡藩と囲碁家元とのつながり、盛岡藩士の間での囲碁の流行、盛岡藩士の囲碁と将棋の有段者

本因坊算砂大福帳、盛岡藩士の棋譜・日記・棋書、見立番付表（実物・写真パネル）ほか

4章 岩手に根付く囲碁と将棋

囲碁と将棋に打ち込む愛棋家 暮らしの中に根付く囲碁と将棋

近現代の県内諸氏の日記・星取表・見立番付表、郵便碁、火消絵馬、絵額、消防団纏、盛岡八

幡宮山車行事演目「碁盤忠信」、講道館柔道十段 三船久蔵氏（久慈市出身）将棋関連資料、刀匠 山口清房氏（盛岡市出身）将棋関連資料 ほか

5章 岩手の囲碁と将棋きのうきょう

囲碁による震災復興まちづくり コロナ禍における対局の記録

中森熊野神社奉納囲碁関連資料、大正15年敷設の石碁盤（碁石岬）、『碁石海岸で囲碁祭り』風景、「新しい生活様式」が浸透するさなかの将棋大会対局風景、本県出身プロ棋士（外柳是聞五段 囲碁、小山怜央四段 将棋）の書（実物・写真パネル）ほか

6章 さまざまな囲碁と将棋

囲碁と将棋の貴重資料

将棋免状（1797（寛政9）年）、近世～近現代の棋書、将棋駒の製作用具、菓子型、陶磁器、飾り物、錦絵 ほか

[関連事業]

1. 展示解説会（2回）

令和7年1月18日（土）14:00～15:00 参加者 3名

2月 2日（日）14:00～15:00 参加者 10名

2. 県博日曜講座

令和7年1月26日（日）13:30～15:30 講堂 参加者 26名

演題：「文献にみる岩手の碁打ち・将棋指し」

講師：村田雄哉（当館）

3. 囲碁体験教室（対象：4歳以上の初心者）

令和7年2月8日（土）10:00～11:30 教室 参加者 16名

講師：岩手県立盛岡第四高等学校囲碁将棋部5名

4. 将棋体験教室（対象：4歳以上の初心者）

令和7年2月22日（土）10:00～11:30 教室 参加者 27名

講師：岩手中・高等学校囲碁将棋部7名

5. 囲碁解説会

令和7年2月8日（土）13:30～14:30 講堂 参加者 24名

演題：「盛岡藩士向井将曹と本因坊跡目秀策の棋譜」

講師：渡邊健氏（日本棋院岩手県本部幹事長）

6. 将棋トーク

令和7年2月22日（土）13:30～14:30 講堂 参加者 37名

演題：「岩手で将棋指しを育てる」

講師：土橋吉孝氏（日本将棋連盟釜石支部長）

藤原隆史氏（岩手中・高等学校教諭 同校囲碁将棋部顧問）

[印刷物]

ポスター A3判カラー 700部

チラシ A4判表面カラー・裏面モノクロ 11,000部

[主担当] 村田 雄哉（専門学芸員）

〔オ〕テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」



博物館では、各部門等の展示や資料整備方針のもと資料収集が行われている。当館が総合博物館であることの強みを生かし、各部門からこれまで展示されてこなかった資料や怪奇珍品、謎の資料、高価な資料などを出陳する。当館所蔵資料のジャンルの広さを知っていただくとともに、博物館の役割として重要な日頃の調査研究・資料収集・保管展示に焦点をあて、博物館活動についても紹介する。

〔会期〕 令和7年3月29日（土）～5月18日（日）

※令和6年度中の開催日数2日間

〔会場〕 オザワ工業ぎやらりー（特別展示室）、いわて文化史展示室

〔会期中の来館者数〕 357名（令和6年度）

〔展示内容〕 展示資料 296点 写真・図 38点

プロローグ 「museum(ミュージアム)」・博物館の始まり～

岩手県立博物館の歴史・「東方見聞録」（復刻本）、「内国勸業博覧会図」、「倭漢三才図会」など

第1章 驚異の部屋 ～怪奇珍品・これは一体何ですか！？～

異常巻アンモナイト、八木貝塚出土石剣、ジャイアントパンダの糞など

第2章 高額な部屋 ～必見！高額資料～

カワシンジュガイ真珠玉、享保大判金、鯰尾兜（燕尾形兜）、金銀細工、象牙など

第3章 蒐集の部屋 ～執念のコレクション～

昆虫化石や中国古印コレクション、縄文柴犬頭蓋骨、外国産昆虫標本など

第4章 危険な部屋 ～ヤバイ資料たち・毒、武器、迷信！？～

ムカシオオホホジロザメの右下顎歯、毒キノコ類、メガネカイマン、幽霊の図など

第5章 学芸員の部屋～私、こんな調査研究しています～

各学芸員の調査研究内容をイラストパネルで紹介

★トピック展 「剥製と骨の部屋」

エピローグ ～プライスレスな資料たち～

貴重な資料を未来に残すための博物館の取り組みを紹介

〔印刷物〕

ポスター B2判カラー 500部

チラシ A3判二つ折両面カラー 26,500部

〔主担当〕 近藤 良子（主任専門学芸員）

（２）教育普及活動

令和６年度は、教育普及活動として 30 件の事業を行った。

ゴールデンウィークには、民俗部門が「ゴールデンウィーク スペシャルイベント」として「よみがえった古代のボードゲーム かりうちで遊ぼう」を、生物部門が「植物園案内」を行った。５月 18 日には国際博物館の日を記念してバックヤードツアーを開催した。夏休み期間中には、閉館後の暗い館内を学芸員が案内・トピック解説するナイトミュージアムを開催した。また、教員の専門性の向上を目的に、「教員のための博物館」を例年通り開催し、講座の他に博物館の利用法について相談も受けた。その際、多くの参加を促すために子供同伴を可としている。博物館館園実習も夏季に行った。

秋季開催の「博物館まつり」は今年度も土日の２日間開催し、「博物館にかくされた化石をさがせ!」、工作体験３種類、「たんけん! がんせきえん・しょくぶつえん」、「たのしい! むかしあそび」を両日実施した。「博物館にかくされた化石をさがせ!」は館内に隠された化石のレプリカ探しで、全ての課題をこなした方には抽選で化石のレプリカを贈呈した。また、日曜日には岩手県立大学のダブルダッチサークル

「ROPE A DOPE」の実演・体験会を開催した。ダブルダッチは２本の縄を使う長縄跳びで、特に子どもたちに大人気だった。「デジタル・アーカイブ構築プロジェクト」事業の中で行われた「かくれた化石をさがせ! まつぞのウォークラリー」は、博物館周辺の松園地区で地図を頼りに化石のレプリカを探し回るもので、11 月 3 日と 4 日の２日間開催し、大変好評だった（抽選で化石のレプリカをプレゼントした）。講堂で年一回実施する「ミュージアムコンサート」は、今年度は趣向を変えて「劇団しばいぬ」によるミュージアムドラマ「サンタ、くろうす」を上演した。注目度が高く、当日は降雪となったが 113 名が参加された。

「たいけん教室」は、幼児～小学生を対象とした参加体験型の工作プログラムで、チラシやホームページにメニューを掲載し専用 e-mail による予約・抽選制で行うものである。また、特別廉価版である「冬のワクワク! ワークショップ」を 1 月上旬に開催した。毎月第 1 土曜日に講堂で開催する「ミュージアムシアター」は子供向け行事として出発したが、シニア層の需要が多く、近年は一般向けの上映が中心となりつつある。

講座・観察会としては、地質観察会、自然観察会、「博物館で学ぶ岩手の歴史講座」、民俗講座（「たいけん! むかしのくらし」）等を開催した。第 2 と第 4 の日曜日に当館学芸員が主に講演する「県博日曜講座」は、「館長日曜講座」から名を変えて 24 年になる。

学習支援や社会教育事業としては、幼稚園・小中高等学校・県立学校・大学・各種団体等からの団体利用や教材貸し出し、学校への出前授業（「出前講座」）に対応している。出前講座の一つ、博学連携青松支援学校リレー講座は 3 年目となった。県立青松支援学校への出前授業（50 分）で、担当教諭による予習・復習授業とセットとなる。今年度は 11～12 月に文化財科学以外の全部門が合計 5 回行い、生物部門と民俗部門の回は生徒に当館に出向いてもらって館内で資料を見せながら実施した。また、展示品に合わせた新学習指導要領対象目録の更新を行った。文化財担当初心者を対象にした文化財等取扱講習会は、昨年度から 6 月と 12 月に 2 日ずつ開催した。

ア. 開催事業

(ア) 展示付帯事業（入館料を要する区域〔展示室内〕での事業）

表 5. (2)-1 令和6年度展示付帯事業参加者総数

	イベント名	回数	参加者総数
1	学芸員による展示解説会	10	125
2	こどもジョウモン教室（テーマ展「ふしぎな縄文」附帯事業）	4	51
3	テーマ展「辿る～岩手の囲碁将棋～」関連イベント	4	104
4	解説員による依頼解説	91	1,360
5	長期休暇期間子ども向け解説	173	530
6	チャレンジ！はくぶつかん	54	2,481
7	ワードクイズ	51	854
8	ナイトミュージアム	2	34
合計			5,539

表 5. (2)-2 令和6年度展示付帯事業別参加者詳細

■学芸員による展示解説会（展覧会／定時）

延べ 125 名

	期日		時間	演題・イベント名ほか	講師等	参加者数
1	4月13日	土	14:00～15:00	テーマ展「ラグビーといわて」	工藤 健	5
2	5月4日	土	14:00～15:00	テーマ展「ラグビーといわて」	工藤 健	6
3	6月15日	土	13:30～14:30	テーマ展「ふしぎな縄文」	高木 晃	15
4	7月13日	土	13:30～14:30	テーマ展「ふしぎな縄文」	高木 晃	14
5	9月28日	土	13:30～14:30	企画展「捕食者の献立」	高橋雅雄	8
6	9月29日	日	13:30～14:30	企画展「捕食者の献立」	高橋雅雄	18
7	10月12日	土	15:00～16:00	企画展「捕食者の献立」	高橋雅雄	24
8	10月13日	日	15:00～16:00	企画展「捕食者の献立」	高橋雅雄	22
9	1月18日	土	14:00～15:00	テーマ展「辿る～岩手の囲碁将棋～」	村田雄哉	3
10	2月22日	土	14:00～15:00	テーマ展「辿る～岩手の囲碁将棋～」	村田雄哉	10

※展覧会担当学芸員が展示の見どころを解説。

■こどもジョウモン教室（テーマ展「ふしぎな縄文」附帯事業）

延べ 51 名

	期日		イベント	会場	子ども参加数	参加者総数
1	7月27日	土	土器のもようをかいてみよう	実技室	2	4
2	7月29日	月	縄文のなわを作ってみよう	実技室	14	28
3	8月5日	月	土器のもようをかいてみよう	実技室	3	6
4	8月10日	土	縄文のなわを作ってみよう	実技室	7	13

■テーマ展「辿る～岩手の囲碁将棋～」関連イベント

延べ 104 名

	期日		イベント	会場	講師	参加者数
1	2月8日	土	囲碁体験教室	教室	岩手県立盛岡第四高等学校囲碁将棋部 5 名	16
2	2月8日	土	囲碁解説会「盛岡藩士向井将曹と本因坊跡目秀策の棋譜」	講堂	渡邊 健（日本棋院岩手県本部幹事長）	24
3	2月22日	土	将棋体験教室	教室	岩手中・高等学校囲碁将棋部 7 名	27
4	2月22日	土	将棋トーク「岩手で将棋指しを育てる」	講堂	土橋吉孝（日本将棋連盟釜石支部長） 藤原隆史（岩手中・高等学校囲碁将棋部顧問）	37

■解説員による依頼解説（随時）

91 件 1,360 人

実施日	参加者数		解説・案内 回数										利用 件数
			総合展示室					いわて 文化史展示室			いわて 自然史展示室		
			地質	考古	歴史	民俗	現勢生物	考古	歴史	民俗	地質	生物	
4 月	学校等	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	一般	15	4	2	2	2	3	1	1	1	2	2	5
5 月	学校等	31	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	一般	29	7	7	7	4	4	1	1	1	1	1	7
6 月	学校等	27	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	一般	23	4	3	3	3	3	1	1	1	2	2	4
7 月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	73	8	7	7	6	6	0	0	1	1	1	7
8 月	学校等	25	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	3
	一般	100	12	6	5	5	6	2	1	3	3	3	9
9 月	学校等	297	9	8	8	8	6	0	0	3	0	0	5
	一般	3	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	2
10 月	学校等	233	6	5	4	8	6	0	0	3	0	0	7
	一般	98	15	14	13	12	13	1	1	1	1	1	12
11 月	学校等	128	4	0	0	5	0	0	0	3	0	0	3
	一般	76	12	11	12	10	9	2	2	2	1	1	9
12 月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	35	3	3	4	3	3	0	0	0	0	0	4
1 月	学校等	83	1	0	0	2	0	0	0	3	0	0	2
	一般	7	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	2
2 月	学校等	33	2	2	2	2	2	0	0	0	1	1	2
	一般	33	1	1	1	1	2	0	0	0	0	1	2
3 月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	8	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	3
	計	1360	104	80	81	80	72	12	11	26	15	16	91

■長期休暇期間子ども向け解説

173 件 530 人

期日（随時）		演題・イベント名ほか	回数	参加者数
7 月 23 日～8 月 9 日	18 日間	夏休み子ども向け解説	127	402
12 月 24 日～1 月 10 日	11 日間	冬休み子ども向け解説	15	43
3 月 18 日～3 月 28 日	10 日間	春休み子ども向け解説	31	85

■チャレンジ！はくぶつかん（常設展示室ほか／随時）

延べ 2,481 人

回数	期日		テーマ	シート作成者	参加者数	月別参加者総数	備考
1	4 月 13 日	土	動物	高橋雅雄	23	139	大人 10
2	4 月 14 日	日			41		大人 19
3	4 月 20 日	土			14		大人 7
4	4 月 21 日	日			61		大人 25
5	5 月 11 日	土	おしゃれ	村田雄哉	33	146	大人 19
6	5 月 12 日	日			34		大人 17
7	5 月 18 日	土			42		大人 22
8	5 月 19 日	日			37		大人 16
9	6 月 8 日	土	青	山崎 遙	28	111	大人 11
10	6 月 9 日	日			36		大人 18
11	6 月 15 日	土			20		大人 11
12	6 月 16 日	日			27		大人 13
13	7 月 13 日	土	海	渡辺修二	32	241	大人 18
14	7 月 14 日	日			51		大人 24
15	7 月 15 日	月・祝			80		大人 34
16	7 月 20 日	土			53		大人 28
17	7 月 21 日	日			25		大人 10
18	8 月 10 日	土	宝	川向富貴子	47	305	大人 20
19	8 月 11 日	日			100		大人 41
20	8 月 12 日	月・祝			67		大人 37
21	8 月 17 日	土			37		大人 21
22	8 月 18 日	日			54		大人 30
23	9 月 14 日	土	土	佐藤修一郎	22	267	大人 12
24	9 月 15 日	日			51		大人 24
25	9 月 16 日	月・祝			70		大人 33
26	9 月 21 日	土			27		大人 12
27	9 月 22 日	日			71		大人 38
28	9 月 23 日	月・祝			26		大人 12
29	10 月 12 日	土	食	目時和哉	162	522	大人 108
30	10 月 13 日	日			216		大人 72

31	10月14日	月・祝			87		大人 45
32	10月19日	土			29		大人 12
33	10月20日	日			28		大人 16
34	11月9日	土	絵	大銃地駿佑	31	161	大人 13
35	11月10日	日			46		大人 23
36	11月16日	土			28		大人 16
37	11月17日	日			56		大人 27
38	12月14日	土	口（しかく）	工藤 健	20	97	大人 10
39	12月15日	日			46		大人 22
40	12月21日	土			14		大人 8
41	12月22日	日			17		大人 8
42	1月11日	土	長い	戸根貴之	46	186	大人 19
43	1月12日	日			51		大人 28
44	1月13日	月・祝			38		大人 17
45	1月18日	土			14		大人 6
46	1月19日	日			37		大人 20
47	2月8日	土	光	望月貴史	39	166	大人 22
48	2月9日	日			44		大人 22
49	2月10日	土			38		大人 20
50	2月11日	日			45		大人 22
51	3月8日	土	春	近藤良子	33	140	大人 16
52	3月9日	日			55		大人 27
53	3月15日	土			29		大人 14
54	3月16日	日			23		大人 13

※当館学芸員が毎月作成するワークシート（展示に関するクイズ）を配布。

※今年度は18名の最優秀チャレンジャー（全12回に参加した皆勤賞、7回目2名、6回目4名、4回目1名、3回目3名、2回目8名）が誕生した。

■ワードクイズ（常設展示室／随時）

延べ 854 人

期日	回数	テーマ	シート作成者	当番	参加者数	総数
4月2日（火）～12日（金） ※R5年度3/19からの続き	10	石・化石	米田 寛	高橋雅雄	80	211
		生き物	高橋雅雄	米田 寛	67	
		歴史	近藤良子		64	
7月23日（火）～8月9日（金）	18	石・化石	望月貴史	高橋雅雄	141	406
		生き物	高橋雅雄	米田 寛	150	
		歴史	大銃地駿佑		115	
12月24日（火）～1月10日（金）	11	石・化石	米田 寛	高橋雅雄	28	71
		生き物	近藤良子	米田 寛	25	
		歴史	村田雄哉		18	

3月18日(木)～3月30日(日) ※但し、R7年度4/11まで続く	12	石・化石	望月貴史	高橋雅雄	61	166
		生き物	高橋雅雄	米田 寛	63	
		歴史	大鈿地駿佑		42	

※当館学芸員作成のワークイズの配布。

■ナイトミュージアム (常設展示室／定時)

延べ34名

	期日	曜日	時間	概要	参加者数
1	8月9日	金	16:30～17:30	閉館後、照明を落とした展示室をツアーガイドにしたがって見学し、各部門学芸員の解説を受ける。	18
2	8月10日	土	16:30～17:30		16

※平成28年度より実施。

■展示資料解説「けんぱくものしりシート」

	発行日		テーマ		シート作成者
1	4月6日	土	民俗	百万遍	解説員
2	5月4日	土	生物	三陸海岸	
3	6月1日	土	体験学習室	めんこ	
4	7月6日	土	地質	リンボク	
5	8月3日	土	考古	動物形土製品	
6	9月14日	土	歴史	兜蹴毘沙門天立像	
7	10月5日	土	民俗	ワラダ	
8	11月2日	土	生物	ヨタカ	
9	12月7日	土	体験学習室	竹がえし	
10	1月4日	土	地質	マンモスの臼歯	
11	2月1日	土	考古	古墳の副葬品	
12	3月1日	土	歴史	十千十二支	

※当館解説員が毎月作成している展示資料解説カードを配布するとともに、当館HPに掲載。

(イ) 教育普及事業

表5. (2)-3 令和6年度教育普及事業別参加者総数

	種別	イベント名	回数	参加者総数
1	講演会	文化講演会	1	75
2	講演会	岩手県立博物館友の会 話のサロン	2	40
3	講演会	県博日曜講座	22	971
4	見学会	県博バックヤードツアー	2	14
5	見学会	地質観察会	1	15
6	見学会	自然観察会	2	37
7	見学会	植物園案内	4	20
8	鑑賞会	ミュージアムコンサート	1	113

9	鑑賞会	ミュージアムシアター	10	187
10	ワークショップ	たいけん教室～みんなでためそう～	47	848
11	ワークショップ	ゴールデンウィーク スペシャルイベント	6	69
12	ワークショップ	民俗講座	2	65
13	ワークショップ	冬のワクワクワークショップ	4	74
14	実習・講習会	博物館で学ぶ岩手の歴史講座	7	87
15	実習・講習会	館園実習	1	11
16	実習・講習会	文化財等取扱講習会（4日間）	4	25
17	実習・講習会	教員のための博物館の日（2日間）	2	34
18	その他	博物館まつり	2	1,723
19	その他	県博出前講座	30	1,288
			合計	5,696

表 5. (2)-4 令和6年度教育普及事業別参加者詳細

■文化講演会（講演会）

延べ75人

期日	曜日	演題	講師名（所属）	参加者数
11月3日	日・祝	カワネズミの食べもの・カワウの食べもの	塩原菜生（建設環境研究所） 本多里奈（埼玉県立自然の博物館）	75

※企画展「捕食者の献立」関連事業として実施。

■岩手県立博物館友の会 話のサロン

延べ40人

期日	曜日	演題	講師名（所属）	参加者数	会場
5月20日	土	新渡戸稲造と津田梅子	藤井 茂（新渡戸基金理事長・新渡戸稲造会会長）	19	講堂
2月15日	土	歌人 大西民子の短歌と生涯	川村杢平（もりおか民子の会代表理事）	21	講堂

■県博日曜講座〔全22回〕

延べ971人

	期日	曜日	テーマ	講師名（所属） ※（ ）なしは当館学芸員	参加者数
1	4月14日	日	釜石ラグビーのこれまでとこれから	桜庭吉彦（釜石シーウェイブス）	56
2	4月28日	日	世界の中の岩手ー近代スポーツと学校ー	工藤 健	28
3	5月12日	日	岩手のユネスコ無形文化遺産	戸根貴之	16
4	5月26日	日	岩手県の不思議な信仰ー動物編ー	近藤良子	35
5	6月9日	日	平安時代の御所野遺跡とその周辺	丸山浩治	49
6	6月23日	日	可愛い・やばい・神対応の縄文土偶	金子昭彦	62
7	7月14日	日	対談 縄文のふしぎ	吉田泰幸（盛岡大学） 望月昭秀（縄文 ZINE 編集長）	132
8	7月28日	日	生命史をひも解くー古第三紀ー	望月貴史	34
9	8月11日	日	山と縄文人	高木 晃	62

10	8月25日	日	旧石器時代の変なモノ ～旧石器人は何を描いたか～	米田 寛	67
11	9月22日	日	青い目の人形-昭和2年の日米親善交流-	川向富貴子	24
12	10月27日	日	担当学芸員の企画展解説 捕食者の献立	高橋雅雄	65
13	11月10日	日	虫と人のアゴはどう違う？ アゴの進化と多様性	渡辺修二	30
14	11月24日	日	海鳥と旅する食物連鎖の世界	平田和彦（千葉県立中央博物館）	55
15	12月8日	日	忘れられたパンデミックスペイン・インフルエンザと新型コロナウイルス感染症	目時和哉	30
16	12月22日	日	岩手の江戸時代の古文書	大銃地駿佑	32
17	1月12日	日	文化財を守るための環境管理	山崎 遙	16
18	1月26日	日	文献にみる岩手の碁打ち・将棋指し	村田雄哉	26
19	2月9日	日	収蔵地質標本の産地を巡って	佐藤修一郎	25
20	2月23日	日	科研費研究成果報告 オオセッカはどこで越冬するか	高橋雅雄	36
21	3月9日	日	岩手県の植物相を調べよう！	鈴木まほろ	46
22	3月23日	日	続 雑学のススめ（笑いと頭の体操）～中高年の皆さんと一緒に考える名言 No.4～（渋沢栄一も愛した論語とは…。孔子の言葉は、時代を超えて今もなお私たちの心に響き続けています）	高橋廣至（当館館長）	45

■ 県博バックヤードツアー（見学会）

延べ14人

	期日	曜日	概要（会場）	講師名	参加者数
1	5月18日	土	自然史コース（第2・4・5収蔵庫）	当館学芸職員	8
2			歴史コース（第1・3・4収蔵庫）		6

※平成16年度～、5月18日の「国際博物館の日」記念事業として実施。事前申込制。

■ 地質観察会（見学会）

延べ15人

	期日	曜日	イベント名	会場	講師名（所属）	参加者数	備考
1	7月7日	日	第87回地質観察会「二戸が亜熱帯だった頃の化石と地層～白鳥川の門ノ沢動物群」	二戸市白鳥川周辺	大石雅之（当館研究協力員）	0	雨天中止
2	10月26日	土	第88回地質観察会「一関市東山町の古生界と化石」	一関市東山町	望月貴史（当館）	15	

※事前申込制

■自然観察会（見学会）

延べ 37 人

	期日	曜日	イベント名	会場	講師名（所属）	参加者数
1	7 月 21 日	日	第 87 回自然観察会「大窪山の虫たちをさがそう」	大船渡市大窪山森林公園	千葉武勝（当館研究協力員） 渡辺修二（当館）	13
2	10 月 20 日	日	第 88 回自然観察会「捕食者を観察しよう」	盛岡市動物公園 ZOOMO	村山 淳（動物公園副園長） 高橋雅雄（当館）	24

※事前申込制

■植物園案内（見学会）

延べ 20 人

期日	曜日	回数	会場	講師	参加者数	備考
4 月 28 日	日	2	当館植物園	鈴木まほろ（当館）	6	11 時：おとなむけ 15 時：こどもむけ 15 時は不成立
4 月 29 日	月・祝	2	当館植物園	鈴木まほろ（当館）	14	11 時：8 人 15 時：6 人

■ミュージアムコンサート（鑑賞会）

延べ 113 人

期日	曜日	演題・イベント名ほか	参加者数
12 月 15 日	日	ミュージアムドラマ「サンタ、くろうす」 劇団しばいぬ	113

■ミュージアムシアター（鑑賞会）

延べ 187 人

回数	期日	曜日	内容	種別	運営	参加者数
1	4 月 6 日	土	麦秋	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	14
2	5 月 8 日	土	くまのプーさん プーさんとはちみつ プーさんと大あらし	アニメ	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	30
3	6 月 1 日	土	種まく旅人 ～華蓮ハスのかがやき～	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	11
4	7 月 6 日	土	シンデレラ 秘密のプリンス	アニメ	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	8
5	8 月 3 日	土	星の子チョビン	アニメ	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	13
6	10 月 5 日	土	サッチャんの四角い空	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	15
7	11 月 2 日	土	ホーム・スイートホーム	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	23
8	12 月 7 日	土	ミッキーマウスとゆかいな仲間たち サンタのいないクリスマス	アニメ	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	31

9	2月1日	土	お茶漬けの味	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	26
10	3月1日	土	こどもしょくどう	実写	映写：中央地域視聴覚ライブラリー 映写ボランティアシネマ友の会	16

※【平成14年度～】盛岡教育事務所中央地域視聴覚ライブラリーとの共催による映画会。映写は16ミリ映写機操作技術講習会修了証を有するライブラリー映写ボランティア「シネマ友の会」が担当した。

■たいけん教室～みんなでためそう～（ワークショップ）

延べ 848 人

	期日	曜日	テーマ	講師	参加者 実数	参加者総数 (保護者込)
1	4月14日	日	スライムであそぼう	当館解説員	9	20
2	4月21日	日	まが玉アクセサリ	当館解説員	10	18
3	4月28日	日	こいのぼりづくり	当館解説員	8	14
4	5月5日	日	猫絵馬づくり	当館解説員	10	22
5	5月12日	日	化石のレプリカ	当館解説員	7	15
6	5月19日	日	オリジナルの卵をつくろう	当館解説員	5	11
7	5月26日	日	草花のそめもの	当館解説員	9	17
8	6月2日	日	チャグチャグ馬コづくり	当館解説員	9	15
9	6月9日	日	カラフルクモづくり	当館解説員	8	14
10	6月16日	日	アンモナイトの消しゴムづくり	当館解説員	10	20
11	6月23日	日	まが玉アクセサリ	当館解説員	10	18
12	6月30日	日	土偶づくり	当館解説員	10	22
13	7月7日	日	スライムであそぼう	当館解説員	10	20
14	7月14日	日	ちぎり絵のうちわ	当館解説員	10	19
15	7月21日	日	紙コップのあやつり人形	当館解説員	8	19
16	7月28日	日	ミニさんさだいこ	当館解説員	10	21
17	7月28日	日	ミニさんさだいこ	当館解説員	10	19
18	8月4日	日	化石のレプリカ	当館解説員	10	19
19	8月4日	日	化石のレプリカ	当館解説員	9	18
20	8月11日	日	天然石のフォトフレーム	当館解説員	10	19
21	8月11日	日	天然石のフォトフレーム	当館解説員	10	20
22	8月18日	日	土器づくり	当館解説員	10	21
23	8月25日	日	3Dメガネで万華鏡	当館解説員	10	17
24	10月6日	日	ウォータードームづくり	当館解説員	9	16
25	10月20日	日	スライムであそぼう	当館解説員	9	18
26	10月27日	日	カラフルクモづくり	当館解説員	10	21
27	11月3日	日	まが玉アクセサリ	当館解説員	9	19

28	11月10日	日	ヨーヨーの絵つけ	当館解説員	7	17
29	11月17日	日	砂絵	当館解説員	7	15
30	11月24日	日	松ぼっくりのXmas ツリー	当館解説員	9	17
31	12月1日	日	松ぼっくりのXmas ツリー	当館解説員	11	24
32	12月8日	日	かんたん門松	当館解説員	10	21
33	12月15日	日	まゆで干支づくり (巳)	当館解説員	10	17
34	12月15日	日	まゆで干支づくり (巳)	当館解説員	6	12
35	12月22日	日	まゆで干支づくり (巳)	当館解説員	10	22
36	12月22日	日	まゆで干支づくり (巳)	当館解説員	10	21
37	1月5日	日	木のこまの絵つけ	当館解説員	9	18
38	1月19日	日	たこづくり	当館解説員	10	17
39	1月26日	日	スライムであそぼう	当館解説員	8	16
40	2月2日	日	お絵かきはんこ	当館解説員	10	19
41	2月9日	日	いわてのどうぶつしょうぎ	当館解説員	9	19
42	2月16日	日	おひなさまづくり	当館解説員	7	15
43	2月23日	日	化石のレプリカ	当館解説員	10	22
44	3月9日	日	アンモナイトの消しゴムづくり	当館解説員	10	20
45	3月16日	日	天然石のフォトフレーム	当館解説員	7	14
46	3月23日	日	手づくり万華鏡	当館解説員	8	16
47	3月23日	日	手づくり万華鏡	当館解説員	7	14

※【昭和56年度～】当館解説員による主に幼児（3歳以上）～小学生対象のワークショップである。定員はプログラムごとに20～30名の範囲で設定してきたが、コロナ禍後は定員を子ども10名とした。

■ゴールデンウィーク スペシャルイベント（ワークショップ）

延べ69人

期日	曜日	時間	回数	演題・イベント名ほか	会場	参加者数
5月4日	土・祝	10:30-11:15 14:00-14:45	2	よみがえった古代のボードゲーム かりうちで遊ぼう	グランドホール	19
5月5日	日・祝	10:30-11:15 14:00-14:45	2	よみがえった古代のボードゲーム かりうちで遊ぼう	グランドホール	32
5月6日	月	10:30-11:15 14:00-14:45	2	よみがえった古代のボードゲーム かりうちで遊ぼう	グランドホール	18

■民俗講座「たいけん！むかしのくらし」（ワークショップ）

延べ65人

	期日	曜日	会場	講師等	子ども参加数	参加者数
1	8月24日	土	旧佐々木家住宅	学芸職員（民俗）・館園実習生	19	44

2	11月3日	日	旧佐々木家住宅	学芸職員（民俗）	12	21
---	-------	---	---------	----------	----	----

※令和4年度～実施。

■冬のワクワク！ワークショップ

期日	曜日	回数	テーマ	会場	参加者 実数	参加者総数 (保護者込)
1月11日	土	4	化石のレプリカ	実技室	40	74

※【平成24年度～】幼児（3歳以上）～小学生向けワークショップ（有料各100円）。

■博物館で学ぶ岩手の歴史講座（実習・講習会）

延べ87人

	期日	曜日	内容	講師	参加者数
1	9月21日	土	いわての歴史概観～展示解説～	工藤 健（当館） 目時和哉（当館）	14
2	9月28日	土	いわての古代～中世史	目時和哉（当館）	12
3	10月5日	土	いわての文化史	村田雄哉（当館）	12
4	10月19日	土	いわての近世史	大銃地駿佑（当館）	12
5	10月26日	土	いわての近代史	工藤 健（当館）	13
6	11月2日	土	いわての現代史	工藤 健（当館）	13
7	11月9日	土	いわての歴史資料	村田雄哉（当館）	11

■館園実習（実習・講習会）

受講者11人

	日付	曜日	講師	講座内容	受講者数
1	8月22日	木	高橋 廣至 館長	実習にあたって	11
2			学芸第三課長	岩手県立博物館概要説明	
3			実習担当	施設見学	
4			学芸第一課長	講義「地方博物館の使命と役割」	
5			総務課	博物館管理業務の実務	
6	8月23日	金	学芸第二課資料管理担当	博物館資料管理の実務	11
7			開催中展覧会担当	博物館展示の実務	
8			文化財科学部門	博物館環境保全の実務	
9				博物館資料保存の実務（文化財科学）	
			解説員	展示資料解説の実務	
10	8月24日	土	民俗部門	博物館資料整理の実務（人文系）・民俗講座補助	11
11	8月25日	日	生物部門	博物館資料整理の実務（自然史系）	11
12				博物館展示の実務	
			解説員	博物館教育普及の実務（体験学習室・たいけん教室補助）	
13	8月27日	火	地質部門	博物館展示の実務	11
				博物館資料整理の実務（自然史系）	
14			歴史部門	博物館展示の実務	
15				博物館資料整理の実務（人文系）	
			学芸第一課	博物館事業広報の実務	

16	8月28日	水	考古部門	博物館展示の実務	11
				博物館資料整理の実務（人文系）	
17			歴史部門	博物館展示の実務	
				博物館資料整理の実務（人文系）	
18	8月29日	木	地質部門	博物館展示の実務	11
				博物館資料整理の実務（自然史系）	
19			歴史部門	博物館展示の実務	
				博物館資料整理の実務（人文系）	
20			学芸第三課長	実習終了にあたって	

※今年度は、盛岡大学・岩手大学・新潟大学・茨城大学・千葉大学・四国大学・八洲学園大学から合計11名を受け入れた。

■文化財取扱講習会（実習・講習会）

受講者 前期 25 人・後期 24 人

前期

月日	時間	A 班	B 班
6月20日（木）		受 付 〔 教室前 〕 9:40～10:00	
	20 分	開講式・オリエンテーション 〔 教室 〕 10:00～	
	90 分	【資料および環境管理】 文化財科学 〔 教室 〕 10:30～	
	60 分	昼食〔 教室・実技室 〕 12:00～13:00	
	90 分	【資料および環境管理】 文化財科学 〔 館内巡検 〕 13:00～	
		休憩 15 分	
	75 分	【人文系資料取扱基礎】 (3) 歴史① 〔 第1収蔵庫ほか 〕 14:45～	
6月21日（金）		受 付 〔 教室前 〕 9:40～10:00	
	10 分	連絡〔 教室 〕 10:00～10:10	
	110 分	【人文系資料取扱基礎】 (3) 歴史② 〔 第1収蔵庫ほか 〕 10:10～	
	60 分	昼食〔 教室・実技室 〕 12:00～13:00	
	60 分	【自然史資料取扱基礎①】 (4) 地質 〔 第4収蔵庫 〕 13:00～	【自然史資料取扱基礎①】 (5) 生物 〔 第2収蔵庫 〕 13:00～
		休憩 10 分	
	60 分	【自然史資料取扱基礎②】 (5) 生物 〔 第2収蔵庫 〕 14:10～	【自然史資料取扱基礎②】 (4) 地質 〔 第4収蔵庫 〕 14:10～

		休憩 10 分
	30 分	質疑応答 〔 教室 〕 15:20～15:50
	10 分	閉講式 〔 教室 〕 15:50～16:00

後期

月 日	時間	A 班	B 班
1 1 月 2 1 日 (木)		受 付 〔 教室前 〕 9:40～10:00	
	10 分	開講式・オリエンテーション 〔 教室 〕 10:00～	
	110 分	【人文系資料取扱基礎①】 (8) 民俗 〔 第3収蔵庫 〕 10:10～	【人文系資料取扱基礎①】 (9) 考古 〔 第4収蔵庫 〕 10:10～
	60 分	昼食〔 教室・実技室 〕 12:00～13:00	
	110 分	【人文系資料取扱基礎②】 (9) 考古 〔 第4収蔵庫 〕 13:00～	【人文系資料取扱基礎②】 (7) 歴史② 〔 第1収蔵庫 〕 13:00～
		休憩 10 分	
	60 分	【 (10) 意見交換会 〕 〔 教室 〕 15:00～	
1 1 月 2 2 日 (金)		受 付 〔 教室前 〕 9:40～9:55	
	5 分	連絡〔 教室 〕 9:55～10:00	
	110 分	【人文系資料取扱基礎③】 (7) 歴史② 〔 第1収蔵庫 〕 10:00～	【人文系資料取扱基礎③】 (8) 民俗 〔 第3収蔵庫 〕 10:00～
	10 分	【 閉講式 〕 〔 教室 〕 11:50～12:00	
	60 分	昼食〔 教室・実技室 〕 12:00～13:00	
	10 分	【 開会式 〕 13:00～13:10	
	100 分	文化財等防災図上訓練	
	10 分	【 閉会式 〕 14:50～15:00	

※令和5年度から、受講者の希望も踏まえ、前期・後期4日間の講習とした。

■教員のための博物館の日（実習・講習会）

延べ34人

期 日	曜 日	講師等	会 場	参加者数	備 考
8月8日・9日	金・土	当館職員	当館展示室、会議室、教室	34	教員・学生22名

※学校との連携を深める目的で、平成28年度から実施し、講座以外に参加者から博物館の利用法について相談を受ける。参加者の子供同伴を可としている。

■岩手県立博物館まつり（その他）

延べ1,723人

期日	曜日	イベント名	運営	参加者総数
10月12日	土	「博物館にかくされた化石をさがせ!」、工作体験3種類、「たんけん!がんせきえん・しょくぶつえん」、「たのしい!むかしあそび」、展示解説会	当館職員、友の会	738
10月13日	日	「ROPE A DOPE」の実演・体験会、「博物館にかくされた化石をさがせ!」、工作体験3種類、「たんけん!がんせきえん・しょくぶつえん」、「たのしい!むかしあそび」、展示解説会	当館職員、友の会	985

■県博出前講座（その他）

延べ1,288人

	期日	曜日	派遣職員	依頼者	演題・イベント名ほか	会場	参加者数	備考
1	5月31日	金	高橋雅雄	岩手県立大学	地域環境調査実習 C「滝沢森林公園の鳥類」	岩手県立大学	10	大学生及び大学院生向け
2	6月22日	土	鈴木まほろ	岩手県立大学 総合政策学部	地域環境調査実習 C 実習指導	岩手県立博物館 第2収蔵庫ほか	6	大学生及び大学院生向け
3	6月28日	金	近藤良子	岩手県立峰南高等支援学校	雫石地方のあねこ衣装について	岩手県立博物館 会議室	23	生徒18 教員5
4	7月17日	水	丸山浩治	岩手大学 人文社会科学部	考古学講義A「火山噴火と遺跡」	岩手大学	15	学生14 教員1
5	7月20日	土	望月貴史	食を育む会 子どもひろば	いわてのかせき	奥州市江刺愛宕地区センター	17	子ども11 一般6
6	7月26日	金	戸根貴之	岩手県立伊保内 高等学校 郷土 芸能委員会	いわての郷土芸能	岩手県立伊保内 高等学校	30	生徒26 教員2 外部指導者2
7	8月6日	火	渡辺修二	奥州市立 江刺第一中学校	フィールドワーク	外山森林公園	36	生徒34 教員2
8	8月27日	火	山崎 遙	岩手大学 人文社会科学部	博物館資料保存論 「文化財を食べる生きもの」	岩手大学	20	学生19 教員1
9	8月27日	火	丸山浩治	岩手大学 人文社会科学部	博物館資料保存論 「災害と資料保存 ―津波で被災した資料の再生―」	岩手大学	20	学生19 教員1
10	9月6日	金	近藤良子	岩手県立峰南高等支援学校	博学連携事業について	岩手県立峰南高等支援学校	15	生徒12 教員3
11	9月18日	水	鈴木まほろ	八幡平市立 柏台小学校	学校の周りの植物	八幡平市立柏台 小学校周辺	11	児童8 教員3

12	11月6日	水	米田 寛	岩手県立青松支援学校高等部	青松支援学校敷地内 松屋敷遺跡について	岩手県立青松支援学校高等部	17	生徒7 教員10
13	11月12日	火	渡辺修二	盛岡市立仙北小学校	森と川の生きものの関係	盛岡市立仙北小学校 すずかけホール	103	児童99 教員4
14	11月13日	水	鈴木まほろ	盛岡市立仙北小学校	岩手の絶滅危惧植物	盛岡市立仙北小学校 すずかけホール	103	児童99 教員4
15	11月20日	火	工藤 健	岩手県立花巻南高等学校	1学年「言語文化」授業	岩手県立花巻南高等学校 多目的ホール	200	生徒教員
16	11月27日	水	高橋雅雄	岩手県立青松支援学校高等部	企画展「捕食者の献立」展示解説	岩手県立博物館 特別展示室	21	生徒8 教員13
17	12月4日	水	目時和哉 大銚地駿佑	岩手県立青松支援学校高等部	盛岡の殿様 南部さん	岩手県立青松支援学校高等部	15	生徒6 教員9
18	12月9日	月	渡辺修二	盛岡市立高等学校	令和6年度情報講演会	盛岡市立高等学校 第一体育館	247	生徒教員
19	12月9日	月	丸山浩治	岩手県立岩谷堂高等学校	津波で被災した資料の再生	岩手県立岩谷堂高等学校 美術室	32	生徒29 教員3
20	12月11日	水	川向富貴子	岩手県立青松支援学校高等部	岩手の郷土玩具	岩手県立博物館 いわて文化史展示室・体験学習室	21	生徒10 教員11
21	12月20日	金	佐藤修一郎	岩手県立青松支援学校高等部	石と岩石について	岩手県立青松支援学校高等部	17	生徒11 教員6
22	1月15日	水	戸根貴之	岩手県立岩谷堂高等学校	いわての郷土芸能～鹿踊を中心に～	岩手県立岩谷堂高等学校 音楽室	29	生徒28 教員1
23	1月22日	水	近藤良子	盛岡市立北松園小学校	昔のくらしの知恵	盛岡市立北松園小学校 青空ホール	33	生徒30 教員3
24	1月28日	火	川向富貴子	岩手県立青松支援学校高等部	伝統工芸～染めと織り～	岩手県立博物館 会議室	9	生徒5 教員4
25	1月28日	火	戸根貴之 近藤良子	盛岡市立厨川小学校	民家解説	岩手県立博物館	63	生徒59 教員4
26	1月30日	木	戸根貴之 近藤良子	盛岡市立高松小学校	昔のくらしの知恵	盛岡市立高松小学校 集会室	59	生徒56 教員3

27	2月6日	木	近藤良子	八幡平市立 柏台小学校	昔のくらしの知恵	八幡平市立柏台 小学校 ホール	11	生徒 8 教員 3
28	2月13日	木	近藤良子	岩手県立峰南高 等支援学校	博学連携事業につ いて	岩手県立博物館	23	生徒 17 教員 6
29	2月19日	水	近藤良子	盛岡市立 好摩小学校	昔のくらしの知恵	盛岡市立好摩小 学校 総合ルー ム	26	生徒 25 教員 1
30	3月10日	月	丸山浩治	八幡平市立 安代中学校	津波で被災した資 料の再生	八幡平市立安代 中学校 多目的 ホール	56	生徒 47 教員 9

※当館が講師派遣に係る実費を負担したもの

(ウ) 講演会・講座に係る職員派遣

表 5. (2)-5 令和 6 年度職員派遣

延べ 1,012 人

	期日	曜 日	派遣職員	依頼者 (主催者)	演題・イベント名ほか	会場	参加 者数
1	4月14日	日	高橋 雅雄	日本野鳥の会 もりおか	博物館が実施する岩手県の鳥類 調査	盛岡市上田公民館	24
2	5月19日	日	鈴木まほろ	住田町教育委 員会	森のマイスター講座「花と虫の 関係」(自然観察会)	種山ヶ原森林公園	20
3	6月26日	水	目時 和哉	誓久山宝樹寺	永代経法会関連講話 「死者と生きるー津波犠牲者供 養のかたちー」	誓久山宝樹寺	30
4	6月29日・ 30日	土 ・ 日	丸山 浩治	明治大学黒曜 石研究センタ ー	演題「十和田平安噴火と地域社 会の動態」 イベント名「シンポジウム 火 山災害考古学：地域社会の罹災 とそのレジリエンス」	明治大学駿河台キ ャンパスグローバ ルホール	両日 100 超
5	7月6日	土	米田 寛	武蔵野市立武 蔵野ふるさと 歴史館	野牛のいた時代 黒曜石・頁岩 から探る東北地方北部における 旧石器人の資源獲得	武蔵野市立武蔵野 ふるさと歴史館	55
6	7月6日	土	目時 和哉	後三年合戦み さとプロジェ クト実行委員 会	後三年合戦みさとプロジェクト 講演会 「岩手県立博物館所蔵『後三年 合戦絵巻』について」	美郷町中央ふれあ い館	48
7	7月6日	土	鈴木まほろ	東北地方環境 事務所	十和田八幡平国立公園岩手山地 区パークボランティア研修会 演題「生態学の目で見える網張の 森」(自然観察会)	網張ビジターセン ター網張の森	14
8	7月12日	金	目時 和哉	名桜大学	名桜大学令和 6 年度前期科目 「歴史学」 「災害と歴史学」	オンライン実施	45

9	7月13日	土	川向富貴子	岩手大学平泉文化研究センター	イベント名：令和6年度岩手大学リカレント教育プログラム 「文化資源論」 講義2日目： 「民俗芸能と地域～芸能を生み出す神社・仏閣～」	岩手大学	3
10	7月24日	水	望月 貴史	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパーク認定ガイド講座 演題「三陸の成り立ち」	宮古市民総合体育館	20
11	7月25日	木	渡辺 修二	盛岡市渋民公民館	夏休み!子ども大作戦 すごいぞ昆虫!!	盛岡市外山森林公園	9
12	7月27日	土	渡辺 修二	こども食堂キッチンすまいる	自然観察会	みちのく民俗村	25
13	8月25日	日	望月 貴史	陸前高田市教育委員会	令和6年度「飯森の化石産地」文化財指定記念講演会 演題「ペルム紀と飯森の化石産地」	陸前高田市コミュニティホール	80
14	8月28日	水	鈴木まほろ	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパーク認定ガイド講座	久慈市文化会館	7
15	8月29日	木	金子 昭彦	盛岡市松園地区公民館	松園地区公民館主催事業「縄文講座」第1回 講演「縄文時代の生活と御所野遺跡」	盛岡市松園地区公民館	12
16	8月30日	金	鈴木まほろ	NPO JCP	令和6年度文化財保存修復を目指す人のための実践コース 講義「自然史標本（特に植物標本）の価値、保存管理と修復について」	オンライン実施	43
17	11月2日	土	高橋 雅雄	国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所	四十四田ダム オーダムまつり2024「四十四田ダムのカワウ」	四十四田ダムものしり館	12
18	11月9日	土	高橋 雅雄	書肆みず盛り	トークイベント 書肆みず盛りの知りたい世界「身近な存在を広く調べ深く知る！博物館学芸員の世界！」	書肆みず盛り	16
19	11月16日	土	川向富貴子	公益財団法人岩手県文化振興事業団	企画展「まじないと地域史」関連講座「考古学と民俗学の融合」 演題「まじない入門」	岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター	11
20	12月1日	日	鈴木まほろ	早池峰フォーラム実行委員会	第26回早池峰フォーラム 講演「シカに食べつくされる早池峰の森」	盛岡市・アイーナ会議室	53
21	12月8日	日	金子 昭彦	仙台市縄文の森広場	「令和6年度縄文の森講座」第1回 演題「東北地方の土偶を知る」	仙台市縄文の森広場	42
22	12月14日	土	高木 晃	一戸町教育委員会	講演「岩手を掘る～記録と記憶に刻まれた遺跡たち～」	一戸町・御所野縄文博物館	13
23	1月25日	土	高木 晃	山田町教育委員会	令和6年度山田町歴史講演会・企画展「土器からみる縄文人の暮らし」	山田町・中央コミュニティセンター	22

24	1月30日	木	工藤 健	盛岡市中央公民館	令和6年度盛岡市中央公民館講座「明治・大正 近代もりおかへの旅」	盛岡市中央公民館 大会議室	37
25	2月8日	土	米田 寛	(公財) 仙台市市民文化事業団富沢遺跡保存館	花泉遺跡の特徴と動物骨化石	地底の森ミュージアム富沢遺跡保存館企画展示室	31
26	2月17日	月	川向富貴子	岩手町一方井公民館	演題「誕生と死」ミニ展示会「岩手町の芸能」	岩手町一方井公民館	32
27	2月28日	金	目時 和哉	愛知県博物館協会	愛知県博物館協会職員研修会・第48回東海三県博物館協会交流会「東北発 博物館・文化財等防災向上プロジェクトの取り組み」	愛知芸術文化センター	75
28	9月25日～ 1月15日 (全15回)		丸山 浩治	盛岡大学	盛岡大学文学部「博物館資料保存論」	盛岡大学	33

※依頼者が講師派遣に係る実費を負担、もしくは共同プロジェクトとして実施したもの。

イ. 学校教育との連携

(ア) 博物館展示活動を活用した学習利用の受け入れ

今年度の教育機関の来館状況は、下記のとおりである。合計で64校2,156人（前年度は77校2,845人）が来館した。

表5. (2)-6 令和6年度学習利用状況（区分別） ※団体利用として入館した引率と児童生徒の数

a. 幼稚園・保育園等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	6月14日	岩手県	めぐみ幼稚園	親子遠足	5	17	22
2	10月3日	岩手県	うえだ保育園	遠足	3	20	23
3	10月10日	岩手県	愛育園	遠足	3	24	27
4	10月11日	岩手県	津志田つばさ園	親子遠足	2	23	25
5	10月11日	岩手県	北高田こども園	遠足	11	56	67
6	1月30日	岩手県	盛岡白百合学園幼稚園	園外学習	3	22	25
7	2月18日	岩手県	月が丘幼稚園・保育園	園外学習	6	37	43
8	2月26日	岩手県	青葉幼稚園・二葉幼稚園	卒園遠足	10	82	92
小計					43	281	324

b. 小学校

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	6月6日	岩手県	田野畑村立田野畑小学校	修学旅行	5	22	27
2	6月12日	岩手県	奥州市立南都田小学校	修学旅行	4	35	39
3	8月28日	岩手県	盛岡市立巻堀小学校	遠足	7	8	15
4	9月11日	岩手県	紫波町立古館小学校	校外学習	5	74	79
5	9月11日	岩手県	盛岡市立見前小学校	社会科見学	4	95	99
6	9月12日	宮城県	気仙沼市立階上小学校	修学旅行	5	27	32
7	9月18日	岩手県	盛岡市立緑が丘小学校	遠足	12	101	113

8	9月20日	岩手県	滝沢市立柳沢小学校	社会科見学	2	5	7
9	9月20日	岩手県	盛岡市立中野小学校	校外学習	4	71	75
10	9月26日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	生活科	2	19	21
11	10月8日	岩手県	盛岡市立月が丘小学校	校外学習	2	30	32
12	10月9日	岩手県	盛岡市立渋民小学校	社会科見学	5	39	44
13	10月31日	岩手県	盛岡市立渋民小学校	社会科見学	4	45	49
14	11月7日	岩手県	滝沢市立滝沢第二小学校	社会科見学	7	78	85
15	11月13日	岩手県	葛巻町立葛巻小学校	社会科見学	2	11	13
16	11月15日	岩手県	岩手町立沼宮内小学校	社会科見学	5	27	32
17	11月26日	岩手県	盛岡市立北松園小学校	社会科見学	2	26	28
18	11月28日	岩手県	一戸町立奥中山小学校	校外学習	3	19	22
19	1月23日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	社会科見学	1	19	20
20	1月28日	岩手県	盛岡市立厨川小学校	社会科見学	5	58	63
小計					86	809	895

c. 中学校

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	4月10日	岩手県	盛岡市立松園中学校	校外学習	4	13	17
2	5月10日	北海道	今金町立今金中学校	修学旅行	6	39	45
3	5月15日	北海道	小樽市立朝里中学校	修学旅行	0	5	5
4	5月30日	岩手県	花巻市立湯口中学校	総合的な学習	3	28	31
5	8月6日	岩手県	奥州市立江刺第一中学校	出前講座・見学	2	34	36
6	9月19日	岩手県	遠野市立遠野中学校	総合的な学習	6	97	103
7	9月25日	岩手県	洋野町立大野中学校	宿泊研修	4	33	37
8	10月10日	東京都	桐朋中学校	修学旅行	3	78	81
9	10月30日	岩手県	盛岡市立飯岡中学校	校外学習	2	25	27
10	11月21日	秋田県	仙北市立生保内中学校	宿泊体験学習	0	4	4
合計					30	356	386

d. 高等学校

	日時	都道府県	学校名	利用目的	引率	生徒	合計
1	5月15日	岩手県	岩手県立葛巻高等学校	総合探求	1	4	5
2	8月1日	岩手県	岩手県立雫石高等学校	インターンシップ	2	0	2
3	11月17日	秋田県	秋田令和高等学校	自然・古生物関係の展示見学	2	14	16
4	1月7日	岩手県	岩手県立黒沢尻北高校	ALT	2	24	26
5	1月24日	岩手県	岩手県立杜陵高等学校	総合的な探求	6	12	18
6	2月5日	岩手県	盛岡中央高等学校	総合的な学習	2	11	13
7	2月13日	岩手県	盛岡中央高等学校	岩手文化の体験学習	8	32	40
8	3月20日	岩手県	岩手県立水沢高等学校	日本史	1	13	14
合計					24	110	134

e. 大学・専門学校・専修学校等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	5月28日	岩手県	岩手大学人文社会科学部	博物館実習	1	10	11
2	5月29日	岩手県	岩手大学	見学	0	11	11
3	12月7日	宮城県	東北福祉大学	博物館実習	1	12	13
合計					2	33	35

f. 支援学校等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	6月28日	岩手県	岩手県立盛岡峰南高等支援学校	校外学習	4	12	16
2	7月4日	青森県	青森県立八戸第二養護学校（中学2年）	修学旅行	18	27	45
3	8月28日	岩手県	岩手県立峰南支援高等学校	校外学習	6	33	39
4	11月27日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校（高等部）	校外学習	12	15	27
5	12月11日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校（高等部）	校外学習	10	10	20
6	1月28日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校（高等部）	作業学習	4	5	9
7	2月13日	岩手県	岩手県立盛岡峰南高等支援学校	校外学習	7	8	15
合計					61	110	171

g. その他（児童デイサービス・学童保育等）

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	6月21日	岩手県	緑が丘学童保育クラブ	遠足	5	40	45
2	7月20日	岩手県	Ambi デイ仙北教室	教育活動	4	7	11
3	8月2日	岩手県	放課後等サービスセンター「第2いちご園」	見学	9	6	10
4	8月6日	岩手県	山岸学童クラブ	見学	6	27	33
5	8月6日	岩手県	Ambi デイ仙北教室	見学	6	12	17
6	8月20日	岩手県	学童保育 MJ なかのクラブ	見学	3	28	31
7	8月20日	岩手県	学童保育クラブ MJ ひのき子供会	見学	3	25	28
8	1月8日	岩手県	宇宙学童クラブ	見学	3	33	36
合計					39	178	211

表 5. (2)-7 令和6年度都道府県別学習利用状況（都道府県別校数）

県内	青森県	秋田県	宮城県	北海道	東京都	合計
56	1	2	2	2	1	64

表 5. (2)-8 令和6年度区別学習利用状況（区別校数）

幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	大学等	専門学校 専修学校	支援学校	その他	合計
8	20	10	8	2	1	7	8	64

表 5. (2)-9 令和6年度都道府県別学習利用状況（都道府県別・区別受入人数）

	県内	青森県	秋田県	宮城県	他	合計
小学校	863			32		895
中学校	251		4		131	386
高等学校	118		16			134
支援学校	126	45				171
大学等	22					22
幼稚園・保育園	324					324
専門・専修学校				13		13
その他	211					211
合計	1,915	45	20	45	131	2,156

(イ) 教材貸出

3件 32点の貸出を行った（昨年度は1件 12点）。なお、貸出資料一覧にない資料の貸出についての相談もあり、これは部門毎に対応して貸出を行っている（本件数には含めていない）。多様なニーズを踏まえ、貸出可能な資料の再選定やメニューの充実を図りたい。

表 5. (2)-10 令和6年度の教材貸出一覧

貸出日	貸出先	点数	資料
11月20日	岩手県立花巻南高等学校	7	鎧・兜 (3)・白拍子 (1)・水干 (1)・狩衣 (1)・小桂 (1)
1月11日	矢巾町立矢巾北中学校	8	蝶の標本 (クジャクヤママユ・ワモンキシタバ・コムラサキ・キアゲハ) (1)・標本箱 (1)・展翅版 (1)・ランプ (1)・胴乱 (2)・三角シート (1)・三角紙 (1)
2月19日	盛岡市立好摩小学校	17	糸車 (1)・こねばち (1)・ざる (1)・石臼 (1)・炭火アイロン (1)・洗濯板 (1)・金盥 (1)・ランプ (1)・電話 (1)・算盤 (1)・火起こし器 (1)・かんじき (2)・下駄・下駄スケート (1)・草履 (1)・湯たんぽ (1)

(ウ) 展示資料目録ならびに新学習指導要領対象目録の改訂

a. 新学習指導要領対照目録の改訂

今年度は学習指導要領対照目録の一部更新（歴史分野）を行った。今後も順次改訂版を当館ホームページに公開する。

(エ) 県内学校等との博学連携プロジェクト

a. 岩手県立盛岡青松支援学校

高等部の授業の充実を目的として、当館学芸部門の学芸員による連続出前講座を令和4年度から開催しており、令和6年度で3年目となる。学校側が県博出前講座のプログラムから講師と講義内容を選定し、地質・生物・考古・歴史・民俗の5部門の各学芸員による計5回の講義を行った。各講義に先立ち、担当教諭が予習授業と復習授業を行い、生徒に講義内容への理解を深めてもらった。昨年度までは青松支援学校内での講義形式であったが、今年度は新たに当館での企画展展示解説（生物部門）、体験学習室での郷土玩具の利用と昔の装束着用（民俗部門）を実施し、生徒から高評価を得た。



図 5. (2)-1 講座：石と岩石



図 5. (2)-2 企画展「捕食者の献立」の展示解説

b. 岩手県立盛岡峰南高等支援学校

当館では平成 26 年度から盛岡峰南高等支援学校へ体験学習室の教材や白布などのクリーニングを依頼している。今年度は展示作業用養生マット、体験学習室着用教材のクリーニングを依頼した。

また、同校専門教科の「縫製デザイン」で実習を行っている「裂き織」の技術を活用し、裂き織で帯を製作する新たな連携を令和 5 年度より開始し 2 年目を迎えた。生徒たちには、県指定の野良着等を見学してもらい、レプリカ資料を触察してもらい、文化財保護・体験学習室の意義についてレクチャーした。11 月には 7 点の帯が完成し、2 月 13 日（木）に当館において資料の引き渡し式と感謝状贈呈を行った。

【クリーニング】クリーニング班（3 年生 3 名、2 年生 4 名）

6 月 28 日（金）出前授業（これまでの博学連携事業の取組み、体験学習室での活用の様子、雫石あねこ衣装など岩手の野良着について）、博物館資料クリーニングの依頼

6 月 28 日（金）～クリーニング開始

11 月 8 日（金）完成

・クリーニング資料：狩衣（上衣・袴・細帯）、水干（上衣・中衣・下衣・紐）、博物館資料保護具（養生マット、毛氈）、あねこ衣装（上衣・股引・前掛け）

【裂き織の帯】縫製デザイン班（3 年生 3 名、2 年生 3 名）

6 月 28 日（金）出前授業（これまでの博学連携事業の取組み、体験学習室での活用の様子、雫石あねこ衣装など岩手の野良着について）

9 月 5 日（木）出前授業（体験学習室をよりよく使ってもらうには）

10 月 26 日（土）盛岡峰南高等支援学校文化祭「峰南祭」、「岩手県立博物館とのあたたかいつながりー博物館のために今、私たちができることー」（衣装の洗濯、雫石あねこ衣装、裂き織についてポスター展示・意見コーナー設置）

10 月～ 生活学科「縫製デザイン」において「雫石あねこ衣装の帯」を裂き織で製作開始

11 月 8 日（金）資料完成（7 点）



図 5. (2)-3 岩手県立峰南高等支援学校生徒さんによるクリーニング



図 5. (2)-4 盛岡峰南支援学校での出前授業

c. 岩手県立盛岡農業高等学校

昨年度に引き続き 11 月 3 日（日・文化の日）当館で開催した民俗講座②「たいけん！むかしのくらし」の脱穀体験に用いる稲を提供いただいた。



図 5. (2)-5 民俗講座②「千歯こき体験」



図 5. (2)6 民俗講座②「昔の収穫道具の説明」

d. 盛岡市立桜城小学校

令和 6 年度、盛岡市立桜城小学校の史料館の整備を行った。平成 30 年に当館で行った「海を越えた絆～『ミス岩手』と青い目の人形」展覧会において青い目の人形調査で小学校を訪問した際、史料館の整備に苦慮しているということで民俗部門学芸員を中心に資料の目録作り、展示、解説パネル、キャプションづくりを行った。令和 5 年 11 月頃までに史料館所蔵の 176 点のリスト作成を行った。また、令和 6 年は盛岡市子ども未来部子ども青少年課がおおよその史料館のレイアウトと資料の設置方法を決定した後、展示室の本格的な資料整備と展示を行い、11 月 12 日に作業を終えた。



図 5. (2)-7 講座：資料整理の様子



図 5. (2)-8 講座：完成した史料館

(オ) 博物館館園実習

学芸員資格取得に係る館園実習について、当館の実習生受入方針に基づいて実施した。当館における実習は、主に県内大学に在学する者、または本県出身者を対象としている。例年、全 6 部門に係る博物館資料の整理や展示作業、教育普及事業の実務などの実習、および社会教育機関としての博物館の役割についての講義等を行っている。実習・講義の内容については 35-36 頁の本項を参照のこと。

実習期間と受入れ人数等は次のとおり。

○期間：令和 6 年 8 月 22 日（木）～29 日（木）※26 日（月）をのぞく 7 日間

○実習生出身校と参加人数：岩手大学、茨城大学、千葉大学、新潟大学、四国大学、八洲学園大学
合計 11 名

ウ. 職場体験・インターンシップ

今年度は6件19名の職場体験の申し込みがあり、中学校5校と高等学校1校で実施した。

表 5. (2)-11 令和6年度実施職場体験・インターンシップ参加校一覧

	実施日時	所属校	人数	体験内容
1	7月2日(火)～3日(水)	盛岡市立下橋中学校	3	職場の仕事内容の説明と 学芸員体験
2	7月3日(水)	盛岡市立松園中学校	6	
3	7月30日(火)～8月1日(木)	岩手県立雫石高等学校	1	
4	8月28日(水)～29日(木)	盛岡市立米内中学校	1	
5	10月17日(木)	盛岡市立北松園中学校	4	
6	11月27日(水)～28日(木)	盛岡市立黒石野中学校	4	

エ. 問い合わせ受付

学芸員が一年間に対応した問い合わせについて集計を行っている。内容は、質問や要望、調査研究に関することなど多岐にわたり、即答が可能な場合もあれば回答に相当期間を要する場合もある。なお、この中には計画された事業に関するものや外部研究者との連絡調整等を含んでいない。

表 5. (2)-12 令和6年度の問い合わせ受付状況

部門	件数	問合せ方法	件数	主な対応内容
地質	22	来館	12	浄土ヶ浜でひろった岩石、庭から出てきた化石、野田村の砂浜で拾った石、一関市東山町で採集した化石、岩手山の地質図中の凡例、恐竜の分類について、岩手県全般の地質 他
		電話	7	日本で最初に発見された恐竜、アケボノゾウについて、洋野町海岸部の地層中の構造について、日本が大陸の一部であった根拠について、ハナイズミモリウシについて、蛇紋岩の分布 他
		FAX、メール、手紙、その他	3	紫波町の地質について、一関市東山町の粘土山で採取した化石について、西和賀町の足跡化石
生物	113	来館	27	標本閲覧、生物（実物または写真）の同定依頼、標本の作り方について、希少種への配慮について 他
		電話	28	庭に来る鳥について、カタツムリの飼育方法、五葉山の植生について、剥製の製作について 他
		FAX、メール、手紙、その他	57	生物の画像の同定依頼、竹の開花について、昆虫食について、ウズラの目撃情報 他
考古	60	来館	35	住田町・紫波町の石灰岩、小田島資料の展示紹介、ハナイズミモリウシ頭骨寄贈者情報、アイヌ語地名と縄文人の関係、持参した土器や土偶について、海岸で採集された穴あき石の成因 他
		電話	17	ハナイズミモリウシ頭骨について、茨城県下の旧石器資料の石材、千歳市末広遺跡アイヌ土壇墓出土の秀衡碗、長野県出土の大型遮光器系土偶の大きさ、柳之御所跡出土金鉱石のレプリカ 他
		FAX、メール、手紙、その他	8	単孔土器の出土遺跡、環状列石報告書の印刷仕様等、持ち込まれた表採遺物について、子どもが拾った穴あき石、土偶について、山口遺跡石製品のサイズ・重量について

歴史	73	来館	19	高札の解説、刀剣の寄贈、一里塚の場所、実家の石碑の拓本、鯰尾兜、石井伊賀の乱心について、太田孝太郎コレクションの印影、仏像の寄贈・保管、骨董商から購入した文書について、学芸員の仕事について 他
		電話	40	当館の甲冑に関する刊行物、岩手の刀剣、当館の資料収集方針、楠木正成関係文書、出征旗の取扱、盛岡藩で使用された将棋駒の書体、源勝寺聖観音の展示時期、野球そばについて、祖父の遺品について 他
		FAX、メール、手紙、その他	14	成島兜跋毘沙門天立像を製作した工房と費用、奥州藤原氏と佐竹氏の関係に関する一次史料、甲冑の展示状況の確認、紺糸絨最上胴具足の詳細、戦時中の学校日誌、昭和6年に九戸村で干ばつはあったか 他
民俗	204	来館	26	盛岡竿と仙台竿、津軽の注連縄、狼木像、収蔵ひな人形、架空の生きものの伝承、古民家の構造、隠し念仏分布、道祖神信仰分布、六道絵分布、阿弥陀如来掛け図の鑑定、蓑の鑑定、背中当ての鑑定 他
		電話	69	雑穀、炭焼き、野良着、チャグチャグ馬コ、方言、柄鏡の鑑定、シカ皮、マタタビ材民具、南部駒、曲がり屋、民家の防火対策、衣類の展示方法、淡路人形、漆器碗の同定、岳神楽、ひつつみ汁 他
		FAX、メール、手紙、その他	109	造酒屋証文、民具の鑑定、巫儀、ホームスパン、岩手木炭移出組合、こなさせ道具、盛岡藩印判師、神楽の印、七軒丁、寺院顕彰碑、高野山月牌、地獄絵の鑑定、えんぶり、青い目の人形、仏像調査依頼 他
文化財科学	17	来館	5	古文書の保管方法、被災資料修復作業の現状、蛍光X線分析の対象物、被災資料の化学分析
		電話	9	データロガーについて、くん蒸に関する情報収集、収蔵庫スペースについて、陸前高田市の文化財保護の現状、海水を被った資料の脱塩、保存処理設備の保守点検、保管している金属製品の状態の確認方法
		FAX、メール、手紙、その他	3	くん蒸に関する情報収集、薄葉紙について、仏像のX線透過撮影
合計	489			

(3) 調査研究活動

博物館における調査研究は、展示や教育普及等を展開する上での基幹活動に位置づけられている。各学芸員は、研究テーマを小テーマとこれを包括する大テーマに区分した上で、各テーマに関する調査研究を行っており、これらの中には当館の研究協力員や他機関に所属する研究者と共同で進められているものも含まれる。また、3月3日には「令和6年度館内調査研究報告会」を開催し、全学芸員から調査研究の進捗や成果が報告された。

なお、一定の成果が得られたものについては、『岩手県立博物館研究報告』第42号および『岩手県立博物館調査研究報告書』第38冊をはじめ、関連する学術誌や各種報告書等への掲載、学会での発表によって成果の公表に努めている。

ア. 調査研究活動の概要

地質部門4テーマ、生物部門14テーマ、自然史部門（地質・生物）2テーマ、考古部門6テーマ、歴史部門8テーマ、民俗部門5テーマ、文化財科学部門4テーマで調査研究活動が推進された。

表 5. (3)-1 令和6年度 調査研究テーマとその実施状況

部門	大テーマ	小テーマ	氏 名	内 容
地質	地域地質に関する研究A	北上山地における地質学的資料に関する基礎的研究	望月 貴史 佐藤 修一郎	花巻市大迫町に分布するシルル系名目入沢層から産出する藻類化石について調査を行った。また、洋野町沿岸部に露出する上部白亜系種市層の化石調査を行った。後者については日本古生物学会において、産出したアンモナイト化石やワニ類化石に関する共同発表（ポスター発表）を行った。
	地域地質に関する研究B	奥羽山脈ならびに北上低地帯における地質学的資料に関する基礎的研究	佐藤 修一郎 望月 貴史	一戸町檜山に分布する四ツ役層小祝泥岩部層から産出する貝類化石について調査し、ビカリア化石の確認と二枚貝化石の採集を主とした。
	古生物学的研究	古生代および中生代に関する古生物学的研究	望月 貴史	田野畑村ひらなめ海岸に露出する下部白亜系宮古層群から産出する化石について、ミュージアムパーク茨城県自然博物館・東京都市大学・静岡大学と共同調査を行った。
	地域環境に関する研究	火山・地震・気象・災害・資源に関わる研究	佐藤 修一郎	継続して県内に設置されている地震計の分布を調べている。分布図とともに地震学習の教材として活かしたい。また、北上市内の清水の分布について調査した。
生物	地域生態系の研究	岩手県内の絶滅危惧種の生息状況の把握	鈴木 まほろ 渡辺 修二 高橋 雅雄	岩手県内の絶滅危惧種の生息状況について情報を収集し、一部の種については生息確認調査や撮影を実施した。これらを県レッドデータブックの執筆に活かしたほか、R7 テーマ展においても活用する予定である。
	日本産鳥類の生態学的研究	東北地方の草原棲鳥類の繁殖生態に関する研究	高橋 雅雄	オオセッカ・オオヨシキリ・コヨシキリ・ホオアカについて、青森県において生息数と帰還率の野外調査を実施した。オオヨシキリについて、岩手県において生息数と帰還率の野外調査を実施した。ウズラについて、青森県において繁殖活動の野外調査をNPO 法人おおせっからんどおよびNHK エンタープライズと共同で実施した。

生物	日本産鳥類の生態学的研究	東北地方の希少猛禽類の繁殖生態に関する研究	高橋 雅雄	オジロワシについて青森県で、チゴハヤブサについて秋田県で営巣状況の野外調査を実施した。ハヤブサについて岩手県で採餌内容の野外調査を実施した。
		カワウの生態と保全管理に関する研究	高橋 雅雄	岩手県と青森県において、カワウの生息状況（生息数・営巣数・採食内容）と内部寄生虫に関する野外調査を実施した。
		鳥類におけるタヌキ溜糞場の生態的価値の解明	高橋 雅雄	タヌキの溜糞場1ヶ所にてセンサーカメラを用いたカメラトラップ調査を実施した。
	国内および県内における鳥類分布に関する研究	湿性草原の生物多様性保全における耕作放棄地の生態的価値:鳥類を指標とした評価	高橋 雅雄	湿性草原棲の小型鳥類4種（オオセッカ・シマクイナ等）について、①新潟県と石川県、②屋久島と種子島にて越冬確認調査を実施した。
		岩手県の希少鳥類の生息状況に関する研究	高橋 雅雄	ミゾゴイの生息確認を目的とした夜間の自動録音調査を岩手大学と共同で実施した。
		岩手県立博物館周辺の鳥類の生息状況に関する研究	高橋 雅雄	当館周辺の雑木林において、小鳥類の捕獲調査を実施した。
	地域の無脊椎動物相と生態に関する研究	県内の無脊椎動物相の研究	渡辺 修二	NP0 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクトと共同で、安家川のカワシンジュガイ生息状況調査を行った。岩泉町内の安家年々橋より下流側および野田村側で大きなコロニーが複数存在することを確認した。本調査費用の一部はクラウドファンディング（READYFOR）で集められた資金を使用した。
		県内の無脊椎動物の分布に関する研究	渡辺 修二	盛岡市の昆虫相の調査を岩手虫の会会員等の協力者と共に実施した。調査結果の一部は盛岡市が実施している「盛岡市自然環境調査」に提供し、今後執筆される報告書を通して公表される。
			渡辺 修二	岩手県の山地に分布するイブキヒメギス類の分類学的検討のため、大阪市立自然史博物館収蔵のトウホクヒメギスのタイプ標本を閲覧して特徴を確認した（当館標本との比較分析中）。
		県内の洞穴性無脊椎動物の分布および生態に関する研究	渡辺 修二	外部の研究機関等の研究者（美弥市、京都大学、東山ケイビングクラブ）と共同で、住田町の空穴第四洞の調査を実施し、洞内に生息するナガコムシを採集したほか、特徴的な行動について記録撮影を行った。釧路公立大学・北海道大学・盛岡北高校との合同調査で、龍泉新洞の地下河川の河床に水生昆虫の幼虫が生息することを初めて確認した。
	地域の植物相と植物生態に関する研究	県内の絶滅危惧植物を中心とする植物の分布と生態に関する研究	鈴木 まほろ	県内の植物、特に絶滅が危惧される種の分布・生育環境の情報を整理し、県レッドデータブックの執筆に活かした。また早池峰山周辺において植生・植物相に対するニホンジカの影響を調査し、結果を県・東北森林管理局等へ報告したほか、一部を日本生態学会大会で発表した（2025年3月、札幌市）。
		県内の植物相の研究	鈴木 まほろ	『岩手県植物誌』の改訂に備え、県内の植物相について現地調査および標本・文献調査を行い、情報を整理した。また、岩手県植物誌調査会と共同で岩手県植物目録の編集を行った（作業中）。

自然史（地質・生物）	自然史標本の管理・公開に関する研究	自然史標本の管理・公開、成果の発信に関する研究	望月 貴史 佐藤 修一郎 鈴木 まほろ 渡辺 修二 高橋 雅雄	SPNHC（国際自然史標本保存学会）・TDWG（生物多様性情報標準化委員会）合同大会のシンポジウム“Pre- & Post Disaster Management of Natural History Collections”（災害前・災害後の自然史資料管理）において、東日本大震災後の岩手県における自然史資料のレスキュー活動とその後の展開について発表した（2024年9月、宜野湾市）。
			渡辺 修二	当館所蔵の土井信夫コレクションに含まれている盛岡高等農林時代の昆虫教室の標本を整理し、明治・大正時代の標本について来歴を調査した。標本は明治時代には札幌農学校教授の新島善直と同学校得業生の篠崎眞秀、大正時代には盛岡高等農林学校の近森善一によって採集されたと推定された。成果は当館研究報告で公表した。
考古	考古学史の研究	岩手県における埋蔵文化財保護、研究のあゆみ	金子 昭彦 高木 晃 米田 寛	当館所蔵草間俊一コレクション整理をととして、岩手の考古学史を振り返り、館内資料収蔵目録として公開する。整理が終了している鳥畑寿夫コレクションについては、今年度も公開の許可が下りず、今年度は草間コレクションの整理に集中し、現状の把握と撮影を行った。来年度の目録刊行を目指す。
	先史時代の考古学的研究	岩手における縄文期～古墳時代墓制関連遺跡の調査研究	金子 昭彦 高木 晃 米田 寛	県受託県内遺跡調査事業として開始した5カ年計画の1年目にあたる令和6年度は九戸村長興寺I遺跡の発掘調査を行った。明確な当該期の遺構確認には至らず、令和7年度は他遺跡を想定し計画中である。また長興寺I遺跡の平成12年度出土土坑墓副葬土器についてAMS年代測定を実施した。
		縄文時代の土偶の研究	金子 昭彦	今年度は主に中期末～後期初頭の土偶、晩期のx字形土偶について検討し、成果は『青森県考古学』『岩手考古学』等に発表した。また、仙台市縄文の森広場の求めに応じて、東北地方の土偶についてまとめ講演を行った。
		岩手の旧石器時代の石材研究	米田 寛	県内の石材調査を進め、集団の移動を論じる基礎データの蓄積を行った。成果は日曜講座や一般からの依頼講座、研究会等で報告した。
		縄文時代の遺跡立地に関する研究	高木 晃	北上山地の山間部に立地する遺跡分布調査の一環として、釜石市～大槌町にまたがる和山高原一帯、花巻市大迫町上岩山遺跡、盛岡市鬼ヶ瀬山洞穴遺跡、盛岡市岩洞湖遺跡群の踏査を行った。成果の一部は日曜講座やトピック展で紹介した。
	古墳時代の考古学的研究	岩手県内における古墳時代社会についての研究	高木 晃	令和5年度に実見調査を行った奥州市中半入遺跡出土方割石に関して、破壊分析による残存資質分析を計画した。諸事情により分析実施は延期となり再度計画中である。
歴史	古代～中世史の研究	古代・中世の東北史の研究	目時 和哉	館蔵「後三年合戦絵巻」について、残存資料から制作・伝世地であることが推察された愛知県名古屋市中および岐阜県海津市で現地調査を行い、上の作業仮説の蓋然性を高める関連資料を検出した。また、坂上田村麻呂神格化の過程と、現代まで続く民間信仰との関連について調査を行い、特に鎮守府管轄域外において妙見信仰と田村麻呂の接点が見いだされた。成果の一部は次年度企画展で紹介予定。
	近世史の研究	近世藩領地域行政の研究(当館所蔵史料群の整理・分析による岩手県域の近世藩領村落・地域社会史の研究)	大銚地 駿佑	当館所蔵の陸奥国胆沢郡上衣川村南又組頭文書の整理に取組み、この収蔵資料目録を本年度末に刊行した。また当館所蔵の陸奥国江刺郡黒石村肝入文書の800点以上の整理と目録データ作成に取組み、そこから見出した史料を活用した、「ミュージアムレポート 御山守 藩有林管理・保護の村役人」(『読売新聞』、2024年12月13日)、いわて文化史展示室の展示「仙台藩の村役人と文書」等を公表した。

歴史	遊戯史の研究	岩手の囲碁と将棋の歴史に関する研究	村田 雄哉	本県の囲碁将棋関連資料について、館内外の出土品や文献資料の調査を行った。囲碁家元や盛岡藩士関連の文献を中心に、江戸時代後期の盛岡藩や藩士の間における囲碁の隆盛を窺わせる資料が散見された。成果は歴史講座や日曜講座、テーマ展で公開した。
	岩手の神社研究	岩手への仏教の伝播に関する研究	村田 雄哉	一昨年度作成した、県内に残存する古代の仏像や関係する諸資料情報をまとめた google マイマップの更新（県北部に隣接する青森県南部町周辺部の記録の追加）を行った。
	近代・現代史の研究	太田孝太郎コレクション中国古印に関する調査	工藤 健	同コレクションについて、最新の研究成果を参照して資料を整理・登録した上で、いわて文化史展示室に展示した。また、同コレクションのうち西夏文字に関する印について、西夏史研究の知見を踏まえ、テーマ展「驚異の部屋」で展示した。
		近現代岩手県の教育史に関する研究	工藤 健	寄贈資料をもとに、近代岩手県での学校制度、特に戸籍管理や教員採用に関するケーススタディを行った。成果は歴史講座で紹介した。
		近代岩手県の開発に関する歴史	工藤 健	近代の巡幸・行啓に関する資料について現状を把握するための実地調査を行い、巡幸・行啓に関わり、県と在地の有力者との関係の一例を明らかにした。成果は外部での講演会で公開した。また、調査の過程で関係資料の寄贈を受けた。
	災害史・災害文化に関する研究	岩手県の災害の歴史に関する研究	目時 和哉	岩手県沿岸部に所在する津波に関するモニュメント群について、次年度の調査研究報告書刊行を見据え、学術的質を担保するため、調査結果の概況について、査読を伴う専門誌に投稿し受理された。（次年度刊行予定）
民俗	有形民俗資料に関する研究	岩手の民具一般に関する基礎研究	戸根 貴之 近藤 良子 川向 富貴子	・歴史部門とともに盛岡市材木町の商家3件の調査を実施し、寄贈を受けた関連資料の整理作業を行った。一部民俗資料については盛岡市先人記念館と合同調査を実施した。 ・収蔵資料目録発刊を目的として、当館が所有する暦関係資料及び菓子製造用具の再整理を実施した。また、適切な保管のためのアーカイバル容器を検討のうえ製作した。令和7年度も継続の予定。 ・二戸市二戸歴史民俗資料館と合同で二戸市米沢薬師堂および野々上阿弥陀堂の神仏像と奉納額の基礎調査を実施した。
	無形民俗資料に関する研究	岩手の無形民俗一般に関する基礎研究	戸根 貴之 近藤 良子 川向 富貴子	・岩手県教育委員会が文化庁の補助を受けて昭和58年度～同59年度に実施した民謡緊急調査の成果を収録したコンパクトカセット26本のデジタル化を実施し簡易目録を作成した。 ・森口多里写真コレクションのスキャンを行い、その一部は館内展示「いわてのくらし」や岩手町一方井公民館における移動展示等にて公開した。また、北上市域分のデータについて北上市史編さん室と情報の共有化をはかった。 ・釜石市文化スポーツ部の協力により釜石市域の祭礼および行事食の実地調査を行った。その成果品はレプリカの制作に活用予定である。
	無形文化遺産に関する研究	岩手の無形文化遺産に関する研究	戸根 貴之	・基礎的調査を継続するとともに、日曜講座で無形文化遺産と世界遺産との違いおよび県内のユネスコ無形文化遺産に関する紹介を行った。 ・令和6年12月5日（日本時間）にユネスコ無形文化遺産に記載された「伝統的酒造り」の提案書・決議書の分析を行いつつ、令和7年度のテーマ展に向けた資料収集および紫波町教育委員会と合同で町内の酒造道具の調査を行った。

民俗	民家の保存と活用に関する研究	岩手の民家に関する研究	近藤 良子	南部曲がり屋および直屋での住まい方や昔の道具等についての調査結果を民俗講座や館園実習等の教育普及事業において活用した。民俗講座「たいけん昔のくらし」において昔のあかりや洗濯、蓄音機、千歯こきや唐箕、石臼などを使用し、民家を活用した子ども向けのワークショップを行った。
	手仕事に関する研究	盛岡竿に関する研究	近藤 良子	盛岡竿や盛岡毛鉤の発祥についての文献調査を行った。また、盛岡竿の竿師から盛岡竿および盛岡毛鉤の制作工程等について聴き取り・記録調査を行い、寄贈された制作道具について整理を進めた。途中報告として令和6年8月に芸術科学会東北支部大会学会で発表した。
文化財科学	文化財の保存修復に関する研究	津波被災資料の安定化処理法および抜本修復法に関する研究	丸山 浩治	これまで実施してきた処理法を基本に、資料個々の状態に合わせて具体を検討し、安全かつ効率的な処理を実施した。出前講座（中・高・大学）や大学講義で当該作業の方法と成果を示し、必要性和意義を伝えた。
		安定化処理に使用する薬剤が資料に与える影響	山崎 遙	過年度調査したブックキーパーによる紙資料へ与える影響についてのデータを、今後の紙資料の経過観察の参考資料としてまとめた。
	展示・収蔵環境に関する研究	施設設備が不十分な環境下での資料保全に関する研究	丸山 浩治 山崎 遙	・環境管理外で保管されていたマイクロフィルムの状態調査と管理方法を検討した。酢酸臭は活性炭を置くことである程度抑えられた。今後は歴史部門によるデジタル化が進められる予定である。館内調査研究報告会で発表した。 ・活性炭（化学物質吸着剤）およびゼオライト（住宅床下用調湿剤）の吸放湿性能確認実験を行った。結果、当該活性炭は低湿度環境下でも吸湿能力を有し、繰り返し使用可能であることが確認された（館内調査研究報告会で報告）。次年度も条件を変えて調査を継続する。
	前近代における自然災害史研究	火山噴火イベントと物質文化の変遷に関する研究	丸山 浩治	一戸地域の平安時代集落を2つの火山灰（To-a・B-Tm）を軸に精査し、十和田10世紀噴火の影響を検証した。成果は日曜講座で紹介した。

表 5. (3)－2 調査研究活動に関わる製作・同定

部門	事業名	内容
地質	岩石標本箱製作	木箱（浅箱）8個を製作した。
	岩石薄片製作	岩石薄片8点を製作した。
生物	標本同定	変形菌標本22点を玉山光典博士に同定していただいた。

イ. 館内調査研究報告会

〔日 時〕 令和7年3月3日（月）

9：30～9：35 開会行事・挨拶

高橋 廣至（館長）

I 個別調査研究

（午前の部）

9：45～10：00	一戸町の四ツ役層貝類化石	佐藤修一郎（地質）
10：00～10：15	花巻市大迫町の名目入沢層から産出した藻類化石	望月 貴史（地質）
10：15～10：30	岩手県における後期旧石器時代前半期の石器群	米田 寛（考古）
10：30～10：45	調査出張で訪れた屋久島と種子島	高橋 雅雄（生物）
10：45～11：00	〔休憩〕	

11：00～11：15	秋田市・個人から寄贈された摺り物3種	川向富貴子（民俗）
11：15～11：30	寄贈された明治及び大正時代の昆虫標本の来歴	渡辺 修二（生物）
11：30～11：45	ニホンジカによるミズキの樹皮食い行動について	鈴木まほろ（生物）
11：45～12：00	令和6年度・当館所蔵地方文書の整理について	大銃地駿佑（歴史）
（午後の部）		
13：00～13：15	盛岡藩領内の碁打ち・将棋指しについて	村田 雄哉（歴史）
13：15～13：30	当館蔵「後三年合戦絵巻」再論	目時 和哉（歴史）
13：30～13：45	資料の謎が解ける瞬間	工藤 健（歴史）
13：45～14：00	マイクロフィルムの状態調査と管理について	山崎 遥（文化財科学）
14：00～14：15	〔休憩〕	
14：15～14：30	活性炭とゼオライトの吸放湿性	丸山 浩治（文化財科学）
14：30～14：45	盛岡毛鉤の今・昔	近藤 良子（民俗）
14：45～15：00	いわての酒造りにについて	戸根 貴之（民俗）
15：00～15：15	〔休憩〕	
15：15～15：30	岩洞湖畔の遺跡踏査	高木 晃（考古）
15：30～15：45	縄文土偶は故意に壊されているか	金子 昭彦（考古）

II 部門別調査研究

15：45～16：15 〔地質・生物・歴史・文科・民俗・考古〕

16：15～ 閉会行事・講評 小平 忠孝 氏（社会教育等推進参与）

ウ. 調査研究成果の公表

（ア）岩手県立博物館研究報告 第42号

（A4判相当PDF版・55頁 発行日：令和7年3月31日 当館HPにて公開）

1. 米田寛 花泉（金森）遺跡出土動物骨化石中の人類遺物とされた資料
2. 山本好和・佐藤幸子・鈴木まほろ 岩手県紫波町志和稲荷神社の地衣類
3. 鈴木まほろ ニホンジカによるミズキの樹皮食い行動
4. 高橋雅雄 岩手県立博物館周辺で新たに確認された哺乳類4種
5. 佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二 岩手県雫石町のトンボ相（2）ウチワヤンマなどの追加記録を含めて
6. 松村雄・千葉武勝 岩手県におけるハナバチ類の採集記録
7. 渡辺修二・佐々木麻由 土井信夫コレクションに含まれていた明治及び大正時代の昆虫標本の来歴

（イ）岩手県立博物館調査研究報告書 第38冊

（A4判相当PDF版・80頁 発行日：令和7年3月31日 当館HPにて公開）

編集：高橋雅雄（岩手県立博物館） 刊行：公益財団法人岩手県文化振興事業団

「春子谷地と高松公園芝水園の動植物」

（ウ）学会・研究会・他機関での発表および著作（*：共同発表の際の当館職員）

a. 口頭発表等

・相場大佑・望月貴史*：岩手県洋野町に分布する上部白亜系種市層より産出した軟体動物（アンモナイト類・イノセラムス類）化石. 日本古生物学会 2024 年年会, 2024 年 6 月, 高知市, ポスター発表

- ・丸山浩治：十和田平安噴火と地域社会の動態．明治大学黒曜石研究センター「シンポジウム 火山災害考古学：地域社会の罹災とそのレジリエンス」，2024 年 6 月，東京都，口頭発表
- ・高木晃：岩手県内における古代の水田遺構．岩手考古学会第 55 回研究大会，2024 年 7 月，盛岡市，口頭発表
- ・丸山浩治：内陸北部における古代の植物栽培——戸地域の事例から——．岩手考古学会第 55 回研究大会，2024 年 7 月，盛岡市，口頭発表
- ・近藤良子*・田中隆充・小笠原敏記：盛岡竿と盛岡毛鉤——伝統の造形——．令和 6 年度 第 1 回芸術科学会東北支部研究会，2024 年 8 月，仙台市，口頭発表
- ・佐々木未悠・高橋雅雄*・蛭名純一・東信行・沓掛展之：同所的に繁殖するニューナイスズメとスズメの営巣環境をめぐる防衛行動とその効果．日本鳥学会 2024 年度大会，2024 年 9 月，東京都，ポスター発表
- ・目時和哉：現在と過去を架橋する津波モニュメント——2023 年の盂蘭盆会調査から——．災害文化研究会 2024 研究大会，2024 年 11 月，盛岡市，ポスター発表
- ・齋藤皓太・佐藤たまき・望月貴史*：岩手県北東部の上部白亜系種市層より産出したワニ類化石の初報告．日本古生物学会 2025 年例会，2025 年 2 月，オンライン，ポスター発表
- ・目時和哉：東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクトの取組について．愛知県博物館協会職員研修会・東海三県博物館協会研究交流会，2025 年 2 月，名古屋市，基調講演
- ・鈴木まほろ：ニホンジカによるミズキの選択的樹皮食害．日本生態学会第 72 回大会，2025 年 3 月，札幌市，ポスター発表

b. 論文・報文

- ・佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二* (2024) 岩手県盛岡市においてヤブヤンマを初記録．月刊むし，640：59．査読なし
- ・佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二* (2024) 岩手県内陸部におけるマダラヤンマの記録——岩手郡雫石町での採集——．月刊むし，641：47．査読なし
- ・佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二* (2024) 岩手県におけるハネビロエゾトンボの 2 例目の記録．月刊むし，645：53．査読なし
- ・佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二* (2024) 岩手県の滝沢市と岩手郡雫石町におけるキバネツノトンボの採集．月刊むし，646：47．査読なし
- ・渡辺修二 (2024) カワシンジュガイを取り巻く岩手の水環境．水環境学会誌，47：241-245．査読なし
- ・金子昭彦 (2024) 竹倉史人「土偶のモチーフは植物と貝類」説の検証．東京考古，42：121-145．査読なし
- ・金子昭彦 (2025) x 字形土偶の定義・系列・出土状況．岩手考古学，36：1-18．査読なし
- ・金子昭彦 (2025) 東北地方北部・縄文時代後期初頭～前葉の土偶編年．青森県考古学，32：13-30．査読なし
- ・Daisuke Aiba & Takafumi Mochizuki* (2024) *Eubostrychoceras valdelaxum*, a lowermost Campanian nostoceratid ammonoid from the Kunitan Formation of the Kuji Group in Iwate, northeastern Japan. Paleontological Research, 28(4): 442-447. 査読あり
- ・Keisuke Naito, Shuji Watanabe*, Masuo Komukai, Takehiro Kazuma, Masayuki Itoh & Masahiko

Kawasaki (2024) Degradation of cyanobacteria and microalgae using ultraviolet radiation at 222 nm and its application in the bleaching of lampenflora on cave rock surfaces. International Journal of Speleology, 53: ijs2512. 査読あり

c. 普及書、新聞の著作、その他

・読売新聞岩手版「ミュージアムリポート」

工藤 健	「岩手のラグビー ー旧岩手中で初のプレーー」	2024 年 4 月 19 日
近藤 良子	「懐かしのおもちゃ ー昭和から今 遊びを展示ー」	2024 年 5 月 3 日
望月 貴史	「古生物の想像図 ー最新の化石研究 図鑑に反映ー」	2024 年 5 月 17 日
戸根 貴之	「かりうち ー体験 運と戦略 古代のゲームー」	2024 年 6 月 7 日
高木 晃	「座る土偶 ー安産願い『座産』の姿勢かー」	2024 年 6 月 21 日
丸山 浩治	「燻蒸 ーガスで殺虫殺菌 代替模索ー」	2024 年 7 月 5 日
米田 寛	「旧石器時代の野牛 ー2 万年前の頭骨化石ー」	2024 年 7 月 19 日
佐藤修一郎	「合弁の貝化石 ー棲息域特定 貴重な証拠ー」	2024 年 8 月 3 日
金子 昭彦	「ふしぎな縄文 ー謎解き明かさな展示ー」	2024 年 8 月 23 日
目時 和哉	「日常のアーカイブ ー角打ち フラスコで堪能ー」	2024 年 9 月 6 日
山崎 遙	「虫の防除 ー薬剤使わず日常で対策ー」	2024 年 9 月 20 日
高橋 雅雄	「猛禽類の献立 ー生態系の頂点 何食べる？ー」	2024 年 10 月 4 日
渡辺 修二	「海洋の捕食者 ー捕獲に最適 シャチの歯ー」	2024 年 10 月 26 日
高橋 雅雄	「フクロウ類の献立 ーネズミや昆虫など捕食ー」	2024 年 11 月 16 日
鈴木まほろ	「気候変動 ー猛暑 高山植物に影響ー」	2024 年 11 月 22 日
川向富貴子	「咳に立ち向かう ー呪句 病治すおまじないー」	2024 年 12 月 6 日
大銚地駿佑	「御山守 ー藩有林 村役人が管理・保護ー」	2024 年 12 月 13 日
戸根 貴之	「伝統的酒造り ー新酒知らせる杉玉看板ー」	2025 年 1 月 10 日
村田 雄哉	「詰将棋の歴史 ー江戸の写本 著名な問題収録ー」	2025 年 1 月 24 日
工藤 健	「一般からの資料 ー歴史垣間見る 石垣の申請書ー」	2025 年 2 月 7 日
佐藤修一郎	「二戸の貝類化石 ー熱帯気候の時代示すー」	2025 年 2 月 21 日
丸山 浩治	「学校日誌 ー事務的な記録 地域史料にー」	2025 年 3 月 7 日
金子 昭彦	「石包丁 ー弥生期県内で稲作 物証ー」	2025 年 3 月 14 日

・岩手日報「いわてリレーエッセー 遊歩道」

高橋 雅雄	「夏に子育てをするチゴハヤブサ」	2024 年 8 月 10 日
高橋 雅雄	「追悼 日本一の剥製師」	2025 年 2 月 8 日

・緑書房ウェブメディア「いきもののわ」

高橋 雅雄	地域限定の希少種・オオセッカを知っていますか？	2024 年 5 月 17 日
高橋 雅雄	鳥を愛した日本画家・田中一村の描いた野鳥を見る	2024 年 6 月 21 日

・いわて文化財 vol. 295

戸根 貴之	「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録	2025 年 2 月 28 日
-------	-----------------------	-----------------

・公益財団法人 京都服飾文化研究財団「服をめぐる」第 26 号

高橋 雅雄 一人一品 鳥類学者×KCI 収蔵品

2025 年 2 月 28 日

・全科協 News 55(2)

望月 貴史・田村 優子 「岩手県立博物館のミュージアムキャラクターについて」

2025 年 3 月 1 日

エ. 受託事業実施状況

(ア) 文化財の自然科学的調査・保存修復

岩手県立博物館では、平成 2 年度から文化財の自然科学的調査・保存修復に関する受託事業を実施している。平成 24 年度からは東日本大震災で被災した文化財等の安定化処理および修理を開始した。令和 6 年度の事業実績は以下に示すとおりである。

表 5. (3)-3 令和 6 年度実施実績

受 託 内 容	件 数	委 託 機 関
被災紙製資料安定化処理及び修理業務	1	教育委員会
被災鳥羽源蔵コレクション安定化処理及び修理業務	1	教育委員会
被災民俗資料安定化処理業務	1	教育委員会
被災自然史関連資料修理業務	1	教育委員会
文化財等資料の X 線透過撮影業務	2	教育委員会、資料館
文化財等資料の生物学的劣化防除業務	9	教育委員会、資料館等

(イ) 岩手における続縄文期～古墳時代墓制関連遺跡調査

考古部門では、令和 6 年度から 5 カ年計画の「岩手における続縄文期～古墳時代墓制関連遺跡調査事業」を岩手県教育委員会から受託した。本事業は、本県における続縄文期から古墳時代にかけての墓制について考古学的な調査を実施し、遺跡立地、埋葬様式の変遷、地域性の検討を行うことを目的として開始している。初年度の令和 6 年度は九戸郡九戸村長興寺に所在する「長興寺 I 遺跡」の発掘調査を実施した。

調査は、平成 12 年度の県埋蔵文化財センター調査で弥生時代後期土坑墓が発見された地区の隣接地約 150 m²を対象とし、令和 6 年 10 月 16 日～10 月 24 日の第一次調査、令和 6 年 11 月 18 日～20 日の第二次調査に分けて実施した。調査の結果、調査区の過半が攪乱されていることが判明し、当該時期の土坑墓と推測される土坑状落ち込みの一部が確認されたにとどまった。長興寺 I 遺跡においての進展はこれ以上望めないことから、令和 7 年度以降は対象遺跡を変更して事業を継続する予定である。

なお、前述の平成 12 年度県埋蔵文化財センター調査で出土した土坑墓副葬土器について、AMS 法による ¹⁴C 年代測定を実施した。測定試料は土器外面付着炭化物で、得られた測定年代から暦年較正年代を推定すると 3 世紀前半～半ばという結果である。当該期の実年代測定結果は希少であり、今後の議論における有力な手がかりを得られた。

オ. 自然史標本データ整備

独立行政法人国立科学博物館が運営する科学系博物館情報ネットワークシステムの自然史標本情報検索システムに掲載するため、当館で所蔵する生物標本資料 4,000 件について、データ整理・整形を行って提供した。

カ. 学術研究貢献活動

当館学芸員が依頼を受けた学会の審査員や学術雑誌の査読等、館外の学術研究活動に貢献したものを以下に示す。

表 5. (3)-4 令和 6 年度学術雑誌の査読等の受託数

学芸員名	学会大会・学術雑誌	実施団体・出版元	備考
鈴木まほろ	第 72 回日本生態学会大会	日本生態学会	ポスター審査
高橋 雅雄	日本鳥学会 2024 年度大会	日本鳥学会	ポスター審査
高橋 雅雄	伊豆沼・内沼研究報告	宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	査読
高橋 雅雄	Strix	日本野鳥の会	査読
高橋 雅雄	Ornithological Science	日本鳥学会	担当編集
望月 貴史	全科協 News	全国科学博物館協議会	会誌編集

キ. 研究協力員制度

当館の調査研究活動の増進に資するため、当館学芸員の推薦により館外研究者を研究協力員として認定し、当館の調査研究等に従事する制度を平成 11 年度から実施している。研究協力員としての活動期間は 3 年間で、申請・審査を経て委嘱、更新することができる。

令和 6 年度は 1 名の新規委嘱が承認された。令和 7 年 3 月末現在で 10 名（順不同）となっている。

○研究協力員（新規）

1. 千葉 博（元当館学芸調査員 岩手植物の会 岩手県植物誌調査会）
：岩手県内の植物相について [生物部門]

○研究協力員（継続）

2. 吉田 裕生（元当館学芸第二課長）
：東北地方産鉱物の記載鉱物学的研究、特にマンガン硼酸塩・硫酸塩鉱物の研究 [地質部門]
3. 千葉 武勝（元岩手県病虫害防除所長）
：昆虫標本の整理、特に鞘翅目、膜翅目昆虫の同定、標本作成、調査研究手法に関する助言 [生物部門]
4. 沼宮内信之（日本森林技術協会）
：北東北の植物相（特にスゲ属） [生物部門]
5. 吉田 充（元当館学芸第三課長）
：大鉢森山周辺の母体岩変性岩類から産出する金属資源（金）に関わる調査研究等 [地質部門]

6. 大石 雅之（元当館学芸部長）
：岩手県産脊椎動物化石を中心とする古生物学的研究および地域地質に関する研究[地質部門]
7. 工藤 紘一（元当館学芸第二課長）
：岩手の年中行事をはじめとする民俗事象の研究 [民俗部門]
8. 大友 令史（岩手県病虫害防除所）
：病虫害の生態的研究 [生物部門]
9. 藤井 千春（元当館主任専門学芸員・岩手県立盛岡北高等学校教諭）
：北日本における発光生物の生態学的研究，洞穴環境に関する研究[生物部門]
10. 中嶋奈津子（佛教大学総合研究所 特別研究員）
：岩手県内の民俗芸能における継承と伝播について [民俗部門]

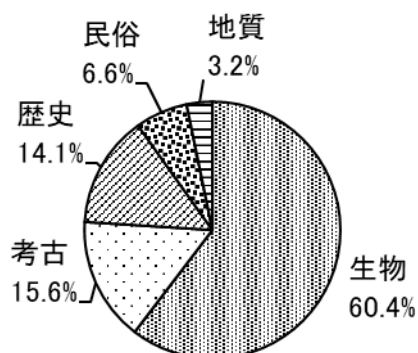
(4) 資料収集保管活動

ア. 資料の収集整理

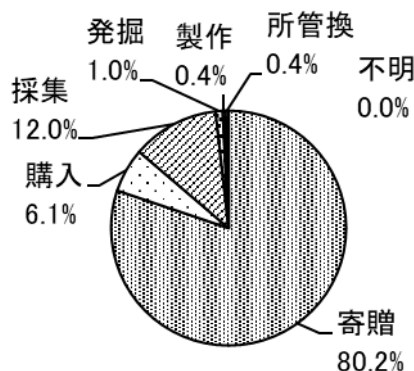
令和6年度3月末現在の登録資料数は8,372点で、開館以降の累計は384,792点にのぼる(表5.(4)-1)。新規登録資料点数は生物部門が最も多く、6,002点で全体の約72%を占める。地質部門では花泉獣骨化石群や笹本清一氏コレクション等を、生物部門では小田公良氏チョウ類コレクション等を、歴史部門では平興商店関連資料等を、民俗部門では伊藤仙関係資料等を、考古部門では伊藤鉄夫氏コレクション等をそれぞれ登録した。

表5.(4)-1 令和6年度資料登録状況

	年度区分	地質	生物	考古	歴史	民俗	区分計
採 集	令和5年度末累計	3,390	41,002	922	3	232	45,549
	令和6年度計	160	307	44	0	8	519
	累 計	3,550	41,309	966	3	240	46,068
発 掘	令和5年度末累計	209	-	3,513	-	-	3,722
	令和6年度計	0	-	0	-	-	0
	累 計	209	-	3,513	-	-	3,722
寄 贈	令和5年度末累計	6,347	172,406	55,247	45,971	20,712	300,683
	令和6年度計	771	5,695	12	175	1,180	7,833
	累 計	7,118	178,101	55,259	46,146	21,892	308,516
購 入	令和5年度末累計	1,409	12,176	269	6,975	2,544	23,373
	令和6年度計	11	0	0	0	3	14
	累 計	1,420	12,176	269	6,975	2,547	23,387
製 作	令和5年度末累計	164	590	95	114	519	1,482
	令和6年度計	0	0	0	4	2	6
	累 計	164	590	95	118	521	1,488
所管換	令和5年度末累計	1	94	0	1,104	278	1,477
	令和6年度計	0	0	0	0	0	0
	累 計	1	94	0	1,104	278	1,477
不 明	令和5年度末累計	0	107	0	0	27	134
	令和6年度計	0	0	0	0	0	0
	累 計	0	107	0	0	27	134
合 計	令和5年度末累計	11,520	226,375	60,046	54,167	24,312	376,420
	令和6年度計	942	6,002	56	179	1,193	8,372
	累 計	12,462	232,377	60,102	54,346	25,505	384,792



分野別収蔵点数の割合



受入方法別収蔵点数の割合

県内外の方々のご厚意によって、今年度当館が受贈した資料は 51 件と大幅に増加した（表 5. (4)–2）。7,000 点を超える昆虫標本や 1,000 点を超える文書群など大型コレクションの寄贈もあり、収蔵スペースの確保が緊急の課題である。また当館は登録博物館であるため、ワシントン条約（CITES）および種の保存法で保護され原則として取引が禁じられているウミガメ類の剥製や象牙の受け入れが近年急増している。

毎年増加する膨大な資料の登録を円滑に進め、将来的に多くの資料情報を当館ホームページ上で公開することを目指し、資料登録は平成 24 年 4 月から早稲田システム開発㈱が提供する I. B. Museum SaaS により行っている。本システムは文字情報と画像情報をデータベース上で統合できること、登録情報のうち選択した部分のみをインターネット上で公開できることなどの利点がある。このシステムを使用し、現在 1,334 件の当館所蔵の資料情報および画像を公開中である。

表 5. (4)–2 令和 6 年度の主な受贈資料

部 門	寄 贈 者 (敬 称 略)	居 住 地 所 在 地	資 料 名	数 量
地 質	笹本清一	青森県八戸市	洋野町・久慈市産化石標本ほか	225
	佐藤絢子	奥州市	雫石町産魚類化石	25
	武田泰典	盛岡市	黒曜石（十勝石）ほか	51
	菅原邦元	東京都	黄銅鉱	1
	笹本清一	青森県八戸市	洋野町・久慈市産化石標本ほか	13
生 物	小水内邦子	盛岡市	書籍	148
	大友美砂子	宮城県仙台市	象牙	1
	佐藤幸子	盛岡市	地衣類標本	109
	齋藤篤	矢巾町	ウトウ・タイマイ・ヒゲクジラの髭	3
	斉藤ひかる	北上市	ニホントカゲ	1
	滝沢市	滝沢市	オオワシ本剥製	1
	－	－	植物写真・資料等	一式
	石川利男	秋田県鹿角市	象牙・アオウミガメ剥製	2
	三井秀男	滝沢市	昆虫標本	7422
	佐藤幸子	盛岡市	地衣類標本	124
	田口文代	盛岡市	鳥の巣	1
	小林重彦	盛岡市	ニホンテン本剥製	1
	嶋田和明	盛岡市	ギンケイ本剥製	1
	－	－	カワヤツメ標本	一式
	真坂一彦	盛岡市	シラカンバ幹輪切り標本	2
	佐々木全・悠太	滝沢市	昆虫標本（トンボ等）	25
	仙北小学校	盛岡市	ヤマドリ剥製・アカウミガメ剥製	2
	菅孔太朗	矢巾町	ヨコヤアナジャコ・マゴコロガイ	2
	阿部博和	宮城県利府町	トゲノコギリガザミ・ゴシキエビ・ノトチョウチンワラジムシ	5
	田口文代	盛岡市	メジロの巣	1
考 古	伊藤鉄夫	奥州市	伊藤鉄夫氏採集資料	4
歴 史	中村優理子	神奈川県横須賀市	刀	1
	浅野周夫	秋田県秋田市	近代江刺郡学校関連資料	41
	玉沢一洋	北上市	鐔 鉄地 銘「盛岡住 橘孝家造」	1
	－	－	釜石井上家資料	1052
	鈴木剛	釜石市	唐丹荒川鈴木家文書	140
	鈴木まほろ	盛岡市	新型コロナウイルス感染症関連資料（町内会関係）	80
歴史・民俗 ほか	伊藤 仁	盛岡市	伊藤仙商店関係資料ほか	71
	－	盛岡市	大和本草・外国産チョウ	11
	－	－	山形屋関係資料ほか	一式

民 俗	丸山敏克	北上市	盛岡竿	1
	佐々木昭治	盛岡市	盛岡竿	1
	伊藤瑞穂	盛岡市	花巻人形等	53
	長谷川ルリ子	盛岡市	炭斗	1
	古山裕康	盛岡市	盛岡竿	4
	森 静子	盛岡市	釣り竿、釣具一式	833
	岩渕善朗	一関市	正月飾りほか	2
	三浦 宏	秋田県秋田市	天保五年田山暦ほか	2
	小林美千代	盛岡市	防空・防火国防カレンダーほか	43
	齊藤和嘉	盛岡市	SP レコード、16mm フィルム等	81
	-	-	チャグチャグ忍び駒ほか	5
	三浦 宏	秋田県秋田市	盛岡暦	18
	赤坂江美	盛岡市	テンの毛皮（加工品）	1
	-	-	森口多里スケッチ帖ほか	2

計 51 件 10,659 点・3 組

表 5. (4)-3 資料の製作

部 門	名 称	内 容 の 概 略
生 物	鳥類の剥製、爬虫類のレプリカ	鳥類本剥製 11 点、鳥類仮剥製 10 点、爬虫類レプリカ 1 点
民 俗	盛岡竿	盛岡竿（黒漆塗り）1 点、盛岡竿（研ぎ出し・色漆塗り）1 点
民 俗	音源資料のデジタル化	昭和 58 年に市町村（一関市、大東町、藤沢町、花泉町、衣川村、前沢町、胆沢町、金ヶ崎町、平泉町）で採録した民謡のカセットテープ計 26 本

表 5. (4)-4 資料の修繕

項 目	部 門	内 容 の 概 略
修 繕	歴史	掛軸 1 点の修繕、一紙物 1 点の軸装等

表 5. (4)-5 機器類の保守点検と修繕

項 目	部 門	内 容 の 概 略
保守点検	歴史	マイクロリーダープリンター
	共通	電動リフト

イ. 資料の保管管理

収集整理した資料は部門別または材質別に、第 1～第 5 収蔵庫で保管される。収集した資料については調査研究が行われ、学術的に重要と判定されたものが博物館資料として登録される。調査研究の過程で得られた学術データはデータベース化される。登録資料および学術データは常設展示や特別展示で公開されるほか、「収蔵資料目録」の刊行や資料貸出し等をとおして、他機関での活用にも積極的に協力している。

(ア) 資料の貸出

本年度も、博物館や出版社をはじめとする様々な機関から、所蔵資料および写真類について多数の貸出の要請があり、実物資料については23件(199点と7組)、画像(写真)資料については64件243点の貸出を行った。博物館関係機関はもとより、教科書等教育用書籍への掲載を目的とする借用が多くを占めた(表5.(4)-6)・表5.(4)-7)。

表5.(4)-6 資料の貸出

部 門	貸 出 先	所在地	資 料 名	点 数
地 質	金ケ崎町教育委員会	金ケ崎町	岩手県産更新統化石ほか	14
	名古屋大学博物館	愛知県名古屋市	魚類化石	10
	山形県立博物館	山形県山形市	岩手県産化石・鉱物	49
	二戸市立二戸歴史民俗資料館	二戸市	化石標本	7
	野田村教育委員会	野田村	アンモナイト	1
	東北大学総合学術博物館	宮城県仙台市	アンモナイト	2
	奥州市牛の博物館	奥州市	鯨類肋骨片化石ほか	22
生 物	アクアマリンいなわしろカワセミ水族館	福島県猪苗代市	ホソガムシ類	6
考 古	宮古市教育委員会	宮古市	小田島コレクション	6
	花巻市博物館	花巻市	土器・土偶	6
	宮古市	宮古市	根井貝塚出土縄文土器	3
	仙台市富沢遺跡保存館	宮城県仙台市	ハナイズミモリウシ頭骨ほか	25
	石巻市博物館	宮城県石巻市	柳之御所遺跡出土金鉱石(複製)	1
	北上市立博物館	北上市	北上市和賀町愛宕山遺跡出土資料	6
歴 史	盛岡市先人記念館	盛岡市	太田孝太郎コレクション中国古印ほか	18
	府中市美術館	東京都府中市	岩手県観光鳥瞰図原図ほか	2
	鎌倉市教育委員会	神奈川県鎌倉市	後三年合戦絵巻	2
	宮古市教育委員会	宮古市	砲弾破片・弾丸薬莢	一式
民 俗	遠野市立博物館	遠野市	虫まつり人形他	10
	平泉世界遺産ガイドンスセンター	平泉町	オシラサマほか	4組
	遠野市立博物館	遠野市	オシラサマ	2組
その他	県文化振興事業団埋蔵文化財センター	盛岡市	小型フレキシブルライト	6
	紫波城跡愛護協会	盛岡市	移動展ケース	3

計 23件 199点、7組

表5.(4)-7 画像資料の貸出(使用許可含)

部 門	貸 出 先	資 料 名	点数
地 質	株式会社旺文社	デスモスチルスの上顎大臼歯	1
	エービーイー株式会社	モシリユウの上腕骨	1
	株式会社プラネットライツ	モシリユウの上腕骨ほか	4
	金ケ崎町教育委員会	岩手県地質図ほか	3
	山形県立博物館	モシリユウ復元想像図	1
	有限会社ハユマ	モシリユウの上腕骨ほか	2
	(公財)文化財建造物保存技術協会	岩手県地質図ほか	1
	株式会社ベネッセコーポレーション	ハナイズミモリウシ	1
	株式会社 Gakken	三葉虫 シュードフィリップシア	1
	株式会社 TBS グロウディア	ハナイズミモリウシ	2
	(個人)	岩手県地質概略図	1
	久慈琥珀株式会社	モシリユウの上腕骨ほか	2
生 物	(個人)	大阪市産押し葉標本画像	2

生 物	(個人)	オサバグサ標本画像	9
考 古	株式会社育鵬社	萩内遺跡出土大型土偶頭部 (正面)	1
	六ヶ所村立郷土館	萩内遺跡出土大型土偶頭部 (側面)	1
	株式会社アフロ	蕨手刀 (九戸郡野田村大字野田字上新山)	1
	株式会社フォト・オリジナル	手代森遺跡出土遮光器土偶	1
	東北放送株式会社	手代森遺跡出土遮光器土偶	1
	株式会社ワン・パブリッシング	手代森遺跡出土遮光器土偶	1
	(個人)	小鳥谷遺跡出土土器 (大型壺)	1
	仙台市富沢遺跡保存館	ハナイズミモリウシ頭蓋骨化石	1
	石巻市博物館	柳之御所遺跡出土金鉾石 (複製)	1
	東北放送株式会社	豊岡遺跡出土遮光器土偶ほか	2
	株式会社晶文社	寺場遺跡出土土偶	1
	株式会社かみゆ	萩内遺跡出土大型土偶頭部 (正面)	1
	株式会社毎日放送	手代森遺跡遮光器土偶写真フィルム	1
歴 史	(個人)	東廻航路図	11
	(個人)	南部領海辺絵図ほか	15
	NPO 法人日本ビオトープ協会	錦絵「新撰花鳥画」	1
	(個人)	盛岡城下鳥瞰図 (川井鶴亭画)	1
	国立アイヌ民族博物館	アイヌ風俗画	1
	鹿角市歴史民俗資料館	養虫山人絵図	17
	もりおか歴史文化館	書画帖	1
	戎光祥出版株式会社	7月12日信直書状案ほか	2
	釜石市文化振興課	釜石鉾山寮之図	1
	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	ふかひれ (複製) ほか	3
	東京書籍株式会社	ふかひれ (複製) ほか	3
	遠野市	三閑伊日記	1
	株式会社ワン・パブリッシング	鯨尾兜	1
	(個人)	太平洋戦争関連展示資料	6
	鎌倉歴史文化交流館	後三年合戦絵巻ほか	6
	釜石市文化振興課	釜石鉾山寮之図	1
	盛岡市	猪の図 (川口月嶺) ほか	14
	株式会社 雄山閣	毛越寺・観自在王院 模型	1
	(株) 岩手めんこいテレビ	旧吉田家住宅関連	10
	もりおか歴史文化館	金沢御山大盛之図	23
民 俗	(個人)	盛岡藩操座元鈴江四郎兵衛関係資料	13
	(個人)	盛岡暦系絵心経ほか	2
	盛岡市教育委員会	玉山の野良着 スッパ	3
	(個人)	マタギ装束一式ほか	2
	浅草新町会	淡路人形関係資料一式	16
	株式会社テレビマンユニオン	田頭相撲倶楽部絵はがき	1
	盛岡市教育委員会	国指定重要文化財 旧佐々木家住宅	1
	(個人)	及川全三肖像写真ほか	5
	盛岡先人記念館	淡路人形 操人形 恵比寿他	3
	株式会社テレビマンユニオン	田頭相撲倶楽部絵はがき	1
	岩手県立図書館	森口多里肖像写真	1
	NPO 法人いわてアートサポートセンター	森口多里写真コレクションほか	11
	株式会社ネクサス	森口多里写真コレクションより 嬰兒籠	1
	盛岡市市史編さん室	盛岡暦 (天保13年) (複製) ほか	3
	岩手県立図書館	森口多里コレクション	7

民 俗	北上市	森口多里写真コレクション	8
	(個人)	田山暦 (天明三年 田山善八銘)	1

計 64 件 243 点

(イ) 資料の熟覧・撮影等

他機関の職員による展示会等の事前調査や研究者による収蔵資料の熟覧・撮影希望は 45 件 (2032 点と 6 組) あり、昨年度より大幅に増加した (表 5. (4)-8)。

表 5. (4)-8 資料調査の熟覧・撮影

部 門	申 請 者	資 料 名	点数
地 質	(個人)	ムカシオオホホジロザメの左上顎歯ほか	4
	岩手日報社	気仙隕石	1
	(個人)	ネコ全身骨格組立標本	1
	二戸市立二戸歴史民俗資料館	パレオパラドキシアの一種の全身骨格	1
生 物	(個人)	教育掛図「麒麟」ほか	3
	(個人)	イネ科トダシバ属ほか	209
	(個人)	農作物病害図「梨赤星病」ほか	4
	(個人)	ヤマトホソガムシ標本	5
	(個人)	セリ科標本ほか	300
考 古	(個人)	土偶	41
	(個人)	異形注口土器ほか	3
	(個人)	男根状石製品	2
	(個人)	注口土器片ほか	2
	(個人)	佐々木盛輔コレクション 花泉動物化石	一式
	(個人)	小松洞穴出土人骨ほか	一式
	(個人)	佐々木盛輔コレクション 花泉動物化石	一式
	(個人)	骨製垂飾りほか	6
	(個人)	小岩末治コレクションほか	781
	(個人)	小田島コレクション	55
	(個人)	豊岡遺跡出土浅鉢	1
	山梨県立考古博物館	萩内遺跡出土品	13
	山形県立博物館 奥州市牛の博物館	佐々木盛輔コレクション 花泉動物化石	一式
歴 史	盛岡先人記念館	山口剛介・新渡戸仙岩・太田孝太郎関連資料	20
	一関市教育委員会	日爪館出土資料	2
	盛岡先人記念館	太田孝太郎コレクション中国古印ほか	一式
	一関市教育委員会	日爪館出土資料	2
	株式会社東京ビデオセンター	毛越寺・観自在王院復原模型	1
	もりおか歴史文化館	書画帖ほか	14
	(個人)	私残記	2
	(個人)	野田代官所文書	1
	釜石市	東講商人鑑ほか	2
	遠野市	三閉伊日記	1
	鎌倉市教育委員会	後三年合戦絵巻	2
	東京国立博物館	太田孝太郎コレクション	一式
	盛岡市	盛岡城天守櫓図	1
	もりおか歴史文化館	金沢御山大盛之図他	5

民 俗	北上市	森口多里コレクション スケッチ帖	1
	(個人)	旧奥州街道花巻四日町町場図	1
	(個人)	及川全三関係資料	95
	(個人)	淡路人形（操人形）	5
	(個人)	天保五年田山暦ほか	2
	(個人)	盛岡暦（近代）ほか	156
	(個人)	掛幅「白澤図」ほか	282
歴史・地質	北海道手稲養護学校三角山分校	木造聖観音立像ほか	4

計 45 件 2032 点、6 組

（ウ）収蔵資料目録の刊行

当館収蔵資料を外部の機関や個人が有効利用できるようにすることを目的として、整理・検討が完了した登録資料について、目録を刊行している。令和 6 年度は歴史部門が『第 30 集 歴史Ⅳ 陸奥国胆沢郡上衣川村南又組頭文書』を刊行し、当館公式ホームページにおいて PDF で公開した。

（エ）展示資料撮影に係る事務処理要領の制定

当館では、昭和 55 年に制定された博物館条例および岩手県立博物館管理運営規則第 5 条に基づき、館内の資料の撮影等をしようとする者は許可申請書を提出することとしていた。しかし近年、展示資料の撮影を希望する来館者はきわめて多くなっており、これらの規則の見直しが求められていた。そこで令和 6 年 4 月 4 日、来館者に対するサービス向上と博物館資料の活用促進を目的として、「展示資料撮影に係る事務処理要領」を新たに定め、展示中の資料の静止画像を来館者が個人的記録のために撮影しようとする場合には、博物館長は掲示または口頭によってこれを許可することができるものとし、申請を不要とした（ただし当館が撮影を禁止する資料を除く）。合わせて、展示資料等の撮影や画像の利用に関する来館者向けのガイドラインを作成し、館内に掲示するとともに、当館公式ホームページにおいて公開した。

ウ. 文化財科学部門

岩手県立博物館には、先人から伝えられた貴重な文化財や、自然界の営みを知るうえで重要な自然史標本をはじめとする数多くの学術資料が収蔵・展示されている。これらの資料をできるだけ長くそのままの状態の後世に伝えるとともに、資料が有するさまざまな情報を自然科学的方法で解析し読み解くことを目的として、文化財科学部門が設置されている。

（ア）資料の保管・管理

博物館資料をできるだけ長く後世に伝えるためには、資料の素材に適した保存環境を整える必要がある。岩手県立博物館では、収蔵庫および展示室に温湿度記録計を設置し、継続的に温湿度変化を観察している。その結果にもとづき空調機を制御し、さらに必要に応じて除湿機や加湿器を使用しながら、展示室や収蔵庫内の温度を 21～23℃、湿度を 50～60%に維持することに努めている。なお、特に精密な湿度管理を施す必要がある資料については、調湿剤をセットしたエアタイトケースを活用している。

また、資料劣化に係る化学物質（ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、アンモニア）の濃度について、重要文化財展示・収蔵箇所を含む館内各所で年2回以上測定し、基準値を超過する箇所については活性炭等の吸着剤を使用して低減を図るなど安定化に努めている。

なお、劣化が進んだ出土金属製品や木製品については、脱酸素剤、調湿剤を入れた透湿抵抗の高いガスバリアフィルムに封入し、劣化の進行防止を図っている。

（イ）生物学的劣化からの防除

紙製品、木製品、繊維製品、自然史標本など有機物を素材とする資料は、虫やカビにより汚損される心配がある。新たに博物館に搬入される資料には有害な虫やカビが付着している可能性があり、有害生物を駆除することなく収蔵庫や展示室に運び込んだ場合、急激に繁殖する恐れがある。有害な虫やカビから資料を守るため、岩手県立博物館では新規に搬入された資料について、滅菌装置で殺菌殺虫処理（文化財用薬剤によるくん蒸）を行っている。令和6年度の滅菌装置によるくん蒸実施状況は、表5. (4)-9に示すとおりである。

表5. (4)-9 滅菌装置によるくん蒸実施状況

部門・課	数量	資料種別
考 古	1 件	写真類
歴 史	50 件	古文書、典籍、掛軸、額装品、刀装具、食膳具、文書類、写真類、囲碁・将棋関係資料、鰐口、テーマ展借受資料、井上ひさし関連資料 ほか
民 俗	38 件	和竿及び制作道具、花巻人形、菓子型、漆製品、炭斗、正月飾り、田山暦、ランプ、水筒、ホームスパン、箕、書簡類、レコード類、ひな人形 ほか
生 物	93 件	動物標本、象牙、昆虫標本、植物標本、樹幹円盤、書籍、文書類、写真類 ほか
文化財科学	59 件	陸前高田市立博物館所管東日本大震災被災資料
学芸第三課	6 件	収蔵用資材、展示用資材 ほか

令和6年9月1日から10日まで、密閉くん蒸法により、第1・第2・第3・第4収蔵庫、歴史・古美術整理室および第2資料登録室、第1・第2書庫、いわて文化史展示室、特別展示室、いわて自然史展示室をくん蒸した。これら各地点についてはその後、有害な虫やカビの発生源となる空調機の送排風口、収蔵庫の棚および展示ケース上部に固着する塵埃の除去も行った。なお、令和6年7月および9月には館内の害虫生息調査及び浮遊菌調査を、同年11月および令和7年1月には浮遊菌調査を実施している。

令和7年度についても、有害な虫やカビの発生を抑制する良好な展示・収蔵環境の確立を図るため、労働安全衛生法および関連諸規則を順守しつつ、生物学的劣化防除のための対策を施す予定である。

（ウ）作業環境測定

当部門の業務では、特定化学物質や有機溶剤等を使用することがあり、その作業環境を良好に保つため、第三者機関による作業環境測定を年2回実施している。令和6年度の実施結果は表5 (4)-10に示すとおりである。

表 5. (4)-10 作業環境測定結果

実施日	単位作業場所	測定項目	管理区分
令和 6 年 6 月 17 日	器具庫（局所排気装置）	混合有機溶剤	1
	器具庫（室内）	混合有機溶剤	1
	消毒室	酸化プロピレン	1
令和 6 年 12 月 2 日	器具庫（局所排気装置）	混合有機溶剤	1
	器具庫（室内）	混合有機溶剤	1
	消毒室	酸化プロピレン	1

（エ）機器類の保守点検と修繕

分析・測定精度や安全性を担保する必要がある機器類および設備について、定期的に保守点検を行い、不具合が生じたものについて修繕を実施している。令和 6 年度の実施状況は、表 5 (4)-11 に示すとおりである。

表 5. (4)-11 保守点検と修繕の実施状況

事業名	内容
文化財科学実験システム保守点検	局所排気装置・クリーンルーム空気調整システムの性能確認、消耗部品交換、総合調整等。空気清浄機の消耗部品交換、総合調整など。
表面分析装置保守点検	エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置及び X 線回折装置の安全及び性能確認、漏洩 X 線測定、消耗部品交換、総合調整など。
博物館資料滅菌システム保守点検	滅菌装置の安全及び性能確認、活性炭・ガス警報器センサー・劣化部品交換、総合調整など。

(5) 総務企画調整

ア. 総括出版広報

(ア) 印刷物

a. 博物館だより

181号 目次／テーマ展 ふしぎな縄文 表紙／いわて文化ノート ユネスコ無形文化遺産と岩手～世界遺産との比較～p. 2-3／展覧会案内 テーマ展 ふしぎな縄文 p. 4-5／展覧会報告 特別展「ポケモン化石博物館」を終えて／事業報告 いわて自然史展示室 リニューアル p. 6／事業報告 博学連携事業 岩手県立盛岡峰南高等支援学校との新たな連携事業／活動レポート チャレンジ!はくぶつかん p. 7／インフォメーション p. 8

182号 目次／企画展「捕食者の献立」表紙／いわて文化ノート「その後の遮光器土偶研究—第68回企画展「遮光器土偶の世界」後—」p. 2-3／展覧会案内 企画展「捕食者の献立」p. 4-5／事業報告「かりうち体験」／事業報告「県博バックヤードツアー」p. 6／事業報告「中学生 職場体験」／展示替えのご案内「中世南部氏関係資料レプリカ制作」p. 7／インフォメーション p. 8

183号 目次／テーマ展「辿る～岩手の囲碁将棋～」表紙／いわて文化ノート「女性の祈り—お産をめぐる習俗を例に—」p. 2-3／展覧会案内 テーマ展「辿る～岩手の囲碁将棋～」p. 4-5／展示替え紹介「いわて文化史展示室 歴史部門展示替え」／実物展示「一関市花泉（金森）遺跡のハナイズミモリウシ」p. 6／事業報告「第87回自然観察会 『大窪山の虫たちをさがそう』」／事業報告「ナイトミュージアム」p. 7／インフォメーションp. 8

184号 目次／テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」表紙／いわて自然ノート「化石標本のレプリカと3Dデータの作成・活用について」p. 2-3／展覧会案内 テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」p. 4-5／事業報告「第13回 岩手県立博物館まつり」／事業報告「第88回地質観察会」p. 6／事業報告「令和6年度岩手県文化遺産防災訓練」／事業報告「ミュージアムドラマ」p. 7／インフォメーション p. 8

b. 令和6年度岩手県立博物館年報

令和7年6月3日発行（A4判相当PDF版、97頁、ホームページ掲載）

c. 行事案内リーフレット

令和6年度下半期分（B4変形・巻四ツ折、20,000部、令和6年9月発行）

令和7年度年間予定（B4変形・巻四ツ折、20,000部、令和7年4月発行）

d. いわはく子ども新聞

令和6年7月発行（A4・55,000部）

令和6年12月発行（A4・55,000部）

*令和2年度より全県の小学生を対象に配付している。

(イ) 広報活動

a. 当館独自の広報

①定期発行

博物館だより（年４回、全国の公共施設等へ配布、3,000部）

イベントガイド（毎月、市内公共施設及び松園・黒石野・緑が丘地区町内会配布、2,000部）

※その他、PDF版を県教育事務所、県内市町村教育委員会、県内小学校・中学校・支援学校、私立高等学校等へ送信

行事案内リーフレット（年２回、公共施設および観光施設等へ配布、20,000部）

いわはく子ども新聞（年２回〔夏・冬号〕、全県の小学校等へ配布、55,000部）

②不定期発行

展覧会等、各事業ちらし（随時）

b. その他の公所

日本博物館協会、全国科学博物館協議会、県庁広聴広報課、教育記者クラブ、県政記者クラブ、県観光協会、盛岡観光コンベンション協会

c. 新聞各社への情報提供

胆江日日新聞、東海新報、岩手日報ぼらん、岩手日日新聞いわにちリビング、デーリー東北（青森県）、秋田魁新報（秋田県）、北鹿新聞（秋田県）等

d. ミニコミ誌等

Acute、AREAi、情報誌游悠、rakra、松園新聞、まいふれ盛岡編集部、盛岡経済新聞、岩手の子育て情報誌fam、大人のための情報誌シニアズ等

e. テレビ・ラジオによる広報

予算削減のため実績なし

f. 主な取材対応

表 5. (5)-1 主な取材対応一覧（主としてテレビ・ラジオ）

No.	取材対応日	取材相手	対応者	対応案件	番組名・掲載媒体	放送・掲載日
1	4月10日	NHK 仙台放送局	工藤 健	テーマ展「ラグビーといわて」	もりすた！NHK ラジオ	4月12日
2	4月16日	岩手日報	戸根 貴之	かりうちについて （トピック展 遊ぶ）	岩手日報ジュニア ウィークリー	4月23日
3	4月20日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	4月20日
4	4月26日	IBC 岩手放送	渡辺 修二	昆虫食について	ニュースエコー	5月1日
5	6月4日	岩手日報	望月 貴史 佐藤修一郎 米田 寛	ハナイズミモリウシ	岩手日報	6月6日
6	6月9日	岩手めんこいテレビ	高木 晃	テーマ展「ふしぎな縄文」	mit Live News	8月23日
7	6月9日	岩手めんこいテレビ	米田 寛	ハナイズミモリウシ	mit Live News	
8	6月11日	読売新聞盛岡支局	高木 晃	テーマ展「ふしぎな縄文」	読売新聞	7月3日

9	6月11日	岩手日報	高木 晃	テーマ展「ふしぎな縄文」	岩手日報	6月18日
10	6月13日	岩手日報	佐藤修一郎	気仙隕石について	岩手日報	6月27日
11	6月19日	読売新聞盛岡支局	渡辺 修二	収蔵庫状況の取材	読売新聞岩手版	8月11日
12	6月22日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	6月22日
13	6月27日 ～28日	NHK エンタープライズ	高橋 雅雄	ウズラ野外取材	ダーウィンが来た！「そうだったのか！ウズラ&トンボに新事実」	2月23日
14	7月10日	共同通信	高木 晃	テーマ展「ふしぎな縄文」	毎日・秋田魁	7月23日
15	7月20日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	7月20日
16	7月22日 ～24日	NHK エンタープライズ	高橋 雅雄	チゴハヤブサ野外取材	ダーウィンが来た！	未定
17	7月23日	岩手経済新聞	高木 晃	テーマ展「ふしぎな縄文」	もりおか経済新聞 web ニュース	7月23日
18	7月30日	NHK Eテレ	高橋 雅雄	田中一村が描いた鳥	日曜美術館「奄美への道標 画家・田中一村」	10月27日
19	8月31日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	8月31日
20	9月24日	NHK 盛岡放送局	工藤 健	アイオン台風の被害に関する資料について	おはよういわて おぼんですいわて	9月26日
21	9月25日	NHK 盛岡放送局	工藤 健 川向富貴子 高橋 雅雄 望月 貴史 村田 雄哉	学芸員の仕事を紹介	Iwateen「いぎなりインターン ～博物館の学芸員～」 おぼんですいわて	10月5日 10月8日
22	9月28日	岩手めんこいテレビ	高橋 雅雄	企画展「捕食者の猷立」	夕方の県内ニュース	11月30日
23	10月1日	岩手日報	高橋 雅雄	企画展「捕食者の猷立」	岩手日報	10月11日
24	10月2日	NHK 盛岡放送局	高橋 雅雄	企画展「捕食者の猷立」	夕方の県内ニュース	10月2日
25	10月3日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	企画展「捕食者の猷立」	わが町バンザイ 盛岡市松園編	10月23日
26	10月5日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	10月5日
27	10月18日	ラジオもりおか	高橋 雅雄	企画展「捕食者の猷立」	盛岡経済新聞	10月21日
28	10月22日	NHK 盛岡放送局	鈴木まほろ	珊瑚島の植物調査	おぼんですいわて	10月22日
29	10月26日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	10月26日
30	11月1日	河北新報	高橋 雅雄	企画展「捕食者の猷立」	河北新報社	11月4日
31	11月2日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	11月2日

32	11月8日	NHK 盛岡放送局	高木 晃	収蔵庫状況の取材	おぼんですいわて 朝のニュース東北 地方	11月28日
33	11月23日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	11月23日
34	11月26日	デーリー東北 五戸 支局	村田 雄哉	テーマ展「辿る～岩手の囲 碁将棋」	デーリー東北	2月14日
35	12月1日	テレビ岩手	高木 晃 大銚地駿佑	体験教室の取材	夕方の県内ニュー ス	12月1日
36	12月10日	岩手日報	高木 晃	収蔵庫状況の取材	岩手日報「論説」	12月15日
37	12月14日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	12月14日
38	12月15日	岩手朝日テレビ	解説員 川向富貴子	体験教室の取材	夕方の県内ニュー ス	12月15日
39	12月19日	岩手日報	高木 晃	トピック展「岩洞湖畔の遺 跡群」	岩手日報	1月15日
40	1月4日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	1月4日
41	1月9日	IBC 岩手放送	村田 雄哉	テーマ展「辿る～岩手の囲 碁将棋」	IBC/TBSNewsDig	1月11日
42	1月10日	岩手日報	米田 寛	ハナイズミモリウシ	岩手日報	1月15日
43	1月10日	岩手日報	村田 雄哉	テーマ展「辿る～岩手の囲 碁将棋」	岩手日報	1月22日
44	1月15日	朝日新聞	戸根 貴之	小正月行事（来訪神）につ いて	朝日新聞岩手版	1月17日
45	1月16日	NHK 仙台放送局	村田 雄哉	テーマ展「辿る～岩手の囲 碁将棋」	もりすた！	1月17日
46	1月19日	河北新報社	村田 雄哉	テーマ展「辿る～岩手の囲 碁将棋」	河北新報社	1月25日
47	1月30日	ラジオもりおか	村田 雄哉	テーマ展「辿る～岩手の囲 碁将棋」	もりおか経済新聞 web ニュース	1月31日
48	2月1日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	2月1日
49	3月1日	IBC 岩手放送	高橋 雅雄	鳥博士の空飛ぶラジオ	IBC ラジオ	3月1日
50	3月12日	岩手めんこいテレビ	大銚地駿佑 高橋 雅雄	鷹・鷹狩・鷹匠小路・餌差 小路について	mit Live News	令和7年 4月18日

(ウ) 博物館ホームページ及び SNS の運営

岩手県立博物館公式ホームページ <https://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

公式ホームページは、平成13年3月1日に正式公開された。平成24年度末に委託製作によりデザインを刷新し、またウェブサーバの cgi プログラムを介して内容を更新できるシステムを導入することにより、更新頻度を高めた。令和6年度のトップページの閲覧回数は106,944回だった。

I. B. Museum SaaS を利用した当館収蔵資料の公開システム「デジタルアーカイブ」への令和6年度のアクセス実績は 52,977 回だった。

SNS の利用としては、開館 30 周年を機に平成 22 年 9 月 30 日から Twitter（現 X）のアカウントを運用している。令和 6 年度内のポスト回数は 357 回であった。令和 6 年度末時点の X アカウントのフォロワー数は 7,192 人と、前年度に比べて約 6.5% 増加した。

イ. 情報機器の管理

令和 6 年度は職員個人貸与のノートパソコン 22 台を更新した。3 月には総合展示室といわて自然史展示室の Free Wi-Fi 設備の更新作業を行った。

ウ. 委員会等職員派遣

県や市町村等の依頼に応じて学芸員を派遣している。令和 6 年度の派遣回数は 71 回であった。

表 5. (5)-2 委員会等職員派遣

No.	月 日	委嘱元	委員会等名称	内 容	派遣職員
1	4 月 10 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
2	4 月 12 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
3	4 月 17 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
4	4 月 19 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
5	4 月 24 日	大船渡農林振興センター	大船渡地区希少野生動植物調査検討協議会	希少植物調査	鈴木まほろ
6	5 月 15 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
7	5 月 22 日	大船渡市教育委員会	大船渡市文化財調査委員会	同左	近藤 良子
8	5 月 22 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
9	5 月 23 日	岩手県環境生活部環境保全課	第 107 回県環境影響評価技術審査会	同左	鈴木まほろ
10	5 月 27 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
11	5 月 28 日	滝沢市教育委員会	文化財調査委員会	現地調査	渡辺 修二
12	5 月 29 日	岩手県企業局	希少野生動植物調査	現地調査	渡辺 修二
13	5 月 30 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
14	5 月 30 日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市環境審議会	令和 6 年度第 1 回盛岡市環境審議会自然・歴史環境部会	高橋 雅雄
15	6 月 5 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二

16	6月6日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
17	6月6日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	高橋 雅雄
18	6月6日	岩手県教育委員会	教育振興運動・地域学校協働活動市町村担当者研修会	同左(web)	戸根 貴之
19	6月7日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
20	6月7日	岩手県教育委員会	盛岡教育事務所管内地域とともにある学校づくり推進フォーラム	現地視察	戸根 貴之
21	6月12日	滝沢市教育委員会	文化財調査委員会	調査委員会議	渡辺 修二
22	6月14日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
23	6月15日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	渡辺 修二
24	6月18日	北上土木センター	北上地区公共事業等に係る野生動植物保護検討会	同左	鈴木まほろ
25	6月19日	岩手県環境生活企画室	第55回岩手県環境審議会	同左	鈴木まほろ
26	6月20日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
	6月21日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
27	6月26日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	渡辺 修二
	6月27日	滝沢市教育委員会	文化財調査委員会	現地調査	渡辺 修二
28	7月4日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
29	7月5日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
30	7月6日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	渡辺 修二
31	7月9日	滝沢市教育委員会	文化財調査委員会	現地調査	渡辺 修二
32	7月12日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	現地調査	渡辺 修二
33	7月12日	岩手県農林水産部水産振興課	岩手県カワウ等被害防止対策協議会	令和6年度岩手県カワウ等被害防止対策協議会	高橋 雅雄
34	7月16日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	渡辺 修二
35	7月19日	住田町教育委員会	国指定史跡栗木鉄山跡保存活用計画等策定委員会	現地視察、保存活用計画内容協議	丸山 浩治
36	7月22日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	渡辺 修二
37	7月25日	釜石市教育委員会	釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	今年度事業内容協議	丸山 浩治
38	8月21日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	渡辺 修二
40	9月11日	大船渡保健福祉環境センター	大船渡地区公共事業等に係る希少野生動植物調査検討協議会	同左	鈴木まほろ
41	9月20日	岩手県環境生活部自然保護課	岩手県環境審議会自然・鳥獣部会	同左	鈴木まほろ
	9月29日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	渡辺 修二
42	10月1日	大船渡農林振興センターおよび土木センター	大船渡地区希少野生動植物調査検討協議会	希少植物調査	鈴木まほろ

43	10月29日	岩手県環境生活部自然保護課	いわてレッドデータブック改訂検討協議会	同左	鈴木まほろ 渡辺 修二
44	10月30日	環境省東北地方環境事務所野生生物課	東北カワウ広域協議会	令和6年度 東北カワウ広域協議会	高橋 雅雄
45	11月13日	東北農政局和賀中央農業水利事業所	和賀地区環境配慮委員会	同左	渡辺 修二
46	11月22日	青森県環境エネルギー部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	同左	高橋 雅雄
47	12月3日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	同左	鈴木まほろ
48	12月12日	岩手県高等学校教育研究会理科部会	研究発表会審査	高等学校生徒による理科研究発表の審査	渡辺 修二
49	1月14日	岩手県教育委員会	教育振興運動60周年記念大会	同左	戸根 貴之
50	1月22日	岩手県環境生活部環境保全課	第108回県環境影響評価技術審査会	同左	鈴木まほろ
	1月23日	盛岡市教育委員会	盛岡市先人記念館協議会	同左	工藤 健
51	1月24日	盛岡広域振興局	木賊川希少野生動植物検討会	同左	渡辺 修二
52	1月30日	青森県環境エネルギー部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	青森県環境影響評価審査会に係る意見交換会	高橋 雅雄
53	1月30日	岩手県環境生活部自然保護課	早池峰地域保全対策事業推進協議会シカ対策部会	同左	鈴木まほろ
54	2月5日	盛岡市都市整備部公園みどり課	高松公園環境保全評価会議	令和6年度高松公園環境保全評価会議	高橋 雅雄
55	2月5日	岩手県環境生活部自然保護課	県希少野生動植物保護検討協議会	同左	鈴木まほろ
56	2月5日	林野庁東北森林管理局	早池峰山周辺地域ニホンジカ生息状況等調査検討委員会	同左	鈴木まほろ
57	2月6日	岩手県環境生活企画室	第56回岩手県環境審議会	同左	鈴木まほろ
58	2月13日	青森県農林水産部水産局水産振興課	青森県カワウ対策協議会	令和6年度青森県カワウ対策協議会	高橋 雅雄
59	2月19日	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	北上地区公共事業等に係る希少野生動植物等保護検討委員会	令和6年度北上地区公共事業等に係る希少野生動植物等保護検討委員会(2月期)	高橋 雅雄 鈴木まほろ
60	2月19日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	同左	鈴木まほろ
61	2月19日	岩手県教育委員会	教育振興運動幹事会	同左	戸根 貴之
62	2月26日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	高橋 雅雄
63	2月26日	大船渡保健福祉環境センター	大船渡地区公共事業等に係る希少野生動植物調査検討協議会	同左	鈴木まほろ
64	2月28日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会	調査検討会	渡辺 修二
65	3月2日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査	現地調査	高橋 雅雄
66	3月7日	盛岡市教育委員会	盛岡市子ども科学館協議会	同左	高木 晃
67	3月7日	岩手県教育委員会	津波石碑調査に関する検討会議	今年度調査内容協議	目時 和哉
68	3月14日	岩手県環境生活部環境保全課	県環境影響評価技術審査会	現地視察	鈴木まほろ

69	3月21日	青森県環境エネルギー部 環境保全課	青森県環境影響評価審査会	同左	高橋 雅雄
70	3月21日	岩手県環境生活部環境保 全課	第109回県環境影響評価技術審査会	同左	鈴木まほろ
71	3月27日	滝沢市教育委員会	文化財調査委員会	調査委員会議	渡辺 修二

エ. 外部助成

今年度3件の助成を受けた。うち河北潟研究奨励助成は令和5年度からの継続である。

表 5. (5)-3 令和6年度外部助成金採択状況

氏名	部門	関連事業・研究テーマ名等	助成の名称	金額	申請先
高橋 雅雄	生物	湿性草原棲鳥類の河北潟周辺での越冬状況の解明	2023年度河北潟研究奨励助成	10万円	NPO法人河北潟湖沼研究所
鈴木まほろ	生物	ゲノム情報と正確な同定にもとづく維管束植物の統合データベース構築と多様性指標・保全優先度の地図化技術の開発	環境研究総合推進費	機関配分額 45万円	独立行政法人環境再生保全機構
高橋 雅雄	生物	屋久島における湿性草原棲絶滅危惧鳥類の越冬状況の把握	令和6年度屋久島研究調査活動奨励事業	10万円	公益財団法人屋久島環境文化財団

オ. 連携協定

三陸地域の活性化と持続的な発展に寄与することを目的とし、三陸ジオパーク推進協議会と連携協力していく事業を推進するための協定を締結した(令和4年12月15日、宮古市イーストピアみやこ)。

連携・協力事業は次のとおりである。

- (ア) 三陸の地域社会のつながりに関する文化・歴史の学術研究(取組)に関すること
- (イ) 三陸地域の生物に関する学術研究(取組)に関すること
- (ウ) 三陸地域の地形・地質等地球化学分野の学術研究(取組)に関すること
- (エ) その他、教育、情報発信など本協定の目的に沿うと認められる事業

表 5. (5)-4 令和6年度連携協定実績

部門	月 日	場 所	事 業 名	内 容	対応者
生物 地質	5月23日	(オンライン)	学術アドバイザー会議	同左	渡辺 修二 望月 貴史
考古 生物	7月9日	岩手県立博物館	学術アドバイザー会議	同左	金子 昭彦 鈴木まほろ
生物	7月21日	大船渡市三陸町	自然観察会	大窪山の虫たちをさがそう	生物部門
地質	7月24日	宮古市民総合体育館	認定ガイド認定講座	三陸のなりたち	望月 貴史
生物	8月28日	久慈市文化会館	認定ガイド認定講座	三陸の植生と植物相	鈴木まほろ
地質	9月24日	(オンライン)	学術アドバイザー会議	同左(地形・地質分野)	望月 貴史
全	3月18日	(書面)	新規サイト登録(五葉山)	学術アドバイザーからの意見聴取	地質・生物・考古部門

6. 被災文化財等再生活動

(1) はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発災した東日本大震災によって、東日本太平洋沿岸部に在った膨大な数の文化財、自然史標本、その関連資料等が被災した。当館ではこの未曾有の大規模自然災害発生を受け、同年 4 月 2 日以降、岩手県太平洋沿岸部で被災した様々な資料の救出とその再生に取り組んできた。救出された資料は概ね 50 万点にのぼり、その約 46 万点は本県内で最も被害の大きかった陸前高田市の所管資料である。

当館に搬入された被災資料のうち、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市の 5 市町の資料については令和元年度末で措置を完了した。しかし、令和 6 年度末現在、陸前高田市所管資料はおよそ 15%が安定化処理未了の状態であり、その処理を現在も進めている。

(2) これまでと現在

救出された資料を再生するには、津波によってもたらされた砂や泥、その後に発生したカビや塩分など、目視では確認困難な資料劣化誘因物質を除去し、資料を長期にわたり安定した状態で保管できる状態にする安定化処理が不可欠である。そこで当館では、全国の博物館、大学、文化財科学の研究者等と連携しながら試行錯誤を重ね、その安定化処理方法の構築に努めてきた。

平成 27 年までの安定化処理は除泥と脱塩、除菌を目的とした内容であったが、処理を終えて経過観察していた紙製資料と民俗資料の一部に異臭や変色等の異常が確認された。その原因と対処法を東京文化財研究所の指導の下で共同調査・検討した結果、ヘドロ由来のタンパク質や脂質が微生物の繁殖に起因している可能性が指摘され、この改善策として新たに医療用中性洗剤を用いたタンパク質や脂質の洗浄・除去工程を平成 28 年度より加えることとなった。これ以降、同様の異常発生は確認されていない。しかし、中性洗剤の使用はその残留を防ぐための十分なすすぎ工程が不可欠であり、場合によっては資料に負担をかけることに繋がる。よって、中性洗剤の使用量は極力少ないほうがよい。紙製資料について、同工程導入当初は中性洗剤濃度 0.5%を基本としてきたが、令和元年度末に再度の共同調査を行い、令和 2 年度からは 0.3%に減じて洗浄作業を実施している。これによる不具合は現在までのところ確認されていない。



図 6. (2)-1 安定化処理前の状態確認



図 6. (2)-2 安定化処理（脱塩）



図 6. (2)-3 乾燥後のしわ伸ばし



図 6. (2)-4 処理後の写真撮影

また、民俗資料（染織品）は当該研究の専門機関である女子美術大学の指導の下、令和 2 年度および同 4 年度に続き安定化処理業務を実施した。解体が必要な資料の場合、安定化処理以外の工程は基本的に女子美術大学が実施するため、資料の状態や作業情報の共有など、連携して業務にあたった。



図 6. (2)-5 織密度計測、繊維種同定



図 6. (2)-6 安定化処理（洗浄）

令和 6 年度に当館で実施した安定化処理及び修理は、表 6. (2)-1 に示すとおりである。

表 6. (2)-1 令和 6 年度の安定化処理及び修理の実施状況

	件名	件数
1	被災紙製資料安定化処理及び修理業務	1
2	被災鳥羽源藏コレクション安定化処理及び修理業務	1
3	被災自然史関連資料修理業務	1
4	被災民俗資料安定化処理業務	1

（３）今後の課題

発災から 14 年が経過した現在も、陸前高田市の津波被災資料は未処理のものが 8 万点弱残されている。また、安定化処理を施した資料であっても、津波で被災した資料の再生は国際的に未経験であ

るため、保管の過程で状態に変化が生じないかどうかを当分の間注意深く経過観察する必要がある。課題は依然として多く、被災文化財等の再生活動には今後も長期的な対応が求められる。

一方で、東日本大震災以降も台風や集中豪雨、地震などの大規模災害が全国各地で発生しており、これらによる文化財等の水損被害が後を絶たない。

当館では、これまで被災資料再生に従事してきた専門機関との連携を今後も図りつつ、残された資料の再生を進めるとともに、今後も起こり得る大規模自然災害に対する備えの啓発と二次レスキューへの協力、被災資料を安全に処理しうる汎用的な方法の構築にさらに取り組んでいきたいと考えている。皆様には引き続き御支援をお願いしたい。

7 三陸希望遺産デジタル・アーカイブ構築プロジェクトについて

(1) はじめに

岩手県立博物館では、平成 26 年より、東日本大震災被災地における被災した博物館・文化財等の再生に向けた取組を支援するとともに、その過程で得られた被災文化財等再生のノウハウを、国内外と広く共有することを目的として「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト」（通称「大津波プロジェクト」）を立ち上げ、文化庁による助成金も活用しながら、全国各地での展覧会やワークショップ等の活動を継続してきた。

令和 4 年度から同 5 年度にかけては、文化庁によって新たに用意された Innovate MUSEUM 事業の助成を受け、約 10 年にわたる「大津波プロジェクト」の取組を発展的に継承して、東日本大震災を経験した東北から国内の博物館・文化財等防災力の底上げをはかることを目的とした「東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト」を企画・実施した。

さらに令和 6 年度には、引き続き文化庁 Innovate MUSEUM 事業の助成を受けつつ、社会的な要請である DX 化に取り組む中で、東日本大震災以来懸案とされてきた広域的・横断的な資料情報の共有、資料保全と活用の両立、博物館を核とした地域活性化といった諸課題の解決をはかる新たな事業、「三陸希望遺産デジタル・アーカイブ構築プロジェクト」を立ち上げ、当館が実行委員会の中核館を担うこととなった。

本章では令和 6 年度における当該プロジェクトの事業成果の概略について、以下に報告する。

(2) 事業別成果報告

ア. デジタル・アーカイブ構築活動

(ア) デジタルデータ作成

岩手県立博物館、大船渡市立博物館、久慈琥珀博物館、宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム、陸前高田市立博物館、早稲田大学国際学術院国際教養学部平山廉研究室の計 6 機関が分有する三陸産古生物標本の中から、タイプ標本や示準化石を中心に精選した 112 件、178 点について、2D 撮像と 3D データ作成を行った。次項に示すデジタル・アーカイブの構築のみならず、ビューワーを用いた標本の随意観察、容易な簡易レプリカの出力といった活用や資料情報の保全にも資することができた。



図 7. (2)-1 作成した 3D データ例

(イ) デジタル・アーカイブ構築

デジタルデータを作成した全 112 件の標本を搭載したデジタル・アーカイブを構築し、公開を開始した。今後、資料のデジタル化の進展に伴い、資料を追加搭載できる仕様としたほか、今後は画像やファイルの掲示も可能なお知らせ機能を活用し、コンテンツについて理解を深めるワークシートの PDF データを掲載することで、様々な利用者が能動的に閲覧できるアーカイブとして整備を進めることを予定している。



図 7. (2)-2 デジタル・アーカイブ中、個別資料解説画面例

デジタル・アーカイブ URL : <https://iwapmus.jp/sanrikuda/>

イ. デジタルデータ活用活動

(ア) 地域活性化イベント

令和 6 年 10 月 12 日～13 日および 11 月 3 日～4 日の 4 日間にわたり、中核館が所在する岩手県盛岡市松園地区を舞台に、作成したデジタルデータを活用した地域活性化イベントを開催した。

10 月 12 日～13 日はプレイベントとして中核館敷地内に、本実施となる 11 月 3 日～4 日は松園地区に所在する公共施設や店舗などにデジタルデータを出力した簡易レプリカを配置し、参加者は地図を頼りにレプリカを探しつつ、用意されたワークシートに挑戦するという趣向のものであり、計 1,000 名を超える参加者から満足度（アンケートで「満足」「やや満足」と回答した方の割合）100%という極めて高い評価を得ることができた。本プロジェクトが主題としている古生物（化石）というコンテンツの訴求力を改めて実感するところとなった。

また、参加者のみならず、実施に当たり協力をいただいた自治会、施設、店舗等からも次年度以降の継続実施を望む声が多く寄せられており、今後地域に開かれた博物館づくりの一層の進展が期待される。

【参加者の感想】

- ・ はじめて松園を歩きましたが、自然もゆたかで、こんなところがあったんだと新しい発見になりました。今度またゆっくり公園やお店を回ってみたいです。
- ・ 子どもたちが本当に恐竜や化石が大好きで大興奮でした。こうしたイベントをぜひ続けてほしいです。



図 7. (2)-3 まち歩きイベントにおけるレプリカ配置例



図 7. (2)-4 古生物標本レプリカに親しむ参加者の様子

(イ) 貸し出し用パッケージの整備

イベントで使用した簡易レプリカ・解説パネル・ワークシートを基に、実施の過程で指摘のあった点（未就学児には理解しづらい表現など）を加味しつつ、レプリカ・パネル各 15 点とワークシートデータからなる貸し出し用パッケージを整備した。

今後このパッケージは営利や公序良俗に反する趣旨のものでない限り、基本的に求めに応じて無償で貸与することとしており、地域や学校行事、三陸ジオパークのイベントなどでの活用が期待される。



図 7. (2)-5 貸し出し用レプリカ・パネル例

ウ. ノウハウの共有に関する活動

(ア) 研修会の開催

①日本博物館協会東北支部総会と連動した学芸員向け研修会

令和 6 年 10 月 25 日、博物館等職員を対象にデジタルデータの活用に関するノウハウ共有を目的とする研修会を実施した。いわてデジタルエンジニア育成センターから講師をお招きし、スマートフォンやタブレットで利用できる無料アプリを用いた簡便な 3D データ作成法や、3D プリンタの使用方法・機種毎の特性について実際の作業を織り交ぜつつ解説いただいた。日本博物館協会東北支部総会関連行事の一つとして開催し、岩手県内外から約 40 名の参加を得た。

②内製化に向けた実行委員会構成機関職員向け研修会

令和 6 年 11 月 27 日、将来的な内製化を見据え、専門的な機材・ソフトを用いた 3D データ作成法について、実行委員会構成機関職員内でノウハウを共有するための研修会を実施した。使用可能な機材に限りがあるため、実習参加者は各構成機関職員 1 名程度に限定せざるを得なかったが、マニュアルを用意することで当日不参加だった構成機関職員にもノウハウの共有をはかった。

【参加者の感想】

- ・無料アプリでここまでできるとは！さっそく活用してみます。(①参加者)
- ・機材、ソフトの用意や時間の確保などハードルは低くないが、自前でデジタル化をするためには何が必要かが分かっただけでも一歩前進できたように感じる。(②参加者)



図 7. (2)-6 学芸員向け研修会の模様



図 7. (2)-7 無料アプリで作成した 3D データ例

（イ）教育普及事業の実施

本事業を通して作成したデジタルデータを活用した学校向け教育普及活動を、県立高校・同特別支援学校を対象に行った（計3回実施、116名参加）。授業は実施校の授業担当者と中核館学芸員がチーム・ティーチングで行い、簡易レプリカや3Dデータを教材として使用するのみならず、博物館資料を3Dデータ化する意義や方法についても周知する機会とした。部活動を通じた博物館資料デジタル化への参画、ノーマライゼーションのツールとしての洗練などを目指し、中～長期的連携に向けた協議を進めている。



図7. (2)-8 県立高校における授業の様相

（3）今後の展望

新たなデジタル・アーカイブの構築と公開を果たせたことは勿論であるが、これまでさほど踏み込んで取り扱う機会を得られなかった、資料の3Dデータ作成や、3Dプリンタによる簡易レプリカ制作のノウハウについて他館と共有しながら獲得できたことは、当館にとって大きな財産であった。

折しも一年間の事業の総括を行う時期に、実行委員会構成機関の一つである大船渡市立博物館が所在する大船渡市で激甚災害級の大規模な山林火災が発生し、地域の文化遺産・自然遺産が危機に瀕した。災禍に見舞われた地域に所在する文化遺産・自然遺産の学術情報保全や地域自体の再生に、本プロジェクトの取組がどれほど貢献できるか、まさに事業の真価が問われる事態に直面している。

次年度も本プロジェクトを継続実施し、アーカイブの一層の充実をはかるとともに、大船渡市の地域再生に対し、何をどれだけでできるか、模索を試みたい。

8 能登半島地震文化財レスキューについて

令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登地方の深さ16kmを震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県の輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強から震度1を観測した。

石川県や富山県より被災した文化財等に関する救援要請が文化庁に対して提出されたことを受け、文化庁が実施する令和6年能登半島地震被災文化財等救援事業、被災建造物復旧支援事業の事業実施を独立行政法人国立文化財機構は令和6年2月9日に受託し、令和6年能登半島地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）（図8. (1)-1）と令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）について文化財防災センターを事務局として開始した。

令和6年3月28日に被災文化財等救援委員会の構成メンバーである文化遺産防災ネットワーク推進会議の参画団体に所属する日本博物館協会事務局から、4月8日（月）の週より、文化財等の救出活動（文化財レスキュー）の取組みが開始され、能登半島地震被災文化財等救援事業への参加に係る4月以降の現地に赴ける救援隊員の募集開始の連絡があった（この活動は令和7年度も継続）。当館からは日本博物館協会の一員として参画した。

現地での活動については、能登現地本部（石川県鳳珠郡能登町）を拠点に救援要請のあった施設等に向かい、救援の準備に当たる調査、救援及び一時保管場所への移動等について活動した。

当館から派遣された期間、職員、業務については表8. (1)-1 のとおりである。

図8. (1)-1 文化財レスキュー事業のスキーム（令和6年2月9日文化財防災センター報道発表から抜粋）

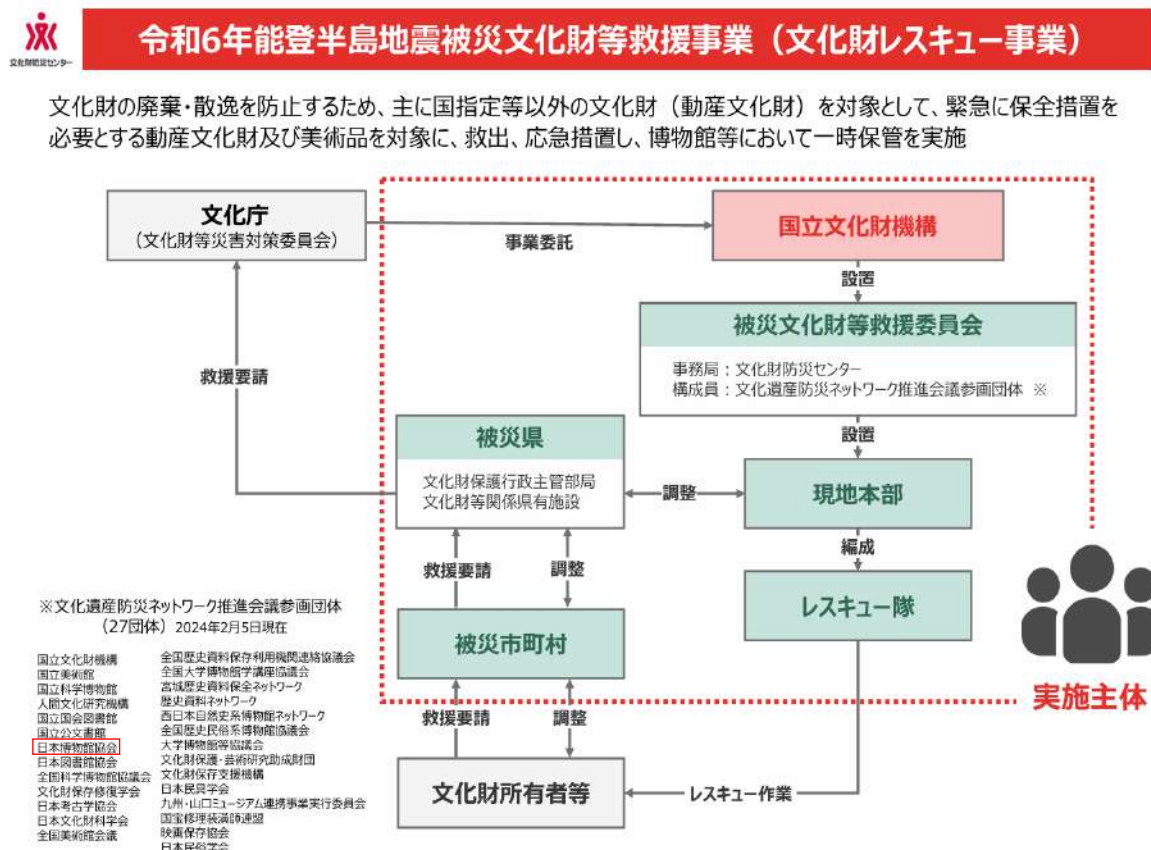


表 8. (1)-1 当館から派遣された期間、職員、業務

	派遣期間	派遣職員	業務内容
1	令和6年4月22日～26日	米田 寛	輪島市における調査・救援、一時保管場所における資料整理、七尾市における救援
2	令和6年5月13日～17日	目時 和哉	輪島市における調査、珠洲市・能登町における救援
3	令和6年6月17日～21日	戸根 貴之	珠洲市における調査、救援済資料の一時保管場所からの移動立会、七尾市における救援
4	令和6年10月28日～31日	川向富貴子	輪島市における調査・救援、能登町における調査、一時保管場所における資料と資材の整理

9 岩手県立博物館友の会

(1) 概要

例年と同様に「地質観察会」や「自然観察会」「話のサロン（講演会）」など多彩な事業を実施した。また、博物館まつりにおけるボランティア協力も行った。

平成2年設立時の会員数は1,122人であったが、平成10年の1,512人をピークとして以後は大幅に減少し、現在333人となっている。

当会は34年間の活動により、博物館の諸活動を支援し、また会員相互の交流を深めてきた。しかし会費のみによって運営される任意団体であるため、近年は会員数の減少により必要経費の確保に困難が生じていた。大幅な経費節減に加え、会費の値上げを行ったものの、諸経費の高騰には抗えず、今年度末でやむなく解散を迎えることとなった。

(2) 会員数 令和7年3月31日（現在）

令和6年度合計	179件	333人	(令和5年度	190件	346人)
一般会員	104件	104人	(令和5年度	114件	114人)
家族会員	56件	179人	(令和5年度	55件	181人)
小中高会員	0件	0人	(令和5年度	0件	0人)
終身会員	0人	22人	(令和5年度	1人	22人)
賛助会員	13件	22口	(令和5年度	13件	22口)
団体会員	6件	6人	(令和5年度	7件	7人)

(3) 主催事業

ア. 現地見学会

10月1日～2日 仙台市・陸前高田市ほか（最小催行人数に満たず中止）

イ. 野外観察会

(ア) 第87回「地質観察会」

「二戸が亜熱帯だった頃の化石と地層 ～白鳥川の門の沢動物群～」

7月7日（日） 二戸市白鳥川流域 荒天のため中止

講師 博物館研究協力員 大石雅之氏

(イ) 第87回「自然観察会」博物館行事に参加

「大窪山の虫たちをさがそう」

7月21日（日） 大船渡市大窪山森林公園 参加者13名

講師 博物館研究協力員 千葉武勝氏、博物館学芸員

(ウ) 第 88 回「自然観察会」博物館行事に参加

「捕食者を観察しよう」

10 月 20 日 (日) 盛岡市動物公園 ZOOMO 参加者 20 名

講師 盛岡市動物公園副園長、博物館学芸員

(エ) 第 88 回地質観察会 博物館行事に参加

「一関市東山町の古生界と化石」

10 月 26 日 (土) 一関市東山町 参加者 15 名

講師 博物館学芸員

ウ. 話のサロン

(ア) 第 1 回「新渡戸稲造と津田梅子」

5 月 25 日 (土) 参加者 19 名

講師 藤井 茂氏 (新渡戸基金理事長・新渡戸稲造会会長)

(イ) 第 2 回「歌人 大西民子の短歌と生涯」

2 月 15 日 (土) 参加者 21 名

講師 川村杏平氏 (もりおか民子の会代表理事)

エ. 会報発行等

(ア) 「友の会会報」発行 (A4 判 8 頁、300 部)

No.130～132 (5 月・8 月・2025 年 5 月)

(イ) 「友の会通信」発行 (A4 判 1 頁、300 部)

No.129

(ウ) 「岩手県立博物館だより」発送

年 4 回発送 (No.181～184) (6・9・12・3 の各月)

オ. 博物館事業への協力

「博物館まつり」への協力

10 月 12 日 (土)・13 日 (日) 参加者 20 名

昔のあそびコーナーの指導・運営

10 博物館利用者入館状況

開館以来の入館者数（総利用人数）

年 度	総 利 用 人 数				開館 日数	1 日平均 利用人員
	一 般	高・学生	小中学生	計		
昭 55	95,469	6,563	22,960	124,992	146	856
昭 56	145,756	10,908	50,621	207,285	298	696
昭 57	106,400	8,673	44,210	159,283	297	536
昭 58	87,531	8,903	34,405	130,839	298	439
昭 59	81,247	8,451	36,357	126,055	299	422
昭 60	78,701	10,825	36,703	126,229	297	425
昭 61	69,226	9,765	37,551	116,542	298	391
昭 62	65,570	9,500	40,731	115,801	299	387
昭 63	58,908	9,526	36,922	105,356	296	356
平 元	56,379	11,139	37,960	105,478	297	355
平 2	65,021	11,049	34,432	110,502	299	370
平 3	60,880	11,917	30,926	103,723	298	348
平 4	55,309	10,793	28,354	94,456	298	317
平 5	98,842	9,995	32,034	140,871	298	473
平 6	42,164	6,246	19,460	67,870	297	229
平 7	52,296	5,546	19,038	76,880	298	258
平 8	44,719	4,855	16,773	66,347	297	223
平 9	34,682	4,123	14,435	53,240	289	184
平 10	43,966	4,980	12,669	61,615	298	207
平 11	26,762	4,576	9,997	41,335	298	139
平 12	24,315	3,624	12,175	40,114	297	135
平 13	24,436	2,780	11,709	38,925	300	130
平 14	28,859	2,219	12,281	43,359	297	146
平 15	23,742	1,852	11,741	37,335	298	125
平 16	27,149	1,337	10,099	38,585	297	130
平 17	39,795	2,090	12,081	53,966	299	180
平 18	23,947	1,644	12,649	38,240	303	126
平 19	24,473	1,515	13,221	39,209	304	129
平 20	25,341	837	14,905	41,083	302	136
平 21	25,010	1,279	15,051	41,340	300	138
平 22	23,510	1,293	11,276	36,079	292	124
平 23	16,021	1,018	13,604	30,643	301	102
平 24	21,069	1,027	15,309	37,405	302	124
平 25	25,006	960	18,244	44,210	303	146
平 26	19,181	1,227	12,438	32,846	303	108
平 27	24,048	1,605	14,605	40,258	302	133
平 28	26,620	1,417	16,931	44,968	304	148
平 29	31,074	1,631	17,614	50,319	303	166
平 30	27,889	1,419	18,575	47,883	304	158
令 元	27,743	1,399	18,097	47,239	303	156
令 2	12,384	1,014	9,101	22,499	291	77
令 3	16,292	1,091	10,909	28,292	282	100
令 4	18,868	1,110	11,639	31,617	302	105
令 5	44,829	1,047	29,320	75,196	306	246
令 6	22,088	1,344	9,989	33,421	302	110
総 計	1,993,517	206,112	950,101	3,149,730	13,292	-
平 均	44,300	4,580	21,113	69,994	295	237

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4/25から5/6まで臨時休館
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で8/16から9/17まで臨時休館

令和6年度月別入館者数

区 分 月	総 利 用 人 数				開館日数	1 日平均 利用人員
	一 般	高・学生	小中学生	計		
4	1,243	49	383	1,675	25	67.0
5	1,765	85	624	2,474	27	91.6
6	1,637	65	515	2,217	26	85.3
7	2,019	76	709	2,804	27	103.9
8	3,098	316	1,490	4,904	29	169.1
9	1,087	68	879	2,034	17	119.6
10	2,965	99	1,631	4,695	27	173.9
11	3,375	137	1,385	4,897	26	188.3
12	1,137	91	529	1,757	24	73.2
1	992	95	595	1,682	24	70.1
2	1,382	140	609	2,131	24	88.8
3	1,388	123	640	2,151	26	82.7
計	22,088	1,344	9,989	33,421	302	110.7

開館以来の入館者数（利用区分別）

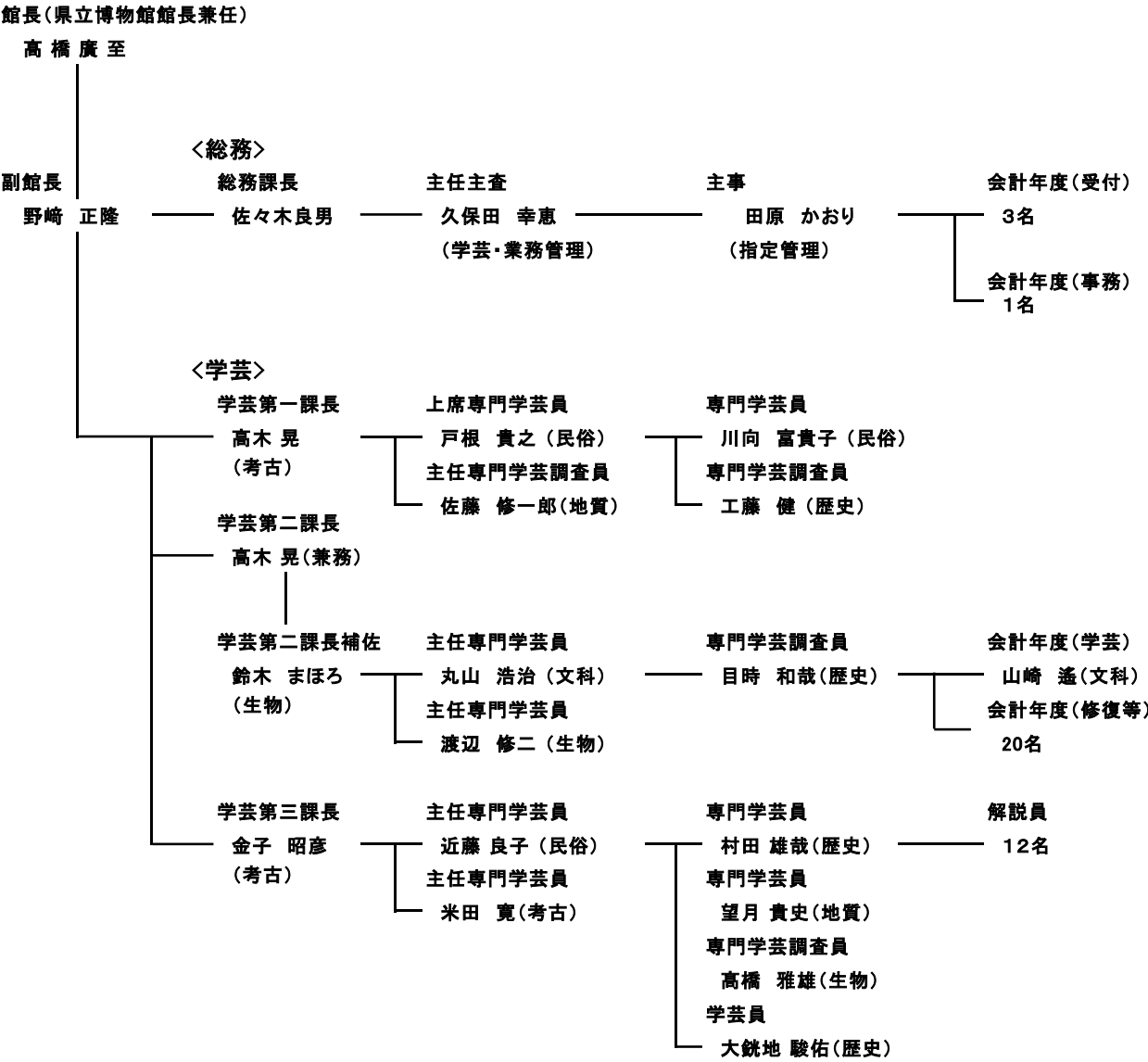
区分 年度	個 人 利 用				団 体 利 用				免 除 利 用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
昭55	69,259	4,275	16,657	90,191	24,506	465	2,036	27,007	1,704	1,823	4,267	7,794
昭56	87,659	5,233	21,762	114,654	54,724	637	4,458	59,819	3,373	5,038	24,401	32,812
昭57	66,727	3,275	16,722	86,724	35,538	648	3,498	39,684	4,135	4,750	23,990	32,875
昭58	51,058	2,348	11,723	65,129	33,072	775	2,743	36,590	3,401	5,780	19,939	29,120
昭59	48,286	2,195	11,338	61,819	28,982	635	2,378	31,995	3,979	5,621	22,641	32,241
昭60	46,054	2,137	10,007	58,198	29,308	411	2,104	31,823	3,339	8,277	24,592	36,208
昭61	39,516	1,911	8,830	50,257	25,888	445	2,010	28,343	3,822	7,409	26,711	37,942
昭62	39,761	1,803	8,647	50,211	22,645	339	1,860	24,844	3,164	7,358	30,224	40,746
昭63	37,362	1,910	8,018	47,290	18,817	551	2,155	21,523	2,729	7,065	26,749	36,543
平元	34,617	1,866	7,386	43,869	18,465	208	1,224	19,897	3,297	9,065	29,350	41,712
平2	38,272	2,034	8,334	48,640	21,014	827	1,046	22,887	5,735	8,188	25,052	38,975
平3	35,073	1,851	6,993	43,917	18,810	1,026	2,031	21,867	6,997	9,040	21,902	37,939
平4	33,581	1,743	6,735	42,059	15,239	1,423	1,190	17,852	6,489	7,627	20,429	34,545
平5	36,726	2,018	8,406	47,150	10,300	844	1,197	12,341	51,816	7,133	22,431	81,380
平6	26,121	1,415	5,588	33,124	9,112	755	673	10,540	6,931	4,076	13,199	24,206
平7	30,654	1,768	5,980	38,402	9,193	947	610	10,750	12,449	2,831	12,448	27,728
平8	25,328	1,464	4,674	31,466	7,597	559	593	8,749	11,794	2,832	11,506	26,132
平9	21,204	1,463	4,277	26,944	4,955	314	483	5,752	8,523	2,346	9,675	20,544
平10	20,459	1,211	4,189	25,859	6,477	749	276	7,502	17,030	3,020	8,204	28,254
平11	15,532	928	4,055	20,515	4,808	207	292	5,307	6,422	3,441	5,650	15,513
平12	14,262	1,149	4,564	19,975	4,174	299	184	4,657	5,879	2,176	7,427	15,482
平13	12,301	833	3,548	16,682	6,491	42	213	6,746	5,644	1,905	7,948	15,497
平14	18,160	1,012	6,704	25,876	4,147	208	362	4,717	6,552	999	5,215	12,766
平15	13,957	676	5,335	19,968	2,660	60	348	3,068	7,125	1,116	6,058	14,299
平16	13,897	661	4,033	18,591	3,850	138	363	4,351	9,402	538	5,703	15,643
平17	26,603	1,164	6,935	34,702	3,417	128	218	3,763	9,775	798	4,928	15,501
平18	14,019	666	7,102	21,787	1,479	298	335	2,112	8,449	680	5,212	14,341
平19	14,436	622	7,226	22,284	1,739	119	381	2,239	8,298	774	5,614	14,686
平20	14,361	512	6,975	21,848	1,822	71	320	2,213	9,158	254	7,610	17,022
平21	12,914	547	7,055	20,516	1,516	82	374	1,972	10,580	650	7,622	18,852

区分 年度	個 人 利 用				団 体 利 用				免 除 利 用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
平 22	14,016	634	6,448	21,098	1,536	443	286	2,265	7,958	216	4,542	12,716
平 23	8,833	374	6,135	15,342	830	110	806	1,746	6,358	534	6,663	13,555
平 24	12,603	458	7,437	20,498	1,084	251	521	1,856	7,382	318	7,351	15,051
平 25	14,799	532	9,106	24,437	1,169	230	638	2,037	9,038	198	8,500	17,736
平 26	10,928	538	6,218	17,684	861	247	104	1,212	7,392	442	6,116	13,950
平 27	15,213	716	8,190	24,119	880	130	228	1,238	7,955	759	6,187	14,901
平 28	17,703	687	10,974	29,364	967	192	128	1,287	7,950	538	5,829	14,317
平 29	20,101	945	10,266	31,312	1213	281	333	1,827	9,760	405	7,015	17,180
平 30	18,504	685	11,867	31,056	696	98	244	1,038	8,689	636	6,464	15,789
令元	17,592	805	10,244	28,641	578	29	157	764	9,573	565	7,696	17,834
令 2	9,091	522	5,844	15,457	116	116	161	393	3,177	376	3,096	6,649
令 3	11,975	679	7,408	20,062	176	42	16	234	4,141	370	3,485	7,996
令 4	14,100	884	8,363	23,347	201	24	131	356	4,567	202	3,145	7,914
令 5	37,305	730	24,315	62,350	628	13	137	778	6,896	304	4,868	12,068
令 6	15,824	1,011	6,628	23,463	406	4	169	579	5,858	329	3,192	9,379
総計	1,196,746	60,890	379,241	1,636,877	442,086	16,420	40,014	498,520	354,685	128,802	530,846	1,014,333
平均	26,594	1,353	8,428	36,375	9,824	365	889	11,078	7,882	2,862	11,797	22,541

令和6年度月別入館者数（利用区分別）

区分 月	個 人 利 用				団 体 利 用				免 除 利 用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
4	923	43	329	1,295	30	0	0	30	290	6	54	350
5	1,313	68	460	1,841	0	0	0	0	452	17	164	633
6	1,152	52	349	1,553	47	0	37	84	438	13	129	580
7	1,532	73	613	2,218	49	0	0	49	438	3	96	537
8	2,510	197	1,225	3,932	35	4	76	115	553	115	189	857
9	888	66	350	1,304	4	0	0	4	195	2	529	726
10	2,043	97	803	2,943	119	0	24	143	803	2	804	1,609
11	1,949	104	694	2,747	83	0	0	83	1,343	33	691	2,067
12	767	78	378	1,223	35	0	0	35	335	13	151	499
1	733	50	394	1,177	4	0	32	36	255	45	169	469
2	923	76	449	1,448	0	0	0	0	459	64	160	683
3	1,091	107	584	1,782	0	0	0	0	297	16	56	369
計	15,824	1,011	6,628	23,463	406	4	169	579	5,858	329	3,192	9,379

1 1 令和6年度公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織



学芸部門職員の部門別人員

地 質	考 古	歴 史(古美術)	民 俗	生 物	文化財科学	計
2人	3人	4(1)人	3人	3人	2人	17(1)人

1 2 岩手県立博物館使命書

(平成 20 年 3 月 25 日制定)

私たち岩手県立博物館は、岩手県が誇る豊かな自然史及び文化史に関する資料と情報を収集保管して、調査研究によりその資料価値を見出し、成果を展示や教育普及などの事業で公開する全県的な機関として、教育・学術・文化の振興・発展に大きく貢献してきました。

近年の地球環境保全に対する危機意識の高まり、急速に進む国際化及び生活様式の多様化といった社会情勢の変化の中で、県民の学習意欲に応える生涯学習中核機関として、より一層充実した役割を果たすことが期待されています。

このため、私たち岩手県立博物館は、5 億年にわたる大地、多様な生物相、縄文・平泉などの歴史の変遷、地域性豊かで多彩な民俗事象を背景とし、広大な岩手の地域的特性を活かしながら新たな価値の発見に努め、県民の要請に応じて県民とともに歩む博物館としての機能を強化し、新たな地域文化の創造を目指して博物館の使命を次のようにまとめました。

1 ユニークで多彩な資料の蓄積とその活用に基づく岩手の自然史・文化史の拠点

- (1) 岩手県及び関連する地域の自然や人間の営みの証拠となる資料と情報を継続的に収集・整理して適切に保管・管理し、県民共有の知的財産として次世代に確実に継承していきます。
- (2) 収集した自然史・文化史資料と情報について、自らの研究を通して岩手の地域的特性を明らかにするとともに、グローバルな視点に立って資料の価値を新たに見出します。
- (3) ユニークで多彩な質の高い資料とその情報を各種の事業によって公開・活用し、県民の知的欲求を刺激する場を提供します。

2 幅広い交流による知的活動への寄与と新たな地域文化の創造

- (1) さまざまな機関との資料の相互交流を進めながら、県民はもとより国内外に情報を発信し、自然環境や文化遺産の保全を支援して県民の知的活動に寄与することにより、岩手県の教育・学術・文化の振興・発展に貢献していきます。
- (2) 開かれた博物館として県民との積極的な交流を進めながら、自主的な学習の場を提供することにより、県民の生涯学習活動と次世代の育成のための学校教育活動を積極的に支援します。
- (3) 資料を公開・活用する各種の事業について県民の要請に応え、わかりやすく伝える方法を探り、ともに学び、楽しみを分かちあいながら、新たな地域文化の創造と発展に県民とともに取り組んでいきます。

3 社会から託された博物館の役割を実現するための基盤整備

- (1) 使命書に基づいて活動計画を立案し、実績を点検しながら、さらによりよい博物館活動を目指します。
- (2) 社会から託された博物館の役割を積極的に実現するために、機能的で効果的な組織と財務基盤を整備し、優れた人材の育成に努めます。
- (3) 県民が集い、交流・活動し、やすらぎと潤いのある、安全・安心で、清潔な、また来たいと感じてもらえる快適空間を提供し、県民の共有財産である収蔵資料の保管・管理機能の整備を図ります。

13 関係条例・規則等

(1) 博物館条例

昭和 55 年 7 月 15 日 条例第 41 号

(設置)

第 1 条 歴史、芸術、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名 称	位 置
岩 手 県 立 博 物 館	盛 岡 市

(指定管理者による管理)

第 1 条の 2 博物館の管理は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づき教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 1 条の 3 指定管理者は、この条例の規定により指定管理者が行うこととされた業務のほか、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2) その他博物館の利用の促進に関する業務

(入館等の許可)

第 2 条 博物館に入館しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の入館が次の各号のいずれかに該当する場合は、同項の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失するおそれがあるとき。
- (3) その他博物館の管理上適当でないと認めるとき。

3 指定管理者は、博物館の管理上必要があると認めるときは、第 1 項の許可に条件を付することができる。

第 3 条 博物館において、館内の資料の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前条第 3 項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第 3 項中「指定管理者」とあるのは、「教育委員会」と読み替えるものとする。

(行為の禁止)

第 4 条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失すること。
- (2) 指定された場所以外の場所にはり紙若しくははり札をし、又は広告を表示すること。
- (3) 静粛を害し、他人に迷惑をかけること。
- (4) 指定された場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をすること。
- (5) 立入禁止区域に立ち入ること。

(入館許可の取消し等)

第 5 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第 2 条第 1 項の許可を受けた者に対し、当該許可を取り消し、その効力を停止し、同条第 3 項の条件を変更し、又は行為の中止、原状の回復若しくは博物館からの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例の規定による処分に違反したとき。
- (2) 第 2 条第 3 項の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他の不正な手段により第 2 条第 1 項の許可を受けたとき。
- (4) 博物館の管理上必要があると認めるとき。
- (5) その他公益上やむを得ない必要が生じたとき。

2 前項の規定は、第 3 条第 1 項の許可について準用する。この場合において、前項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、「同条第 3 項」とあり、及び「第 2 条第 3 項」とあるのは「第 3 条第 2 項において読み替えて準用する第 2 条第 3 項」と読み替えるものとする。

(入館料)

第 6 条 第 2 条第 1 項の許可を受けた者（以下「入館者」という。）は、別表に掲げる入館料を納付しなければならない。

2 前項の入館料は、許可の際に徴収する。

(入館料の免除)

第 7 条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として、小学校児童、中学校生徒又は高等学校生徒を引率する者が入館するとき。

- (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者（15 歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該 15 歳未満の者）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者その他規則で定める者が入館するとき。
- (3) その他知事が適当と認めるとき。

（入館料の不還付）

第 8 条 既納の入館料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を還付することがある。

- (1) 第 5 条第 1 項第 4 号又は第 5 号の規定に基づき指定管理者が入館の許可を取り消したとき。
- (2) 入館者の責めに帰することができない理由により利用することができなかつたとき。
- (3) その他知事が特別の理由があると認めるとき。

（損害賠償等）

第 9 条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、指定管理者の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

- 2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは「知事」と読み替えるものとする。

（博物館協議会）

第 10 条 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 23 条第 1 項の規定に基づき、博物館に岩手県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員 15 人以内で組織し、委員は次に掲げる者のうちから任命する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

3 委員の任期は、2 年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（補則）

第 11 条 この条例の実施に関し、第 6 条から第 9 条までについて必要な事項は知事が、博物館の管理その他について必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

別表（第 6 条関係）

区 分	個 人	20 人以上の団体
学生	150 円	1 人につき 80 円
一般	330 円	1 人につき 150 円

備考 1 特別な資料を展示した場合において、その資料を観覧しようとする者については、特別な資料の展示を行うのに要した費用を勘案してその都度知事が定める額（以下「特別入館料」という。）を別に徴収する。

2 幼児に係る入館料並びに小学校児童、中学校生徒及び高等学校生徒に係る入館料（特別入館料を除く。）は、無料とする。

（２）博物館条例施行規則

昭和 55 年 9 月 26 日 規則第 78 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、博物館条例（昭和 55 年岩手県条例第 41 号。以下「条例」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

（領収書）

第 2 条 条例第 6 条第 1 項に規定する入館料の領収書については、岩手県立博物館管理運営規則（昭和 55 年岩手県教育委員会規則第 9 号）第 4 条第 2 項に規定する入館券をもってこれに代えるものとする。

（条例第 7 条の規則で定める者）

第 3 条 条例第 7 条第 2 号の規則で定める者は、次のとおりとする。

- (1) 知事の定めるところにより療育手帳の交付を受けている者（知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けている時は、当該知的障害者又は知的障害児）及びその介護を行う者
- (2) 条例第 7 条第 2 号の身体障害者手帳の交付を受けている者（15 歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該 15 歳未満の者）若しくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

又は前号の療育手帳の交付を受けている者（知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けているときは、当該知的障害者又は知的障害児）と同等以上の障害があると知事が認める者及びこれらの介護を行う者

- (3) 条例第7条第2号の身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の介護を行う者

（入館料の免除及び還付）

第4条 条例第7条又は第8条の規定により入館料の免除又は還付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、別に定める様式による入館料免除（還付）申請書を知事に提出しなければならない。ただし、知事が別に定める場合にあつては、この限りではない。

- 2 知事は、前項の入館料免除（還付）申請書を受理したときは、その内容を審査し、入館料を免除し、又は還付することを適当と認めたときは、別に定める様式による入館料免除（還付）承認書を申請者に交付するものとする。

附 則（平成21年3月13日規則第7号）

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の県立学校授業料等条例施行規則、学校施設設備基金条例施行規則、高等学校定時制課程及び通信制課程等修学資金貸付条例施行規則、博物館条例施行規則、岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則及び美術館条例施行規則（以下「県立学校授業料等条例施行規則等」という。）に規定する別に定める様式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書についてはなお従前の例による。
- 3 この規則による改正前の県立学校授業料等条例施行規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

（3）岩手県立博物館管理運営規則

昭和55年9月26日 教育委員会規則第9号

（趣旨）

第1条 この規則は、岩手県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の日であつて当該休日に最も近い休日でない日）
- (2) 資料整理日（資料の整理、点検等を行う9月1日から9月10日までの10日間をいう。）
- (3) 12月29日から翌年1月3日まで

2 博物館条例（昭和55年岩手県条例第41号。以下「条例」という。）第1条の2に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）は、必要があると認めるときは、博物館の館長（以下「博物館長」という。）の承認を得て、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。ただし、入館時間は、午後4時までとする。

- 2 指定管理者は、必要があると認めるときは、博物館長の承認を得て、前項の開館時間及び入館時間を臨時に変更することができる。

（入館許可の申請）

第4条 条例第2条第1項の規定による許可を受けようとする者は、指定管理者が定めるところにより申請しなければならない。

- 2 指定管理者は、条例第2条第1項の規定による許可をしたときは、指定管理者が別に定める入館券を交付するものとする。

（撮影、貸出等の許可）

第5条 条例第3条第1項の規定による許可を受けようとする者は、別に定める様式による資料撮影等許可（変更）申請書又は別に定める様式による資料貸出許可（変更）申請書を博物館長に提出しなければならない。

- 2 博物館長は、条例第3条第1項の規定による許可をしたときは、別に定める様式による資料撮影等許可書又は別に定める様式による資料貸出許可書を交付するものとする。
- 3 資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、博物館長が特に必要と認めるときは、その期間を延長することができる。
- 4 資料の貸出しを受けた者が、当該資料を汚損し、損傷し、又は亡失したときは、速やかに、別に定める様式による資

料汚損（損傷、亡失）報告書を博物館長に提出し、その指示を受けなければならない。

（汚損等の届出）

第6条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、速やかに、指定管理者に届け出なければならない。

2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「博物館長」と読み替えるものとする。

（協議会の所掌）

第7条 条例第10条の規定による岩手県立博物館協議会（以下「協議会」という。）は、博物館長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関し、調査審議するとともに、博物館長に対して意見を述べることができる。

- （1） 資料の収集、保管、展示等に関すること。
- （2） 資料の調査研究、利用等に関すること。
- （3） その他博物館の運営に関すること。

（会長）

第8条 協議会に会長を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第9条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（補則）

第10条 この規則の実施に関し必要な事項は、博物館長が定める。

附 則（平成21年3月6日教育委員会規則第2号）

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の岩手県教育教員免許状に関する規則、学校教育法施行細則、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則、博物館の登録に関する規則、教育財産管理規則、岩手県文化財保護条例施行規則、岩手県立図書館管理運営規則、岩手県立博物館管理運営規則、岩手県立総合教育センター宿泊施設の利用に関する規則、技能教育施設の指定等の手続きに関する規則、岩手県教育委員会が行う聴聞の手続に関する規則、岩手県教育委員会の所管に属する公益信託の引受けの許可及び監督に関する規則、岩手県

教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則、岩手県立美術館管理運営規則及び岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する等の規則附則第3項の規定によりなおその効力を有することとされる廃止前の岩手県教育委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則（以下「岩手県教育職員免許状に関する規則等」という。）

に規定する別に定める様式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書等について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書等については、なお従前の例による。

- 3 この規則による改正前の岩手県教職員免許状に関する規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

令和6年度岩手県立博物館年報

令和7年6月3日

編集：岩手県立博物館

〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34

Tel 019-661-2831 Fax 019-665-1214

発行：公益財団法人岩手県文化振興事業団

〒020-0023 盛岡市内丸 13-1

Tel 019-654-2235